						カチホヽ	<u> </u>				
車数	ママン	生	涯学習	3推近	ҍ協議会運営事業					本年度担当課	生涯学習課
事 %	事務事業名									前年度担当課	生涯学習係
基本目標04 豊かな心を育み、学び合うまちづくり									新規・継続	継続事業	
政策	政策 政 策 02 地域とともに学び育てるまちづくり									実施計画・一般	一般事業
体系	施策	01	生活	を豊た	かにする生涯学習	習の推進			事	市単独・国県補	市単独事業
	基本事業	集 01	学習'	情報	及び場の提供				業	任意・義務	任意的事業
予算	会計	款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	直営
科目	一般	10	04	01	生涯学習推進協	議会運営事業			分	事業分類	審議会等運営事業
事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成2年度 ~									市長公約	該当なし	
一 尹 :	事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成2年度 ~									総合戦略	該当なし
根拠	法令・条	例等	なし	,							

1. 事務事業の現状把握【DO】

	(1	事務事業の手段・目的・結果・各指標								
	1):	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
	ſ	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	₹)	
		市長の諮問に応じ、生涯学習の推進に関し必要な	令和4年度は、「第2次	で佐野 ī	⋾生涯 :	学習推進	基本計画	(前期計	画)」の	成果指標
		事項を調査・審議する他、市民の学習ニーズや課	の実績評価を行い、協議	養会で	その結:	果を報告	した。ま	た、3年	度に策定	した中期
		題等に関する提言を行う。具体的には、生涯学習	計画により協議を行った	٥.						
		推進協議会や生涯学習推進本部の開催を行ってい								
		る 。								
						R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			活動指標		単位	(実績)	(実績)		(目標)	(目標)
			生涯学習推進協議会開催	L 数	回	3	2	2	2	2
			関連する庁内会議開催数	Į.		4	1			
	- 1	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	か?)							
		生涯学習推進協議会 委員	対象指標		単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
						(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
			委員数		人	20	20	20	20	20
	目	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	: :状態にしたいのですか?	')						
F	ᇌ	委員の生涯学習に関しての共通理解を深めたり資				D0 /= ri=	D4 45 65	DC #= #=	DC #= #=	D7 /= ri=
		質を向上することにより、佐野市の生涯学習の推	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		進を図れる。	推進協議会から市長へ	□	目標	1	1	1	1	1
			答申された件数		実績	1_	0		4	
			市長から推進協議会へ	□	目標実績	0	0	- 1	ı	1
H	<u> </u>	結果(どのような結果に結びつけますか?)	諮問された件数			0	U			
ľ	\sim $_{-}$	紀末(とのような紀末に結びづけますが?) ①学習情報が提供されている。								
		①子目情報が提供されている。 ②学習の場が整備されている。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		O I I TO SIGHT CHOOL OF	生涯学習のホームペー	и	目標	81, 000	69, 000	73, 000	77, 000	81, 000
			ジへのアクセス数	件	実績	34, 659	32, 677			
			学習の環境が整ってい	%	目標	55	55	55	55	55
			ると感じる市民の割合	70	実績	38. 6	41			
_										

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R4年度	(実績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度(目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		0		0		0		0		0
		一般財源	千円		296		190		0		0		0
	事	事業費計(A)	千円		296		190		0		0		0
	業			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	費					報酬	190						
入	艮												
量		事業費の											
		事未負の 内訳	千円										
		内机											
	싰	職員従事工数	人工		2		2		0		0		0
	費	人件費計(B)	千円		14, 654		14, 574		0		0		0
	h-5	タルコスト (A) + (B)	千円		14, 950		14, 764	· ·	0		0		0

ſ	事務事業名	生涯学習推進協議会運営事業	本年度担当課	生涯学習課
	尹伤尹未有		前年度担当課	生涯学習係

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	生涯学習を全市的な課題として推進するため、平成2年5月関係部課長で組織する「佐野市 生涯学習推進研究委員会」が発足。5回の協議と2回の視察を経て市長に提出した報告書「 生涯学習のまち佐野をめざして」に基づき平成3年1月に設置した。
	協議会発足時は、個々の生涯学習をいかにして充実させていこうとする意識や気運が全国的
県などの法令等、社会情勢など)は	に高まった。現在は、個人のための生涯学習の充実から、さらにそれを地域や社会に対し、
事務事業の開始時期と比べてどのように	いかに還元していくかという意識に変化してきた。
変化していますか?	
③この事務事業に対して、当該年度中、	特になし
関係者(市民、議会、事務事業対象者)	
からどのような意見・要望がありますか?	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

_	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	<u></u>
	前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
	現状維持(従来通り実施)	現状維持により対象外
- 1		

2. 事務事業の事後評価【Check】

2. 予切予末の予及計画【の1000/】			
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はない		成果向上余地がない	取組むことができなかった
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地
「成果向上余地がない」のため取	組実績なし		成果向上余地がない
⑩A表の成果指標の目標が達成	できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて	必要となる取組内容

	(-	1)事務署	事業の評値	西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				現状維持(従来通り実施)	
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中		0			
度	小					
		大	T	小		
		成	果向上余	地		

					7-1	ルナホヽ						
車数	(車 学 夕	生涯	E学習	計	祝集・発信事業					本年度担当課	生涯学習課	
事 %	事務事業名									前年度担当課	生涯学習係	
基本目標04 豊かな心を育み、学び合うまちづくり										新規・継続	継続事業	
政策	政策 政 策 02 地域とともに学び育てるまちづくり									実施計画・一般	一般事業	
体系	施策	01 4	生活を	を豊々	かにする生涯学習	図の推進			事	市単独・国県補	助 市単独事業	
	基本事業	01 =	学習作	青報	及び場の提供				業	任意・義務	任意的事業	
予算	会計	款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	直営	
科目	一般	10	04	01	生涯学習情報収	集・発信事業			分	事業分類	啓発事業	
事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成2年度 ~									市長公約	該当なし		
一 尹 :	事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成2年度 ~									総合戦略	該当なし	
根拠	根拠法令・条例等 なし											

1. 事務事業の現状把握【DO】

	(1)事務事業の手段・目的・結果・各指標											
	1)=	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
	ſ	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	<u>!)</u>				
	T	広範囲にわたる多様な生涯学習情報を収集し、市	広報さのへ特集記事「オープン」の掲載(3月号)										
		民に発信する。	生涯学習メニューパンフレットの発行(4月、10月)										
			庁内・関連施設等の生涯										
			」、生涯学習メニュー/	パンフロ	ノツト	及びホー	ムページ	等への掲	載を通じ	て市民へ			
			の提供。										
						R3年度	D/左庄	R5年度	R6年度	R7年度			
			活動指標		単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)			
			「オープン」掲載回数			<u>大順</u>	1	<u>(口1赤/</u> 1	1	1			
			オープン掲載広報発行数	t l	部	45, 900	45, 900	45. 900	45, 900	45, 900			
			メニューパンフレット乳		部	1, 050	1, 050	1, 050	1, 050	1, 050			
	T	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	か?)										
	Γ		対象指標		単位	R3年度		R5年度	R6年度	R7年度			
						(実績)		(目標)	(目標)	(目標)			
			人口(4月1日現在)		人	116, 982	115, 700	113, 710	113, 018	112, 327			
E	⋾ ├	②辛國 / = の声改声サル レーオー社のようか											
台	SI I	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	状態にしたいのですか?)									
		①より多くの学習情報や学習機会の充実が図られ ている。	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
		②生涯学習に興味・関心を持ち、施設に足を運ん	学習メニュー・講座メ	件	目標	720	720	720	720	720			
		だり講座に参加してもらう。	ニュー数	IT	実績	427	560						
			講座受講者数	人	目標			27, 000	27, 000	27, 000			
					実績	7, 609	17, 275						
(4	~ -	結果(どのような結果に結びつけますか?)											
		①学習情報が提供されている。 ②学習の場が整備されている。	上位成果指標	単位		R3年度	{	R5年度	R6年度	R7年度			
			生涯学習のホームペー	件	目標	81, 000		73, 000	77, 000	81, 000			
			ジへのアクセス数	П	実績	34, 659							
			学習環境が整っている	%	目標	55	55	55	55	55			
			と感じる市民の割合		実績	39. 5	41						

		財源内訳	単位	R3年度((実績)	R4年度	(実績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度(目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		0		0		0		0		0
		一般財源	千円		61		103		0		0		0
	<u>+</u>	事業費計(A)	千円		61		103		0		0		0
	事業			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	費					需用費	103						
入	貝												
量		市業弗の											
		事業費の	千円										
		内訳											
						•							
	싰	職員従事工数	人工		2		2		0		0		0
	骨費	人件費計(B)	千円		14, 654		14, 574		0		0		0
	トーち	タルコスト(A)+(B)	千円		14, 715		14, 677		0		0		0

事務事業名	生涯学習情報収集·	発信事業	本年度担当課	生涯学習課
尹衍尹未有			前年度担当課	生涯学習係

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

くらりを扱うというとく味気をは、中央の心とり							
①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	生涯学習に関連する情報を生涯学習課で収集し、市民に学習機会の充実を図るため、情報紙として平成2年度に「オープン」の発行、平成5年度に「楽習のてびき」の発行を開始した。						
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・ 県などの法令等、社会情勢など)は	社会の情報化に伴い情報収集の機会が増えている。また、市民の学習意欲が向上し、生涯学習必要性が高まっている。						
事務事業の開始時期と比べてどのように 変化していますか?							
③この事務事業に対して、当該年度中、 関係者(市民、議会、事務事業対象者)	市民からメニューパンフレットの配布希望、「楽習出前講座」に関するもの、始めたいもの ができた時にどこで学べるか等の情報を求める声が高齢者や転居してきた方等から聞かれた						
	。ホームページによる情報提供のみならず、紙媒体での情報提供を望む声も多い。						

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

TO THE CONTRACT OF THE CONTRAC								
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組							
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	紙媒体やホームページを相互利用することにより、効果的な情報収集・発信を図った。また 、実際に行われた学習出前講座の写真を広報紙に掲載するなど、生涯学習情報への感心を高							
	めるよう工夫を行なった。							

2. 事務事業の事後評価【Check】

2. 事務事業の事後評価【Uneck】			
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業があり統合・連携で きる・している	広報発行事業	成果向上余地がある程度ある	向上した
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地
紙媒体とホームページを相互利用	することにより、効果的な情報収	集・発信を行った。	成果向上余地がある程度ある
⑩A表の成果指標の目標が達成	できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて	必要となる取組内容

	(.	1)事務事	事業の評値	西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3) 改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	¥				事業のやり方改善(成果向上の見直し)	効果的な情報発信を行うため、メニューパンフレットの配布先を増やすことや、近隣市や他課のイ
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	】ベント開催時等に情報を発信するなど、機会を増 ┃
標					紙媒体やホームページを相互利用することにより	やす工夫が必要である。
達	中		0		、効果的な情報収集・発信を行う。また、市民の	そのため、公民館等の生涯学習施設との情報交換
成					生涯学習活動の紹介などを充実させることにより	を積極的に行い、生涯学習情報の収集を行う。
度					、生涯学習情報への感心を高める工夫をする。	
	小					
		大	中	小		
	成果向上余地			地		

車茲	事務事業名 両毛広域生涯学習ネットワーク推進事業								本年度担当課 生涯学習課					
争的									前年度担当課	生涯学習係				
	基本目標	04	豊かれ	な心な	を育み、学び合う	うまちづくり				新規·継続	継続事業			
政策	政策	02	地域。	노 논 :	もに学び育てるま	きちづくり				実施計画・一般	一般事業			
体系	施策	01	生活	を豊フ	かにする生涯学習	図の推進			事	市単独·国県補	市単独事業			
	基本事業	01	学習作	青報	及び場の提供				業	任意・義務	任意的事業			
予算	会計	款	項	田		予算事	業名		区	実施方法	直営			
科目	一般	10	04	01	両毛広域生涯学	習ネットワーク	7推進事業		分	事業分類	参画事業			
車:										市長公約	該当なし			
尹:	事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成6年度 ~									総合戦略	該当なし			
根拠	法令・条件	列等	両毛	広垣	は生涯学習ネット	ワーク推進協議	養会会則							

1. 事務事業の現状把握【DO】

٦	١.	事務事業の現状把握【DO】										
_												
(1)	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
	ſ	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度実績(令和4年度に行った主な活動内容)									
	Ī	両毛6市(足利・佐野・桐生・太田・館林・みど	市:負担金40千円の支出、会議等への出席、両毛コーナーパネル展示等。									
		り)の生涯学習・社会教育主幹課が、連携・協働	協議会:生涯学習情報組									
		により両毛地域での広域生涯学習ネットワークの	年)。クイズラリー、ぬ					イベント	等にて両	毛コーナ		
		構築を図る。	一出展。総会(6月)、担	当者会	議(全	4回)の開	催等。					
						D2左庄	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
			活動指標		単位	R3年度 (実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)		
			両毛6市コーナー出展回	可数		2	6	<u>(口1汞)</u> 6	<u>(口1汞)</u> 6	6		
			「ASKOTM」配布部数	122	 部	0		1, 200	1, 200	1, 200		
			会議開催回数		回	6	4	5	5	5		
	T	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	か?)									
	Ī	参画・支援対象:会員(両毛6市生涯学習担当課	対象指標	単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
		職員)、各市公民館職員	刈	甲亚	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)			
		働きかけ対象:両毛6市住民、佐野市民	会員数		人	18	18	18	18	18		
		参画対象団体:両毛広域生涯学習ネットワーク推	両毛6市公民館正規職員	数	人	197	192	197	197	197		
I	- 1	進協議会										
	ьL	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	状態にしたいのですか?	')								
-		①会員・各市公民館職員の人的ネットワークが構	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
		築される。 ②生涯党羽はおのさ… L ローなが構築され、 末日						100	100	100		
		②生涯学習情報のネットワークが構築され、市民 が市外の生涯学習情報を得ることができる	会議等に出席した会員 数/会員数	%	目標 実績	100 92	100 90	100	100	100		
		が川がの土涯子自情報を持ることができる	数/ 玄貝数 		目標	92	90					
					実績							
(4):	結果(どのような結果に結びつけますか?)			人们只							
Ì		①学習情報が提供されている。		22/1		D0 4= c+	D4 #= #=		DC 4= 15	D7 /= ri=		
		②学習の場が整備されている。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
			生涯学習のホームペー	件	目標	81, 000	69, 000	73, 000	77, 000	81, 000		
			ジへのアクセス数	1+	実績	34, 659		_				
			学習の環境が整ってい	%	目標	55	55	55	55	55		
			ると感じる市民の割合	70	実績	39. 5	41					
	, .	ことの本書の世紀 中国										

		やナベス・バル	_ !/	311/									
		財源内訳	単位	R3年度(J	に (積)	R4年度(実績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度(目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		0		0		0		0		0
		一般財源	千円		40		40		0		0		0
	事	事業費計(A)	千円		40		40		0		0		0
	業	事業費の		項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
挼	ずり					負担金、補助及	び 40						
ℷ	早												
튤	1												
		中未負の内訳	千円										
		7664											
	从	職員従事工数	人工		0		1		0		0		0
	費	人件費計(B)	千円		0		7, 287		0		0	0	
	1-5	タルコスト (A) + (B)	千円		40		7, 327		0		0		0

事務事業名	両毛広域生涯学習ネットワーク推進事業	本年度担当課	生涯学習課
尹衍尹未 石 		前年度担当課	生涯学習係

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	平成4~5年度文部省委嘱事業(社会教育指導充実強化事業)を受け、「両毛広域生涯学習 推進ネットワーク研究会」(世話役:太田市)として発足。委嘱事業終了後、より実践的な さらなる調査研究を行うものとして、平成6年5月より研究会を協議会と改め発足。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・	市町村の合併が進み、より広域化している。
県などの法令等、社会情勢など)は	佐野市(H17. 2. 28:旧佐野市・田沼町・葛生町)、太田市(H17. 3. 28:旧太田市・尾島町・
事務事業の開始時期と比べてどのように	新田町・藪塚本町)、桐生市(H17.6.13:旧桐生市・新里村・黒保根村)、みどり市(H18.
変化していますか?	3.27:笠懸町、大間々町、東村)
③この事務事業に対して、当該年度中、	平成14年度にシンポジウムを開催した際、より住民に開かれた協議会となるよう要望があっ
関係者(市民、議会、事務事業対象者)	た。
からどのような意見・要望がありますか?	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	感染症対策のため、ASKOTMスタンプラリーの代替としてクイズラリー、ぬり絵企画を開催し、イベント情報誌の作成も行った。各市のイベントで両毛パネルの展示によるPRは感染症拡大のため中止。

2. 事務事業の事後評価【Check】

2. 于初于木砂于欧阳區 [chlock]			
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はない		成果向上余地がある程度ある	取組むことができなかった
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地
「成果向上余地がない」ため取組	実績なし		成果向上余地がない
⑩A表の成果指標の目標が達成	できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて	必要となる取組内容

	(-	1)事務	事業の評値	西結果	(2)今後の事務事業の方向性	(3) 改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				事業のやり方改善(成果向上の見直し)	事業の周知を図るため、イベントや情報誌の配布 を通してPRに努める。
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標					PR効果の高い事業を協議する上で、単年度で終	
達	中		0		わるものだけでなく年度をまたいでイベントやグ	
成					ッズ作成の企画を進めていくことも視野に入れて	
度					ゆく。	
	小					
		大	中	小		
	成果向上余地			地		

							<u> </u>				
車数	車 	生》	王学 習	推進	i 支援事業					本年度担当課	生涯学習課
事務事業名 一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一										前年度担当課	生涯学習係
基本目標 04 豊かな心を育み、学び合うまちづくり										新規・継続	継続事業
政策 政 策 02 地域とともに学び育てるまちづくり										実施計画・一般	一般事業
体系	体系 施 策 01 生活を豊かにする生涯学習の推進									市単独・国県補	市単独事業
基本事業 01 学習情報及び場の提供									業	任意・義務	任意的事業
予算	予算 会計 款 項 目 予算事業名								区	実施方法	直営
科目 一般 10 04 01 生涯学習推進支援事業									分	事業分類	イベント等開催事業
事業計画 単年度繰り返し 事業期間 令和3年度 ~									市長公約	該当なし	
事業計画 単年度繰り返し 事業期間 令和3年度 ~										総合戦略	該当なし
根拠	根拠法令・条例等なし										

1. 事務事業の現状把握【DO】

Tau (実績) (実績) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標	(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標								
市民が主体の「生涯学習まちづくり」を推進する ため、民間団体等と連携・協働しながら、効果的 に生涯学習施策・事業を展開する。	1	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
ため、民間団体等と連携・協働しながら、効果的 に生涯学習施策・事業を展開する。		事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	!)	
に生涯学習施策・事業を展開する。		市民が主体の「生涯学習まちづくり」を推進する	楽習講師企画講座 19回	134 J	人受請	<u> </u>				
活動指標 単位 R3年度 R4年度 (1 目標) (1 II		ため、民間団体等と連携・協働しながら、効果的	楽習講師研修は感染症扱	太大防」	上のた。	め中止				
Tau (実績) (実績) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標		に生涯学習施策・事業を展開する。								
Tau (実績) (実績) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標										
Tau (実績) (実績) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標										
Tau (実績) (実績) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標						D2左座	D4左座	DE左由	DC左击	D7左车
図対象 (この事務事業は誰・何を対象としていますか?) 対象指標 単位 (実績) (実績) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標			活動指標		単位					R7年度 (目標)
受講・参加者数 人 132 134 144 154 ②対象 (この事務事業は誰・何を対象としていますか?) 対象指標 単位 (実績) (実績) (実績) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標				lt l						25
②対象 (この事務事業は誰・何を対象としていますか?) 対象指標 単位 (実績) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標				^	_					164
①楽習講師 対象指標 単位 (実績) (実績) (実績) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標			ZIII			102			101	101
②市民 対象指標 単位 (実績) (実績) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標		②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	か?)							
日日 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本		①楽習講師	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		出片	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
Th		②市民	刈		中四	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
日					人					145
の計画を活かした講座を積極的に企画する ②生涯学習に取り組むきっかけづくりとして、多くの講座に参加する。 成果指標 ※習講師企画講座開催 回数 単位 単位 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年 実習講師企画講座開催 回数 日標 21 21 21 23			市人口		人	116, 982	115, 700	113, 710	113, 018	112, 327
の計画を活かした講座を積極的に企画する ②生涯学習に取り組むきっかけづくりとして、多くの講座に参加する。 成果指標 ※習講師企画講座開催 回数 単位 単位 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年 実習講師企画講座開催 回数 日標 21 21 21 23	目	@## /= o = 7t = # - - 1/4 +								
②生涯学習に取り組むきっかけづくりとして、多 くの講座に参加する。			に状態にしたいのですか?	')						
回数			成果指標	単位			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		くの講座に参加する。			目標			21	23	25
				ы						
講座メニュー数 件 目標 720 720 720 720			講座メニュー数	件				/20	/20	720
		 			美 稹	427	560			
④結果(どのような結果に結びつけますか?)	4	1811 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1		I .						
		子首じ坊つに知誠、抆悧を任芸に退兀じさる。 		単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
生涯学習ボランティア 人 目標 430 435 440 445				,	目標			440	445	450
登録者数								0.5.5	0.0.5	0.15
一人あたりの楽習講師 件 <u>目標 332 310 320 330 </u>				件				320	330	340
			か社会遠元した件数		実績	50	159			

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R4年度	(実績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度((目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		
		その他	千円	0			0		0		0		0
		一般財源	千円		0	0 3			0		0		0
	<u>+</u>	事業費計(A)	千円		0		3	0			0		0
	事業			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	費					需用費	3						
入	貝	事業費の 内訳											
量													
			千円										
		内訳											
	싰	職員従事工数	人工		0. 23		0. 23		0		0		0
	骨費	人件費計(B)	千円		1, 685		1, 676		0		0		0
	h-5	タルコスト (A) + (B)	千円		1, 685		1, 679		0		0		0

事務事業名	生涯学習推進支援事業	本年度担当課	生涯学習課
争伤争未 有		前年度担当課	生涯学習係

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	楽習講師から「出前講座だけでは自主的に講座を開催できないので、企画講座を認めてほしい」との要望があり、制度が始まった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・	「生涯学習とは個人が自発的に選択して取り組む学習課題」という特性上、市民が求める学
県などの法令等、社会情勢など)は	習内容は多岐に及ぶため、講座メニューの充実と要望に合った講座運営が求められる。また
事務事業の開始時期と比べてどのように	集団座学講習会形式から個別実技指導形式へと変化しつつある指導形式にも対応する知名度
変化していますか?	・実力ともに質の高い講師が求められてきている。
③この事務事業に対して、当該年度中、	開催後の報告書では、受講者より「また参加したい」との声をもらう講師がいる一方、毎月
関係者(市民、議会、事務事業対象者)	決まった講師・講座でマンネリ化しつつあるため、より積極的に講師や講座の新規登録を行
からどのような意見・要望がありますか?	う必要がある。また、オンラインでの講座の要望もある。
事務事業の開始時期と比べてどのように変化していますか? ③この事務事業に対して、当該年度中、 関係者(市民、議会、事務事業対象者)	集団座学講習会形式から個別実技指導形式へと変化しつつある指導形式にも対応する知名度 ・実力ともに質の高い講師が求められてきている。 開催後の報告書では、受講者より「また参加したい」との声をもらう講師がいる一方、毎月 決まった講師・講座でマンネリ化しつつあるため、より積極的に講師や講座の新規登録を行

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持(従来通り実施)	広報さの3月1日号の特集記事「オープン」にて楽習講師の登録・企画講座の参加呼びかけを併せてPRを行った。

2. 事務事業の事後評価【Check】

2. 事務事業の事後評価【Uneck】			
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はない		成果向上余地がある程度ある	向上しなかった
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地
感染症拡大のため、従来でのでの	講座開催がまだまだ難しい。		成果向上余地がある程度ある
⑩A表の成果指標の目標が達成	できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて	必要となる取組内容
感染症拡大のため、従来での講座	開催が難しかった。		

	(-	1)事務署	事業の評値	西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				事業のやり方改善(成果向上の見直し)	
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中		0			
度	小					
		大	中	小		
	成果向上余地					

車務車業マネジメントシート

					77-1	DTA \	<u> </u>				
事務事業名 全国生涯学習市町村協議会参画事業										本年度担当課	生涯学習課
										前年度担当課	生涯学習係
基本目標 04 豊かな心を育み、学び合うまちづくり										新規・継続	継続事業
政策	策 政 策 O2 地域とともに学び育てるまちづくり									実施計画・一般	一般事業
体系	体系 施 策 01 生活を豊かにする生涯学習の推進									市単独・国県補	市単独事業
	基本事業 01 学習情報及び場の提供								業	任意・義務	任意的事業
予算	5算 会計 款 項 目 予算事業名								区	実施方法	直営
科目 一般 10 04 01 全国生涯学習市町村協議会参画事業									分	事業分類	参画事業
事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成11年度 ~									市長公約	該当なし	
事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成11年度 ~									総合戦略	該当なし	
根拠	根拠法令・条例等なし										

1	. 事	務事業の現状把握【DO】								
_	(1) }	事務事業の手段・目的・結果・各指標								
	① 手段	:(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
	事業	農概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	医実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	!)	
	生涯	重学習社会の実現を目指す市町村長が一堂に会	市:市町村協議会に負担	旦金の3	支出					
	し、	各々の市町村の中で生涯学習を総合行政とし	7月29日(金)役員	会及び	総会に	出生				
		こらえ、地域を挙げて住民が主役の「生涯学習								
		5づくり」を推進するとともに、関係機関・団	市町村協議会:年1回の					会を開催	。生涯学	習に関す
		等と協力しながら、会員荘厳連携を深め、情報 ************************************	る情報収集と会員市への)情報	是供、I	国への要	望沽虭。			
		愛・政策研究等を行い、新時代に向けたよりよ まちづくりを推進する。				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	10,9	にらりてりを推進する。	活動指標		単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
			会議等出席回数			0	1	1	1	1
		対象(この事務事業は誰・何を対象としています	か?)							
	加盟	盟市町村長	対象指標		単位	R3年度	R4年度			R7年度
						(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
			加盟市町村数		数	53	53	53	53	53
E		意図(この事務事業によって、対象をどのような	L ・ と と と と と と と と と と と し た し の で ま り る り る り る り る り る り る り る り る り る り	<u> </u>						
台		では、この事物事業によって、対象でこのような で政における生涯学習の政策研究及び情報交換								
		T以に357~3工程学目の政策研究及び情報交換 Tい、総合的な生涯学習の施策の推進を図る。	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		協議会加盟市町村の先進事例などの学習機会や	参画により他市町村の		目標	100	100	100	100	100
		服交流機会が市民に提供される。	状況等が得られた割合	%	実績	100	100			
			生涯楽習フォーラム延	人	目標	1, 800	1, 000	1, 800	1, 800	1, 800
			べ参加者数「	_ ^_	実績					
(:(どのような結果に結びつけますか?)								
		学習情報が提供されている。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	(2)学	学習の場が整備されている。		- 12				,		
			生涯学習のホームページ。のスクセス数	件	目標	81, 000 34, 659	69, 000 32, 677	73, 000	77, 000	81, 000
			<u>ジへのアクセス数</u> 学習の環境が整ってい		実績 目標	34, 659 55	32, 677 55	55	55	55
			ると感じる市民の割合	%	実績	39. 5	41	33	33	33
		w 主 **		I	人似	00.0	-71			

		財源内訳	単位	R3年度((実績)	R 4 年度	(実績)	R5年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度	(目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		
		その他	千円	0			0		0		0		0
		一般財源	千円		30		34		0		0		0
│ │ _⊒	事	事業費計(A)	千円		30		34		0		0		0
	業			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	未	事業費の 内訳				負担金、補助]及び 30						
入	貝					旅費	4						
量													
			千円										
		八百八											
	싰	職員従事工数	人工		1		1		0		0		0
	費	人件費計(B)	千円		7, 327		7, 287		0		0		0
	├ -5	タルコスト (A) + (B)	千円		7, 357		7, 321		0		0		0

事務事業名	全国生涯学習市町村協議会参画事業	本年度担当課	生涯学習課
争伤争未 有		前年度担当課	生涯学習係

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	平成11年より生涯学習社会の実現を目指す市町村長が一堂に会し、生涯学習を総合行政として捉え地域を挙げて住民が主役の「生涯学習まちづくり」を推進すると共に、関係機関・団体と協力して情報交換・政策研究等を行い、会員相互の連携を深めるため発足した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・	市民の生涯学習活動への関心が高まり、要望も高度化・多様化している。また自らの学習成
県などの法令等、社会情勢など)は	果を活かした活動も活発になされてきている状況にある。特に最近は、全国的に「学び」を
事務事業の開始時期と比べてどのように	社会に還元し、まちづくり活動や地域の課題解決にいかす取り組みが活発となっている。
変化していますか?	
③この事務事業に対して、当該年度中、	特になし
関係者(市民、議会、事務事業対象者)	
からどのような意見・要望がありますか?	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

(十)的十人の計画相外に対する以上、以目の状態									
	前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組							
	現状維持(従来通り実施)								

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はない		成果向上余地がかなりある	向上した
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地
感染症拡大の影響により、ブロッ 、他市町村との情報交換を行った		会長市を通じて本市事業のPRや	成果向上余地がある程度ある
⑩A表の成果指標の目標が達成	できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて	必要となる取組内容
感染症拡大の影響により、ブロッ 会長市を通じて本市事業のPRや 。	ク事業等は開催できなかったが、 ・、他市町村との情報交換を行った		

	(1)事務事業の評価結果			西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				現状維持(従来通り実施)	
I					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
楞達 成	中		0			
度	小					
		大	中	小		
		成	果向上余	地		

					77-7	カチホヽ	-				
車型	生涯学習に関する職員等研修会事業								本年度担当課	生涯学習課	
争的	事務事業名								前年度担当課	生涯学習係	
	基本目標	04	豊かフ	な心	を育み、学び合う	うまちづくり				新規・継続	継続事業
政策	政策	02	地域。	: ع ع	もに学び育てるま	まちづくり				実施計画・一般	一般事業
体系	施策	01	生活	を豊々	かにする生涯学習	習の推進			事	市単独・国県補	市単独事業
	基本事業	01	学習作	青報	及び場の提供					任意・義務	任意的事業
予算	会計	款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	直営
科目	一般	10	04	01	生涯学習に関す	る職員等研修会	全事業		分	事業分類	その他内部事務事業
車	東紫計画 単在中級川海川 東紫柳門 東代0年中								市長公約	該当なし	
す :	事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成8年度 ~								総合戦略	該当なし	
根拠	根拠法令・条例等なし										

1. 事務事業の現状把握【DO】

	. 争務争耒の現仏恺権【20】									
_(1)事務事業の手段・目的・結果・各指標									
1	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)									
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度実績(令和4年度に行った主な活動内容)								
	生涯学習を全市全庁的なものとして推進するため	①生涯学習推進初任者研	肝修会多	多加(3)	回中1回は	オンライ	ン実施)			
	、自治体としての役割・必要性について職員等へ	②生涯学習推進に関する	5職員等	穿研修:	숲					
	の研修を行う。	11月28日 37名								
	各種研修機関の研修会に参加し、情報の収集・資									
	質向上を図る。									
					ᇟᄯᄨ	D4 / 	DC左☆	D0 4- ch	ᇚᄼ	
		活動指標		単位	R3年度	R4年度		R6年度	R7年度	
		研修会への参加			<u>(実績)</u> 4	<u>(実績)</u> 3	(目標)	<u>(目標)</u> 4	(目標)	
		職員研修会開催		<u> </u>	4	ა 1	1	1	4	
				Щ	_	1	1	1		
	 ②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	- か?)								
	職員		П		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	144.54	対象指標		単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)	
		生涯学習初任者研修出席	者	人	8	5	5	5	5	
		職員研修受講者		人		37	37	37	37	
目										
的	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	状態にしたいのですか?)							
н	職員として、生涯学習を全市、全庁的なものとして取り組むための理解を深める。	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
		研修に参加した職員の	%	目標	100	100	100	100	100	
		数/対象職員	70	実績		75. 5				
				目標						
				実績						
4	結果 (どのような結果に結びつけますか?)									
	①学習情報が提供されている。 ②学習の場が整備されている。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
		生涯学習のホームペー	件	目標	81, 000	69, 000	73, 000	77, 000	81, 000	
		ジへのアクセス数	71	実績	34, 659	32, 677				
		学習の環境が整ってい	%	目標	55	55	55	55	55	
		ると感じる市民の割合	/0	実績	39. 5	41				

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R 4 年度	(実績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R 7 年度((目標)	
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0	
		県支出金	千円		0		0		0		0		0	
		地方債	千円		0		0		0		0		0	
		その他	千円	0		0			0		0		0	
		一般財源	千円		0		20		0		0		0	
	事	事業費計(A)	千円		0		20		0		0		0	
	業			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	
投						報償費	20							
入	費	事業費の												
量														
			千円											
		内訳												
	싰	職員従事工数	人工		0		3		0		0		0	
	費	人件費計(B)	千円		0		21, 861		0		0		0	
	トータ	ルコスト (A) + (B)	千円		0		21, 881		0		0		0	

ſ	事務事業名	生涯学習に関する職員等研修会事業	本年度担当課	生涯学習課
	尹仍尹禾石		前年度担当課	生涯学習係

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

- 1	①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	平成8年度に、旧佐野市において、生涯学習を全市、全庁的なものとして取り組むために開 始された。
- 1	②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・ 県などの法令等、社会情勢など)は	平成17年度から平成19年度は、職員研修会は開催しなかったが平成20年度から佐野市 人材育成センターと連携して再開した。平成22年度から生涯学習課単独で実施している。
	事務事業の開始時期と比べてどのように	
	変化していますか?	
	③この事務事業に対して、当該年度中、	特になし
١	関係者(市民、議会、事務事業対象者)	
١	からどのような意見・要望がありますか?	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

() () () () () () () () () ()	H ***
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持(従来通り実施)	

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	結びついている 市でなければできない		削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はない		成果向上余地がない	向上した
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地
生涯学習アドバイザー西村美東士	を講師に迎え、職員研修を開催で	きた。	成果向上余地がない
⑩A表の成果指標の目標が達成	できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて	必要となる取組内容

	(1) 事務事業の評価結果			西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3) 改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				現状維持(従来通り実施)	
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中		0			
度	小					
		大	中	小		
		成	果向上余	地		

	サ切ず木 ハン・フェー													
車数	z 車 柴 夕	社:	会教育	香	設置事業					本年度担当課	生涯学習課			
= 13	事務事業名									前年度担当課	生涯学習課			
	基本目標	票04	豊かれ	な心	を育み、学び合う	うまちづくり		新規・継続	継続事業					
政策	政策	02	地域。	: ع ع	もに学び育てるま	まちづくり				実施計画・一般	一般事業			
体系	施策	01	生活:	を豊た	かにする生涯学習	図の推進			事	市単独・国県補	市単独事業			
	基本事業	€01	学習(青報.	及び場の提供				業	任意・義務	任意的事業			
予算	会計	款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	直営			
科目	一般	10	04	01	社会教育委員設	置事業			分	事業分類	審議会等運営事業			
車:	業計画		124	i 年 由	繰り返し	事業期間	明治24年度 ~			市長公約	該当なし			
尹:	未計凹		#	十段	一様り返し	事未 別间	明治24年及 ~ 			総合戦略	該当なし			
根拠	法令・条	例等	社会	₹教育	舒法(第15条、17	条、18条)、位	左野市社会教育委員	員条例			·			

1. 事務事業の現状把握【DO】

Ι.	事務事業の現状把握【DU】											
_(1)事務事業の手段・目的・結果・各指標											
1	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	医実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	!)				
	社会教育行政に関する諮問機関として、教育長を	・社会教育委員会議の開催(7月8日 1月26日)										
	経て教育委員会に助言し、社会教育活動の拡充振	・社会教育委員研修(12月21日オンライン開催)										
	興を図る。	・関東甲信越静社会教育研究大会 山梨大会(11月10日~11日) ***										
	〈社会教育法:第13条、第15条、第16条〉											
	〈佐野市社会教育委員条例・社会教育委員会議規											
	則〉				D2左座	D4左座	DE左由	DC左由	D7左车			
		活動指標		単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)			
		社会教育委員会議開催数	kt l		2	2	2	2	2			
		社会教育委員研修開催数			1	1	2	2	2			
		IZZJX11ZJC91197/JIEZ	^				_	_	_			
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	か?)										
	社会教育委員	対象指標	単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度				
				甲四	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)			
		社会教育委員数		人	18	18	20	20	20			
目	② 文 □ / □ ○ 古 7 古 本 1/2 + 1/2 - 1 / 2 + 1/2 + 1/2 - 1 / 2 + 1/2 +											
的	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	状態にしたいのですか?	')									
	社会教育行政に関し、教育委員会に助言し、社会教育活動の拡充・振興を図る。	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
	教育活動の拡光・振典を図る。 社会教育に関する適切な諸計画を立案してもらえ	社会教育委員会議出席		目標	100	100	100	100	100			
	るよう、必要な調査研究のための機会(研修等)		%	実績	88. 8	75	100	100	100			
	を提供する。	社会教育委員研修出席	- ·	目標		,,	50	50	50			
		率	%	実績	16. 7	22. 2						
4	結果(どのような結果に結びつけますか?)											
	①学習情報が提供されている。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
			丰四	<u>/</u>								
	②学習の場が整備されている。	生涯学習のホームペー	件	目標	81,000	69, 000	73, 000	77, 000	81, 000			
		ジへのアクセス数	- ' '	実績	34, 659	32, 677		FF	55			
		学習の環境が整っていると感じる市民の割合	%	目標実績	55 39. 5	55 41	55	55	55			
		ると感しる甲氏の制管		夫領	აყ. 5	41						
(2) 終事業費の推移・内訳											

		財源内訳	単位	R 3 年度	(実績)	R 4 年度	(実績)	R 5 年度((目標)	R6年度	(目標)	R7年度(目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0	1	0
		県支出金	千円		0	0		0			0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		0				0		0		0
		一般財源	千円		179	202			0		0		0
	事	事業費計(A)	千円		179		202		0		0		0
		重業費の		項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投						報酬	190						
ᄉ						需用費	12						
量	<u> </u>												
			千円										
		內訳											
	싰	職員従事工数	人工		0. 15		0. 19		0		0		0
	費	人件費計(B)	千円		1, 099		1, 385	0		0		0	
	h-5	タルコスト (A) + (B)	千円		1, 278		1, 587		0		0	0	

	事務事業名	社会教育委員設置事業	本年度担当課	生涯学習課
ı	尹衍尹未石		前年度担当課	生涯学習課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	昭和24年社会教育法の規定に基づき、佐野市社会教育委員条例により設置。H19年度より栃木県社会教育委員協議会参画事業が別事業となった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・ 県などの法令等、社会情勢など)は	小中学校の統廃合に向け、地域の核となる学校が廃校となり、地域コミュニティーの崩壊や 、子どもの貧困の問題化、無縁社会にさまよう孤立した個人の増加、高齢社会による限界集
事務事業の開始時期と比べてどのように 変化していますか?	落への加速度が増すなど、社会の急激な変化に伴い、社会教育に対する期待が高まっている
③この事務事業に対して、当該年度中、 関係者(市民、議会、事務事業対象者)	社会教育委員から、生涯学習施設を設置し、生涯学習環境の整備を充実してほしい。学習の機会を増やしてほしい。との意見があり、教育委員との交流会、学習会など、自主的に活動
からどのような意見・要望がありますか?	を行っている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

_	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	<u></u>
	前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
	現状維持(従来通り実施)	現状維持により対象外
- 1		

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業があり統合・連携で きる・している	生涯学習推進協議会	成果向上余地がない	向上しなかった
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地
会議への出席される委員が少なか	っったため		成果向上余地がない
⑩△表の成里指標の日標が達成	できた理由 できたかった理由	⑪日煙達成に向けて	心亜とたる取組内 突

⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて必要となる取組内容
会議への出席される委員が少なかったため	委員との連携を密にし、対応していくこと

	(-	1)事務署	事業の評値	西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大		0		現状維持(従来通り実施)	0
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中					
度	小					
		大	中	小		
		成	果向上余	地		

車数	事業名	析	栃木県社会教育委員協議会参画事業							本年度担当課	生涯学習課			
争的	争未有							前年度担当課	社会教育係					
	基本目標 04 豊かな心を育み、学び合うまちづくり									新規・継続	継続事業			
政策	政策	02	地域	とと	もに学び育てるま	まちづくり				実施計画・一般	一般事業			
体系	施策	01	生活	を豊	かにする生涯学習	習の推進		事	市単独・国県補	市単独事業				
	基本事	業 01	学習	情報	及び場の提供				業	任意・義務	任意的事業			
予算	会計	蒜	な 項	目		予算事	業名		区	実施方法	直営			
科目	一般	1	0 04	01	栃木県社会教育	委員協議会参画	画事業		分	事業分類	参画事業			
事業計画 ※左连線Ⅱ~□ 事業期間 □ 2/20左连								~-		市長公約	該当なし			
事業計画 単年度繰り返し 事業期間 明治39年度 ~										総合戦略	該当なし			
根拠	法令・翁	€例€	幹 社	会教育	育法5条									

1. 事務事業の現状把握【DO】

- 1	. 事務事業の現状把握【DU】													
_(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標													
(1	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)													
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	\$)						
	栃木県社会教育委員協議会に負担金を支出し、協	(市の活動) 栃木県社	t会教育	育委員	協議会に	負担金の	支出、年	2回の理	事会、年					
	議会に参加することにより、社会教育に関する情	1回の評議員会、年1回												
	報収集や意見交換を行う。	(協議会の活動) 年2回の理事会、年1回の評議員会の開催、社会教育に関す												
		る調査・研究と市町間の連携、研修事業の開催、関係機関の行う事業への協力												
	-													
		理事会等出席回数			2	2	<u>(口1赤)</u> 2	2	2					
		理事会等出席者数		人	2	2	2	2	2					
		研修会出席者数		人	3	4	2	2	2					
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	か?)												
	社会教育委員	対象指標	単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度						
	(参画対象団体)栃木県社会教育委員協議会		中世	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)						
		対象委員数		人	18	18	18	18	18					
E	◎尭□ /- ○末次末∜にし、て、共会とじのしこと	上半郎にした10のですか?)												
的	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	状態にしたいのですか?	')											
	社会教育について他市町社会教育委員との連携、 参画支援により、当市社会教育委員の資質向上を	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度					
	図る。	他市等の最新情報を得	%	目標	90	80	80	90	90					
		られている委員の割合	/ 0	実績	90	90								
				目標										
0	 結果(どのような結果に結びつけますか?)			実績										
16	THE TENT OF THE TE													
	①学習情報が提供されている。 	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度					
	②学習の場が整備されている。	生涯学習のホームペー	件	目標	81, 000	69, 000	73, 000	77, 000	81, 000					
		ジへのアクセス数	IT	実績	34, 659	32, 677								
		学習の環境が整ってい	%	目標	55	55	55	55	55					
		ると感じる市民の割合		実績	39. 5	41								
,	○〉 松声世界の世界。 中国													

		財源内訳	単位	R 3 年度	(実績)	R 4 年度	(実績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度(目標)
		国庫支出金	千円	0		0		0			0		
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		0	•••••	0		0		0		0
		一般財源	千円		10		10		0		0		0
	<u>+</u>	事業費計(A) 千円			10		10		0		0		0
	事業	事業費の		項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	業費					負担金、補助	及び 10						
入	貝												
量													
			千円			•••••							
		内訳											
						•••••							
	人	職員従事工数	人工		0. 02		0. 02		0		0		0
	件	人件費計(B)	千円		147		146		0		0		0
	h-5	タルコスト (A) + (B)	千円		157		156		0		0	0	

事務事業名	栃木県社会教育委員協議会参画事業	本年度担当課	生涯学習課
争伤争未 有		前年度担当課	社会教育係

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	昭和39年、県及び市町村の社会教育委員相互の連携を図り、社会教育の振興に寄与することを目的に設置された。H19年度より社会教育委員設置事業から独立した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・ 県などの法令等、社会情勢など)は 事務事業の開始時期と比べてどのように 変化していますか?	社会の急激な変化に伴い、社会教育に対する期待が高まっている。
③この事務事業に対して、当該年度中、 関係者(市民、議会、事務事業対象者) からどのような意見・要望がありますか?	特になし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·							
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組						
現状維持(従来通り実施)	現状維持により対象外						

2. 事務事業の事後評価【Check】

- 1.1% 1.5Ket 1.1% III Ection 7			
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はない		成果向上余地がある程度ある	向上した
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地
関東甲信越静社会教育研究大会が	成果向上余地がある程度ある		

⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて必要となる取組内容
関東甲信越静社会教育研究大会が栃木大会で開催され、多くの学び	社会教育委員の学びの場となる研修等の情報を協議会で得ること
の場があったから	

	(1)事務事業の評価結果				(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大		0		現状維持(従来通り実施)	
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
	中					
成	-					
度	小					
		大	中	小		
		成	果向上余	地		

					77	DTA \	アンハントン				
市级	本来力	社会教育指導員設置事業								本年度担当課	生涯学習課
す が	事業名									前年度担当課	生涯学習課
	基本目標	04 5	豊かフ	な心	を育み、学び合う	うまちづくり				新規・継続	継続事業
政策	政策	02 J	地域。	ع ع	もに学び育てるま	きちづくり				実施計画・一般	一般事業
体系	施策	01 4	生活	を豊ま	かにする生涯学習	図の推進		=	事	市単独·国県補助	市単独事業
	基本事業	01 =	学習作	青報.	及び場の提供			3	業	任意•義務	任意的事業
予算	会計	款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	直営
科目	一般	10	04	01	社会教育指導員	設置事業		3	分	事業分類	審議会等運営事業
車:	事業計画 単年度繰り返し 事業期間 昭和53年度 ~								市長公約	該当なし	
新来計画 単千度繰り返じ 新来期间 旧和35千度 ※ 総合戦略 該当なし									該当なし		
根拠	根拠法令・条例等 佐野市社会教育指導員規則										

1. 事務事業の現状把握【DO】

①手段 (事務事業の主な活動内容を記入します。)			Ⅰ. 争份争未の現仏に推【DO】								
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方) 社会教育関係団体の指導助言及び公民館の各種ボランテイア養成、サークル指導・講座等の充実・活性化を図るため、社会教育情報の指導員を設置する。	_	(1	(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標								
社会教育関係の学習相談、社会教育関係団体の指導助言及び公民館の各権ポランテイア養成、サークル指導・講座等の充実・活性化を図るため、社会教育関係団体の育成を図った。 本書		1)	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
導助言及び公民館の各種ボランティア養成、サークル指導・講座等の充実・活性化を図るため、社会教育関係団体の育成を図った。			事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	!)	
導助言及び公民館の各種ボランティア養成、サークル指導・講座等の充実・活性化を図るため、社会教育関係団体の育成を図った。		Γ	社会教育関係の学習相談、社会教育関係団体の指	生涯学習課社会教育係に	11名、	各公	民館に 4:	名(中央·	公民館、	犬伏地区·	公民館、
クル指導・講座等の充実・活性化を図るため、社会教育指導員を設置する。 企画運営や、社会教育関係団体の育成を図った。会教育指導員を設置する。 企画運営や、社会教育関係団体の育成を図った。会教育指導員を設置する。 企画運営数											
会教育指導員を設置する。											
清座の企画運営数											
清座の企画運営数											
清座の企画運営数											
講座の企画運営数				活動 指煙		畄位					
関連した社会教育関係団体数 団体 4 2 2 2 2 2 2 2 2 2						. –					
②対象 (この事務事業は誰・何を対象としていますか?) 社会教育指導員											
社会教育指導員 対象指標 単位 R3年度 R4年度 (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標)				関連した社会教育関係国	体数	団体	4	2	2	2	2
社会教育指導員 対象指標 単位 R3年度 R4年度 (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標)	ŀ										
日本語画		1	<u> </u>	か?)			D0 4- 4-	D1 = =	DF 4- 4-	D0 4 4 1	D7 4- 4-
社会教育指導員数人555553意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)市民・社会教育団体の教育力を向上させる。成果指標 主として関連した団体 の事業執行率単位 (%)R3年度 (**)R4年度 (**)R5年度 (**)R6年度 (**)R7年度4結果(どのような結果に結びつけますか?)上位成果指標 (**)単位 (**)R3年度 (**)R4年度 (**)R5年度 (**)R6年度 (**)R7年度4結果(どのような結果に結びつけますか?)上位成果指標 (**)単位 (**)R3年度 (**)R4年度 (**)R5年度 (**)R6年度 (**)R7年度4 (**)生涯学習のホームペー ジへのアクセス数 学習の環境が整ってい 学習の環境が整ってい (**)日標 (**)81,000 (**)77,000 (**)81,000 (**)			社会教育指導員	対象指標		単位					
Bandard Amage				北		1					
的 ③息図 (この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですが?) 市民・社会教育団体の教育力を向上させる。 成果指標 単位 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 主として関連した団体の事業執行率 % 目標 100 100 100 100 重複 実績 100 100 100 100 「学習情報が提供されている。 上位成果指標 単位 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 生涯学習のホームページへのアクセス数学習の環境が整ってい。 年額 100 69,000 73,000 77,000 81,000 学習の環境が整ってい。 94 日標 55 55 55 55				1. 位云钗月扣导貝奴			ິນ	ΰ	3	υ	3
的 ③息図 (この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですが?) 市民・社会教育団体の教育力を向上させる。 成果指標 単位 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 主として関連した団体の事業執行率 % 目標 100 100 100 100 重複 実績 100 100 100 100 「学習情報が提供されている。 上位成果指標 単位 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 生涯学習のホームページへのアクセス数学習の環境が整ってい。 年額 100 69,000 73,000 77,000 81,000 学習の環境が整ってい。 94 日標 55 55 55 55											
市民・社会教育団体の教育力を向上させる。 成果指標 単位 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 Eとして関連した団体 の事業執行率 96 目標 100 10			③意図(この事務事業によって、対象をどのような	: :状態にしたいのですか?)					l	
放果指標 単位 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 主として関連した団体 の事業執行率 100 1		的				\Box	D0 - +	D4 = ±	DE 4- 4-	D0	D7 4
④結果(どのような結果に結びつけますか?) 上位成果指標 単位 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 生涯学習のホームページへのアクセス数 中 目標 81,000 69,000 73,000 77,000 81,000 学習の環境が整ってい 96 目標 55 55 55 55 55				灰果指標	甲位		K3年度	K4年度	K5年度	K6年度	K/年度
の事業執行率 実績 100 100 4結果(どのような結果に結びつけますか?) ①学習情報が提供されている。 ②学習の場が整備されている。 上位成果指標 単位 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 生涯学習のホームページへのアクセス数 件 目標 81,000 69,000 73,000 77,000 81,000 学習の環境が整ってい 94 目標 55 55 55 55				主として関連した団体	0/	目標	100	100	100	100	100
(4) 信果(どのような結果に結びつけますか?)上位成果指標単位R3年度R4年度R5年度R6年度R7年度(2) 学習の場が整備されている。上位成果指標単位R3年度R4年度R5年度R6年度R7年度生涯学習のホームページへのアクセス数件目標81,00069,00073,00077,00081,000学習の環境が整ってい94目標55555555				の事業執行率	%0		100	100			
④結果(どのような結果に結びつけますか?)上位成果指標単位R3年度R4年度R5年度R6年度R7年度②学習の場が整備されている。上位成果指標単位R3年度R4年度R5年度R6年度R7年度生涯学習のホームページへのアクセス数件目標81,00069,00073,00077,00081,000学習の環境が整ってい94目標55555555											
①学習情報が提供されている。 ②学習の場が整備されている。上位成果指標 生涯学習のホームペー ジへのアクセス数 	L					実績					
②学習の場が整備されている。 上位放果指標 単位 R3年度 R		4)				,				-	
生涯学習のホームペー ジへのアクセス数件目標 実績 34,65981,000 32,67769,000 77,000 32,67777,000 81,000 81,000 81,000 96				上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
ジへのアクセス数 1+ 実績 34,659 32,677 学習の環境が整ってい 04 目標 55 55 55 55				生涯学習のホームペー	1/4-	目標	81, 000	69, 000	73, 000	77, 000	81, 000
				ジへのアクセス数	1+		34, 659	32, 677			
					0/6				55	55	55
	L			ると感じる市民の割合	70	実績	38. 6	41			

		財源内訳	単位	R3年度((実績)	R4年度	(実績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度((目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		28		37		0		0		0
		一般財源	千円		10, 849		10, 779		0		0		0
	車	事業費計(A)	千円		10, 877		10, 816		0		0		0
	事業			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	費					報酬	7, 783						
入	頁					共済費	1, 549						
量		市業弗の				職員手当等	1, 339						
		事業費の 内訳	千円			旅費	145						
		内訳											
	싰	職員従事工数	人工		0. 12		0.14		0		0		0
	費	人件費計(B)	千円		879		1, 020		0		0		0
	トータ	タルコスト (A) + (B)	千円		11, 756		11, 836		0		0		0

車	社会教育指導員設置事業	本年度担当課	生涯学習課
尹衍尹未位 		前年度担当課	生涯学習課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	社会教育指導者の充実が重要となってきた昭和40年代後半から50年代前半にかけて、全国に社会教育指導員の制度が広まった。佐野市においては昭和53年度に、社会教育課(当時)に社会教育指導員が在籍していた記録がある。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・	生涯学習・社会教育に対する理解は市民の間に浸透してきており、活動や実践が増加する傾
県などの法令等、社会情勢など)は	向にある。
事務事業の開始時期と比べてどのように	
変化していますか?	
③この事務事業に対して、当該年度中、	特になし
関係者(市民、議会、事務事業対象者)	
からどのような意見・要望がありますか?	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

	The state of the s							
	前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組						
	現状維持(従来通り実施)	現状維持のため対象外						
- 1								

2. 事務事業の事後評価【Check】

2. 事務事業の事後計画【01000】								
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地					
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない					
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果					
類似事務事業があり統合・連携で きる・している	社会教育指導員(人権教育)設置 事業	成果向上余地がない	取組むことができなかった					
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地					
前年度評価結果が「成果向上余地がない」のため、取組実績なし。 成果向上余地がない								
⑩A表の成果指標の目標が達成	できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて	必要となる取組内容					
社会教育指導員を配置できたため	0.	引き続き、社会教育指導員を設置する。						

	⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて必要となる取組内容
	社会教育指導員を配置できたため。	引き続き、社会教育指導員を設置する。
-		
- 1		

	(-	1)事務	事業の評値	西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大			0	現状維持(従来通り実施)	
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中					
度	小					
		大	中	小		
		成	果向上余	地		

						771	DTAI	ハンハンドン		-		
車型	務事業名	,	社会教育担当職員研修会派遣事業								本年度担当課	生涯学習課
争作	70年末在	1									前年度担当課 生涯学習課	
	基本目	標(04 <u>통</u>	豊かな	な心な	を育み、学び合う	うまちづくり				新規·継続	継続事業
政策	政	策 (02 ±	也域。	노 논 :	もに学び育てるま	きちづくり				実施計画・一般	一般事業
体系	施	策 (01 4	生活る	を豊フ	かにする生涯学習	図の推進			事	市単独·国県補助	市単独事業
	基本事	業(01 🖺	学習作	青報	及び場の提供				業	任意・義務	任意的事業
予算	会計	-	款	項	田		予算事	業名		区	実施方法	直営
科目	一般	:	10	04	01	社会教育担当職	員研修会派遣事	事業		分	事業分類	その他内部事務事業
車	業計画	単年度繰り返し 事業期間 昭和50年度 ~								市長公約	該当なし	
尹	未引四		単年度繰り返し 事業期間 昭和50年度 ~								総合戦略	該当なし
根拠	法令・∶	条例	事	社会	≹教育	育法 5 条, 教育公務	务員特例法					

1. 事務事業の現状把握【DO】

1	. 事務事業の現状把握【DO】								
_(1)事務事業の手段・目的・結果・各指標								
1	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	?)	
	県等の各種会議に職員を派遣するとともに、社会	・県等が主催する会議、							
	教育専門職員としての資質向上のため研修機会を	• 社会教育関係職員研修				11/22 1	1/29		
	確保し、社会教育の推進を図る。	・安足地区ふれあい学習							
	<社会教育法第9条の2、6><教育公務員特例法 第21条>	│・安足地区生涯学習推進 ・家庭教育・子育て支持				20			
	n21 x /	・地域コーディネーター				10 9/15	11/22		
			12/3/			R4年度		R6年度	R7年度
		活動指標		単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
		研修会派遣回数 (延べ)			9	10	10	10	10
	 ②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	-h, 2)							
	職員		T		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	物長	対象指標 単			(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
		研修会派遣回数 (延べ)		9	10	10	10	10	
目	② 立回 ノーの本数本サレ しょう サタナドのしこむ								
的	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	状態にしたいのですか? 	<i>'</i>)						
	社会教育の推進、地域における社会教育活動の充 実を目指し、職員等の資質の向上を図る。	成果指標	単位		R3年度			R6年度	R7年度
		研修を活かした事業の	%	目標	100	100	100	100	100
		割合		実績目標	100	100			
				実績					
<u>(4</u>	 結果(どのような結果に結びつけますか?)			人们只					
	①学習情報が提供されている。	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
		上位成果指標	甲亚	/					
	②学習の場が整備されている。	生涯学習課のホームペ	件	目標	81,000		73, 000	77, 000	81, 000
		ージのアクセス数 生涯学習施設の利用者		実績	34, 659 1, 075	32, 677 1, 010	1, 010	1, 010	1, 010
		生涯学音施設の利用名 数	千人	目標 実績	458	626	1,010	1,010	1,010
		%		大限	700	020			
(2) 総事業費の推移・内訳								

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R 4 年度	(実績)	R 5 年度(目標)	R6年度	(目標)	R7年度(目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円	0			0		0		0		0
		その他	千円	0			0		0		0		0
		一般財源	千円	0			0		0		0		0
	事	事業費計(A)	千円		0		0		0		0	1	0
		事業費の 内訳		項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	業費												
入													
量													
			千円									<u> </u>	
		거하										<u> </u>	
	ř	職員従事工数	人工		0. 01		0. 01		0		0		0
	費	人件費計(B)	千円	•	73		73		0		0		0
	h-/	タルコスト (A) + (B)	千円		73		73		0		0		0

事務事業名	社会教育担当職員研修会派遣事業	本年度担当課	生涯学習課
争伤争未有		前年度担当課	生涯学習課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	職員等の資質向上のため研修への派遣を行ってきたが、H18年度より職員研修会派遣事業として独立の事業とした。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・ 県などの法令等、社会情勢など)は	社会教育情勢は常に変化している。それに対応できる社会教育担当者が望まれる。
事務事業の開始時期と比べてどのように 変化していますか?	
③この事務事業に対して、当該年度中、	研修を通して、県や国の動向や県内の状況などが分かり、当市における社会教育事業推進に
関係者(市民、議会、事務事業対象者) からどのような意見・要望がありますか?	役立っている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

1 7 100 1 100 1 101 101 111 111 111 111						
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組					
現状維持(従来通り実施)	現状維持により対象外					

2. 事務事業の事後評価【Check】

2. 争伤争系の争後計画【いばり】			
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はない		成果向上余地がない	向上した
	⑨事務事業の成果向上余地		
多くの研修に参加できたため、職	員の資質向上につながった。		成果向上余地がない
⑩A表の成果指標の目標が達成	できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて	必要となる取組内容
多くの研修会に参加できたため。		研修会へ参加できるための、職員	の時間の確保。

_	, <u> </u>	FILIMITACONSTITUTE											
	(1)事務	事業の評価	価結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3) 改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策							
	大				現状維持(従来通り実施)								
E	∄L				*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。								
j F	票 中		0										
5	小												
		大	中	小									
		成	果向上余	地									

車務車業マネジメントシート

					77-1	カチホヽ	ソンクファン				
市弘	本来力	作原野外活動施設指定管理事業								本年度担当課	生涯学習課
事務事業名										前年度担当課	生涯学習課
	基本目標	04 !	豊かフ	な心	を育み、学び合う	うまちづくり				新規・継続	継続事業
政策	政策	02	地域。	ع ع	もに学び育てるま	まちづくり				実施計画・一般	一般事業
体系	体系 施 策 01 生活を豊かにする生涯学習の推進							事	事	市単独·国県補助	市単独事業
	基本事業	01	学習作	青報.	及び場の提供			当	業	任意・義務	任意的事業
予算	会計	款	項	目		予算事	業名	D	ᆇ	実施方法	指定管理者
科目	一般	10	04	01	作原野外活動施	設指定管理事業	Ę	5	分	事業分類	施設維持管理事業
車:	業計画	画 単年度繰り返し 事業期間 昭和62年度 ~							市長公約	該当なし	
事 :	未引四		#	十戌	に除り返し	争未规间	临和02年及 ~			総合戦略	該当なし
根拠	法令・条件	列等	社会	教育	育法、佐野市作原	野外活動施設夠	 €例	•		-	

- 1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標										
(1	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年原	医実績	(令和4	14年度に行った主な活動内容)						
	指定管理者制度を導入し、作原地区むらづくり推	指定管理者である作原	也区むら	うづく	つづくり推進協議会が管理運営						
	進協議会が管理運営業務を行う。キャンプ場、テ										
	ニスコート、宿泊棟等の施設を市民に提供し、不										
	都合なく安全に利用してもらう。										
					DO左曲	DA左击	DC左击	DC左击	D7左曲		
		活動指標		単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)		
		維持管理に関する打合・	中同数		<u>(天根)</u> 15	<u>(天根)</u> 15	<u>(日 信)</u> 15	<u>(日 信)</u> 15	15		
		作原施設利用者数(実人		人	962	1. 398	4, 500	4, 500	4, 500		
		11 11/1/2012 1 1/1/11 11 2/1/2012				.,	.,	.,	.,		
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	トか?)									
	作原野外活動施設内施設	対象指標		単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
				施設	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)		
		作原野外活動施設内施	作原野外活動施設内施設数				7	7	7		
目	②辛回 / = の声改声サル レーナー サタナドのしこれ										
的	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	ば状態にしたいのですか`	?) T								
	作原野外活動施設の施設を管理し、利用者に不都 合なく安全に利用してもらう。	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
		不都合なく利用できた	%	目標	100	100	100	100	100		
		施設の割合	/0	実績	100	80	100	100			
		不都合なく利用できた	%	目標	100	100	100	100	100		
		利用者の割合	<u> </u>	実績	100	90					
الط	結果(どのような結果に結びつけますか?) 「①学習情報が提供されている。		Τ								
	①子音情報が提供されている。 ②学習の場が整備されている。	上位成果指標単位		目標	R3年度	,	R5年度	R6年度	R7年度		
		生涯学習のホームペー件			81, 000		73, 000	77, 000	81, 000		
		ジへのアクセス数	''	実績	34, 659		4 0 4 0	4 040			
		生涯学習施設の利用者	千人	目標	1, 075	1, 010	1, 010	1, 010	1, 010		
		数		実績	458	626					

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R4年度(実績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R 7 年度(目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		0		0		0		0		0
		一般財源	千円		5, 102		5, 274		0		0		0
	_車	事業費計(A)	千円		5, 102		5, 274		0		0		0
	貸 	事業費の 内訳		項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投						委託料	4, 630						
入						需用費	471						
量			千円			使用料及び賃借料	146						
						役務費	27						
		內訳											
	싰	職員従事工数	人工		0. 11		0. 02		0		0		0
	費	人件費計(B)	千円	·	806		146		0		0	·	0
	h-5	タルコスト (A) + (B)	千円		5, 908		5, 420		0		0		0

事 務重業名	作原野外活動施設指定管理事業	本年度担当課	生涯学習課
尹 份 尹 未 伯		前年度担当課	生涯学習課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	昭和62年度より開始。廃校となった作原小学校跡地を利用して開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・	施設の管理が、これまでは公共団体や、公共団体が1/2以上出資する法人に限定されていた
県などの法令等、社会情勢など)は	が、現在では株式会社を含む「指定管理者制度」に変更された。
	21年度~作原地区むらづくり推進協議会を指定管理者とした指定管理制度を導入し、R3年度
変化していますか?	からの3年間も引き続き指定で同会を指定管理者とした。
③この事務事業に対して、当該年度中、	施設の維持管理について、老朽化した施設の計画的な改修、トイレの洋式化を望む意見があ
関係者(市民、議会、事務事業対象者)	った。
からどのような意見・要望がありますか?	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組						
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	施設の維持管理や利用者サービスの向上等のため、指定管理者と連絡を密にし、情報共有や助言を行った。						

2. 事務事業の事後評価【Check】

2: 子切子木00子及时温 [01100]			
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はない		成果向上余地がある程度ある	向上しなかった
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地
新型コロナウイルス感染症の影響	成果向上余地がある程度ある		
② / キのよ田お押の口押がきよ	の口標はよいウムイ	と悪しおて取の中央	

川日標達成に向けて必要となる取組内谷
令和4年度に屋外給水管の改修や施設内の修繕により漏水は解消し
たが、今後も計画的に施設の老朽化した箇所を改修することを検討
する。

	(.	1)事務署	事業の評値	西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大			事業のやり方改善(成果向上の見直し)	指定管理者との連携を密し、課題・問題に対し、 統一的な見解で対応する。	
I	目				*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
樗					指定管理者と協議をすることにより、事業費の見	
達	中		0		直しが図られる。	
成	;				また、継続して助言を行い、利用者増加を図って	
度					いく。	
	小					
		大	中	小		
		成	果向上余	地		

	<u> </u>												
中 3公	本来力	作原	見野ダ	卜活重	カ施設給水設備改	修事業				本年度担当課	生涯学習課		
争 份	事務事業名								前年度担当課 生涯学習課				
	基本目標 04 豊かな心を育み、学び合うまちづくり									新規・継続	新規事業		
政策	政策	02 J	地域。	: ع ع	もに学び育てるま	まちづくり				実施計画・一般	一般事業		
体系 施 策 01 生活を豊かにする生涯学習の推進									事	市単独・国県補	市単独事業		
	基本事業	01 =	学習作	青報	及び場の提供				業	任意・義務	任意的事業		
予算	会計	款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	直営		
科目	一般	10	04	01	作原野外活動施	設給水設備改修	§事業		分	事業分類	施設維持管理事業		
車:	事業計画 単年度のみ 事業期間 令和4年度 ~ 令和4年度								市長公約	該当なし			
尹之	未引四		単年度のみ 事業期間 令和4年度 ~ 令和4年度							総合戦略	該当なし		
根拠	法令・条件	列等	社会	教育	法、佐野市作原	野外活動施設夠	 N			-			

- 1. 事務事業の現状把握【DO】 (1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

_ (1)事務事業の手段・目的・結果・各指標											
()手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	<u>;</u>)				
	作原野外活動施設において、漏水の多い屋外給水	作原野外活動施設の屋タ	卜給水 旬	管の布	没替えエ	事(高架	水槽~管	理棟、管	理棟~宿			
	管の布設替え工事を行う。	泊研修棟)										
					D0	D16-	D= 4 +		D7 6 4			
		活動指標		単位	R3年度		R5年度	R6年度	R7年度			
		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)			
		給水管の布設替え工事間		箇所		l	_	_	_			
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	-か?)										
	作原野外活動施設			単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
	17/51/1/13/16版	対象指標			(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)			
		作原野外活動施設		箇所	10 1101	1		-	-			
E												
的		状態にしたいのですか?	')									
ш	作原野外沽動施設の施設を管埋し、利用者に不都	成果指標	単位	/	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
	合なく安全に利用してもらう。		丰田		加一及	八十尺	10千尺	110千尺	八十尺			
		改修した箇所数	箇所	目標		1						
				実績		1						
				目標実績								
	」)結果(どのような結果に結びつけますか?)			天限								
١	①学習情報が提供されている。											
	①子目情報が提供されている。 ②学習の場が整備されている。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
	生涯学習のホームペー		ы	目標		69, 000						
		ジのアクセス数	件	実績		32, 677						
		生涯学習施設の利用者	T 1	目標		1, 010						
		数	千人	実績		626						

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R 4 年度	(実績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度((目標)
		国庫支出金	千円		0		0	0		0		0	
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
	争業費	地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		0		0		0		0		0
		一般財源	千円		0		5, 456		0		0	0	
		事業費計(A)	千円		0		5, 456	6 0			0		0
		事業費の 内訳		項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投						工事請負費	5, 456						
入													
量													
			千円										
		内訳											
	싰	職員従事工数	と		0		0. 01		0		0		0
	費	人件費計(B)	千円		0	73		0		0		0	
	1-5	タルコスト (A) + (B)	千円		0		5, 529		0		0		0

-	車	作原野外活動施設給水設備改修事業	本年度担当課	生涯学習課
-	争伤争未有		前年度担当課	生涯学習課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	作原野外活動施設は、昭和62年に建設された施設であるため、老朽化により給水管が破損し 漏水している箇所があったことから実施した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・ 県などの法令等、社会情勢など)は 事務事業の開始時期と比べてどのように	施設の安全性が特に求められている。
変化していますか?	
③この事務事業に対して、当該年度中、	指定管理者である作原地区むらづくり推進協議会から修繕の要望があった。
関係者(市民、議会、事務事業対象者)	
からどのような意見・要望がありますか?	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

The second secon								
	前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組						
		新規事務事業により対象外						

2. 事務事業の事後評価【Check】

2. 争務争系の争後評価【GNeck】			
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はない			取組むことができなかった
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地
新規事務事業により対象外 			成果向上余地がない
⑩A表の成果指標の目標が達成	できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて	必要となる取組内容

	(-	1)事務署	事業の評値	西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大			0	事業終了	
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中					
度	小					
		大	中	小		
		成	果向上余	地		

車務車業マネジメントシート

					77-1	DTA \	ソファフ		1		
車数	中央公民館空調設備改修事業									本年度担当課	生涯学習課
争狄	事務事業名								前年度担当課	中央公民館	
	基本目標	04	豊かれ	な心な	を育み、学び合う	うまちづくり				新規・継続	継続事業
政策	政策	02	地域。	とと:	もに学び育てるま	きちづくり				実施計画・一般	一般事業
体系	施策	01	生活	を豊た	かにする生涯学習	図の推進			事	市単独・国県補助	市単独事業
	基本事業	01	学習作	青報	及び場の提供				業	任意・義務	任意的事業
予算	会計	款	項	皿		予算事	業名		区	実施方法	直営
科目	一般	10	04	02	中央公民館空調	設備改修事業			分	事業分類	施設維持管理事業
車:									市長公約	該当なし	
尹	事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成30年度 ~ 令和4年度									総合戦略	該当なし
根拠	根拠法令・条例等 社会教育法、佐野市公民館条例										

1	١.	事務事業の現状把握【DO】								
	(1)事務事業の手段・目的・結果・各指標								
(<u>1</u>)≢	-段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
	1	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	!)	
	1	左野市中央公民館の空調設備について、設置から	・空調設備改修工事(1	階)						
	2	28年が経過し、各階の空調設備に不具合が生じて	1階ロビー及び展示即	□売コ-	-ナーi	西側の列	の室外機	2台及び	室内機8	台の取替
		いる。	設置工事を実施							
		そのため、年次計画により空調設備の改修工事(
	3	室外機及び室内機の更新) を行う。								
			活動指標		単位	R3年度	R4年度		R6年度	R7年度
						(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
			更新設備数(空調機数)		箇所	3	2		_	
H		②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	· 4/ 2)							
		5/7/3 (この事 の事業は唯一円と対象ことではす 中央公民館	,			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		中央公民館利用者	対象指標		単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
			更新設備数(空調機数)		箇所	3	2	— (<u>пре</u>	— — — — — — — — — — — — — — — — — — —	— —
			中央公民館利用者数(延	Eべ)	人	14, 989	21, 315	23, 447	23. 447	23, 447
١.	_					,	,	,	,	ŕ
	目 内	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	:状態にしたいのですか?	')						
ľ	ם וניו	改修することにより、利用者が安心して利用でき	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		る施設となる。	八木徂标	半世		いる平皮	144月	NO干及	NU干皮	八十尺
		施設の利便性と安全性が確保される。	不備なく設置されてい	%	目標	100	100	100	100	100
	1	利用者が快適に施設を利用できる。	る空調設備の割合	/0	実績	100	100			
					目標					
L	1	t= /!`a `			実績					
1		ま果(どのような結果に結びつけますか?) ************************************								
	"	学習の場が整備されている。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			生涯学習施設の利用者		目標	1, 075	1, 010	1, 010	1. 010	1, 010
			数		実績	458	626	1,010	1, 010	1, 010
			<i>n</i>		目標	.50	520			
					実績					
_					, , , , , , ,					

		財源内訳	単位	R3年度(§	実績)	R 4 年度	(実績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度((目標)								
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0								
		県支出金	千円		0		0		0		0		0								
		地方債	千円		12, 300		5, 700		0		0		0								
		その他	千円		0		5, 850		0		0		0								
		一般財源	千円		20		0		0		0		0								
	事	事業費計(A)	千円		12, 320		11, 550		0		0		0								
	業	事業費の千			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費							
	考費														工事請負費	11, 550					
入	貝																				
量			車業费の																		
			千円																		
		四部人																			
	슸	職員従事工数	人工		0. 02		0. 02		0		0		0								
	費	人件費計(B)	千円		147		146		0		0		0								
	├ ─ <i>5</i>	ルコスト (A) + (B)	千円		12, 467		11, 696		0		0		0								

ſ	車	中央公民館空調設備改修事業	本年度担当課	生涯学習課
ı	事務事業名		前年度担当課	中央公民館

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 -							
①この事務事業は、いつ頃、	中央公民館は供用開始から28年が経過しており、空調設備の耐用年数(通常15年)やメンテナ						
どのようなきっかけで開始しましたか?	ンス時の部品調達が困難な状態にあった。また、利用者からも空調の不調が指摘されていた						
とのようなとうかりで開始しよしたが!	。公民館として利用者の安全が第一であると考え、更新が急務となっていた。						
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・	高齢者の増加により、公共の施設においては、安全性が完備された施設を有していて当然で						
県などの法令等、社会情勢など)は	あるとの社会的な認識がある。また、地震によるブロック塀の倒壊など、市が管理する施設						
事務事業の開始時期と比べてどのように	の安全性が重要視されていることから、未然に事故を防ぐためにも施設設備の整備は必要不						
変化していますか?	可欠である。						
③この事務事業に対して、当該年度中、	施設の利用者からは、空調の効きが悪いことが指摘され、空調設備の更新を求める声があが						
関係者(市民、議会、事務事業対象者)	っており、保守業者からも既存機器の部品供給が終了し、修理が難しいため機器の更新を提						
からどのような意見・要望がありますか?	案されていた。						

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

THE PROPERTY OF THE PROPERTY O								
	前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組						
	事業終了	現状維持により対象外						

2. 事務事業の事後評価【Check】

2: 子奶子来00子皮们温 [0100]			
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はあるが、統合・連 携できない	中央公民館維持管理事業	成果向上余地がない	取組むことができなかった
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地
前年度評価結果が「成果向上余地 	がない」のため、取組実績なし		成果向上余地がない
⑩A表の成果指標の目標が達成	できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて	必要となる取組内容
年度内に改修工事が実施され、不 め。	備のある空調設備がなくなったた		

	(1) 事務事業の評価結果			西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				事業終了	
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中			0		
度	小					
		大	中	小		
		成	果向上余	地		

	チがチ木・バン・フェー													
車数	事務事業名 中央公民館維持管理事業										本年度担当課	生涯学習課		
予切学未位										前年度担当課	中央公民館			
	基本目標04 豊かな心を育み、学び合うまちづくり										新規・継続	継続事業		
政策	政策	02	2 地均	或とる	٤ŧ	に学び育てるま	まちづくり				実施計画・一般	一般事業		
体系	施策	01	生	舌を豊	豊か	いにする生涯学習	習の推進 事			事	市単独・国県補	市単独事業		
	基本事	業 01	学習	劉情 幸	设及	なび場の提供				業	任意・義務	任意的事業		
予算	会計	赤	欠 耳	Į E			予算事	業名		区	実施方法	直営		
科目	一般	1	0 0	4 0	2	中央公民館維持	管理事業			分	事業分類	施設維持管理事業		
車:	業計画			出任	庄 5	繰り返し	事業期間	 昭和34年度			市長公約	該当なし		
一 尹 :	未引四			##	浸す	除り返し	尹未州间	哈和34千段	~		総合戦略	該当なし		
根拠	法令・翁	€例	等。佐	野市	公	民館条例、佐野	市公民館利用의	全例						

1. 事務事業の現状把握【DO】

)事務事業の手段・目的・結果・各指標								
	<u> </u>	The state of the s								
	~ -	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
		事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度							
		中央公民館兼佐野地区公民館の警備、清掃、各種	・消耗品費や修繕料等の)需用	費、通信	言運搬費	や傷害保	険料等の	役務費、	保守委託
		保守、修繕などの維持管理事業を適正に実施し、	料や清掃委託料等の委託	E料、ħ	幾械等個	昔上料、:	土地借上	料や受信	料等の使	用料及び
		公民館利用者や地域住民の方々が、安全で快適な	賃借料等の施設維持管理	即に要す	する予算	算を執行	した。			
		施設利用ができるように事業を遂行する。								
			活動指標		単位	R3年度		R5年度	R6年度	R7年度
			12-012 111			(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
			維持管理に要した費用		千円	10, 931	13, 061	21, 355	21, 355	21, 355
L										
	- 1	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	⁻ か?)							
		中央公民館利用者	対象指標	単位	R3年度 (実績)		R5年度	R6年度	R7年度	
		さのふれあいセンター(中央公民館及び佐野市観		中中公民統利田老粉			(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
		光物産会館)の修繕箇所	中央公民館利用者数		人	14, 989	,	23, 447	23, 447	23, 447
			修繕実施箇所数		箇所_	9	3			
	∃ ⊦	②辛岡 / = の東改東世に と せんとじのしこむ								
	in L	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	状態にしたいのじゅか?)						
		安全で快適な状態で公民館を利用して頂くことで	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		、利用者数を増やす。	中中公民統制田老粉並		目標	110	110	110	100	100
			中央公民館利用者数前年度比	%	<u>日保</u> 実績	131. 1	142. 2	110	100	100
			十茂山		日標	101.1	142. 2			
					実績					
H	<u> </u>	結果 (どのような結果に結びつけますか?)			人们					
		世界(このような相来に相びラウますが:/ 学習の場が整備されている。								
		ナロングのでは、正明でものです。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			生涯学習施設の利用者		目標	1, 075	1, 010	1, 010	1. 010	1, 010
			数	千人	実績	458	626	1, 510	1, 510	1, 510
					目標	.50	020			
					実績					
			L		ノくりが					

		財源内訳	単位	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度((目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		2, 141		3, 296		0		0		0
		一般財源	千円	8, 790			9, 765		0		0		0
	事	事業費計(A)	千円		10, 931		13, 061		0		0		0
	業	事業費の		項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	費					需用費	7, 975						
入	\					委託料	4, 391						
量						使用料及び賃借	料 364						
			千円			役務費	324						
		内訳				負担金、補助及	び 7						
						•••••							
	싰	職員従事工数	人工		0. 39		0. 36		0		0		0
	骨費	人件費計(B)	千円		2, 858		2, 623		0	0		0	
	h-5	タルコスト(A)+(B)	千円		13, 789		15, 684		0		0		0

事務事業名	中央公民館維持管理事業	本年度担当課	生涯学習課
尹衍尹未 石 		前年度担当課	中央公民館

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	昭和34年に旧中央公民館が開館したことにより施設の維持管理事業が始まり、平成7年に 複合施設のさのふれあいセンターとして整備され、同施設の2階及び3階を中央公民館とし て使用するという現在の施設の形態となった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・	社会教育活動に対して、民間事業者や商工団体などの参入が増加しており、また、利用者・
県などの法令等、社会情勢など)は	地域住民の趣味や嗜好が多種多様化している。
事務事業の開始時期と比べてどのように	
変化していますか?	
③この事務事業に対して、当該年度中、	・公的な施設における社会教育活動は、快適・安心な環境の下にあって然るべきであり、利
関係者 (市民、議会、事務事業対象者)	用料は減免又は低額との意識が一般化している。
からどのような意見・要望がありますか?	・公民館の予約において、登録サークルの優先配慮を求める声もある。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

_	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	<u></u>
	前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
	現状維持(従来通り実施)	現状維持により対象外
- 1		

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地								
結びついている	業務の一部を委ねられる・委ねら れる可能性がある	妥当である	削減の余地はない								
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果								
類似事務事業はあるが、統合・連 携できない	佐野各地区公民館維持管理事業	成果向上余地がない	取組むことができなかった								
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地								
前年度評価結果が「成果向上余地	成果向上余地がない										
⑩ ∧ 素の成里指標の日標が達成	↑↑ ★の前甲指揮の日煙が達成できた理由 できたかった理由 ↑・ ● ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・										

⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて必要となる取組内容
新型コロナウイルス感染症の影響により外出制限や集団活動を避け	施設の老朽化や電気料の高騰を踏まえ、的確な施設の維持管理に努
る傾向があったが、感染症対策を講じながら活動することにより、	める必要がある。
次第に利用者が増加してきたため。	

	(-	1)事務署	事業の評値	西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				現状維持(従来通り実施)	
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中			0		
度	小					
		大	中	小		
		成	果向上余	地		

	ナがナベ・バンノン・ノ													
車数	z 車 柴 夕	佐野各地区公民館維持管理事業								本年度担当課	生涯学習課			
事務事業名										前年度担当課	生涯学習課			
	基本目標04 豊かな心を育み、学び合うまちづくり									新規・継続	継続事業			
政策	政策	02	地域。	: ع ع	もに学び育てるま	きちづくり				実施計画・一般	一般事業			
体系	施策	01	生活	を豊フ	かにする生涯学習	の推進			事	市単独・国県補	市単独事業			
	基本事業	01	学習作	青報	及び場の提供				業	任意・義務	任意的事業			
予算	会計	款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	直営			
科目	一般	10	04	02	佐野各地区公民	館維持管理事業	<u> </u>		分	事業分類	施設維持管理事業			
車:	業計画		出	ケー	繰り返し	事業期間	平成17年度 ~			市長公約	該当なし			
尹:	未引四		#	十戊	.深り返し	争未规间	十成17年及 ~			総合戦略	該当なし			
根拠	艮拠法令・条例等 佐野市公民館条例													

1. 事務事業の現状把握【DO】

1	事務事業の現状把握【DU】													
_(1)事務事業の手段・目的・結果・各指標													
1	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)													
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	ł)						
	佐野各地区公民館7館の施設保全及び維持管理に	市民に安心・安全に公民							補修及び					
	伴う事務経費。対象は、植野地区公民館、界地区	管理を実施した(修繕及び警備、清掃、保守業務委託等を実施)。												
	公民館、犬伏地区公民館、城北地区公民館、旗川													
	地区公民館、吾妻地区公民館、赤見地区公民館。	官、吾妻地区公民館、赤見地区公民館。												
		V-2111-12		*** / 1	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度					
		活動指標		単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)					
		維持管理に要した費用		千円	24, 107	28, 955	36, 496	36, 496	36, 496					
		- /: >												
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	「か?) 	1		DO左曲	DA左击	DC左曲	DC 4T dE	D7左由					
	公民館利用者 修繕件数	対象指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)						
	沙哈 丁奴	佐野各地区公民館利用者	- 数	人		100, 688								
		修繕件数	320	件	34	22	110, 707	110, 707	110, 707					
目的	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	状態にしたいのですか?)											
l H 3	安全で快適な状態で公民館を利用して頂くことで	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度					
	、利用者数を増やす。		—											
		佐野各地区公民館利用 者数前年度比	%	目標 実績	110 122. 9	110 124	110	100	100					
		1		日標	122. 3	124								
				実績										
4	結果(どのような結果に結びつけますか?)													
	学習の場が整備されている。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度					
			中山	/										
		生涯学習施設の利用者	千人	目標	1, 075	1, 010	1, 010	1, 010	1, 010					
		数		実績	458	626								
				目標 実績										
		I		大限										

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R 4 年度(実績)	R5年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度(目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他			676		1, 045		0		0		0
		一般財源 千円		23, 431			27, 910		0		0		0
	事	事業費計(A)	千円		24, 107		28, 955		0		0		0
	業	事業費の 内訳		項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	費					需用費	17, 125						
入	1					委託料	8, 221						
量						役務費	1, 594						
			千円			工事請負費	996						
		内訳				備品購入費	444						
						負担金、補助及び	332						
						使用料及び賃借料	199						
						公課費	43						
	싰	職員従事工数	人工		2. 12		2. 1		0		0		0
	骨費	人件費計(B)	千円		15, 533		15, 303		0	0		0	
	h-5	タルコスト(A)+(B)				44, 258		0		0		0	

事務事業名	佐野各地区公民館維持管理事業	本年度担当課	生涯学習課
争伤争未位		前年度担当課	生涯学習課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	昭和58年に赤見地区、その後順次、旧佐野市内各地(旧町村毎)に地区公民館が建設されたことに伴い開始されたものである。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・ 県などの法令等、社会情勢など)は 事務事業の開始時期と比べてどのように	社会教育活動に対して、民間事業者や商工団体などの参入が増加しており、また、利用者・地域住民の趣味や嗜好が多種多様化して来ている。
変化していますか?	
③この事務事業に対して、当該年度中、	施設の老朽化に伴う設備の故障により、利用者が設備を使用することができなかったことに
関係者(市民、議会、事務事業対象者)	対し、早急に修繕するよう要望があった。
からどのような意見・要望がありますか?	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

_	1 7 100 1 100 1 101 101 111 111 111 111	<u></u>
	前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
	事業のやり方改善(成果向上の見直し)	昨年同様、公民館及び併設する施設への需用費等の節減について務めた。

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	業務の一部を委ねられる・委ねら れる可能性がある	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業があり統合・連携で きる・している	中央公民館維持管理事業	成果向上余地がある程度ある	取組むことができなかった
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地
猛暑のため、需用費等(電気料等	≨)の節減が思うようにできなかっ	た。	成果向上余地がない
⑪ / 丰の成甲指揮の日煙が達成	できた理由 できたかった理由	⑪日堙遠成に向けて	必再したる取組内容

	<i>7</i> _0	成果向上余地がない
⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて	必要となる取組内容
新型コロナウイルス感染症の影響により外出制限や集団活動を避け	利用者が、安心・安全に公民館を	利用出来るように、施設の老朽化
る傾向にあったが、感染症対策を講じながら活動することにより、	や電気料の高騰を踏まえ、的確な	施設の維持管理に努める必要があ
次第に利用者が増加してきたため。	る。	

	(.	1)事務署	事業の評値	西結果	(2)今後の事務事業の方向性	(3) 改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				現状維持(従来通り実施)	
I					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
楞達 成	中			0		
度	小					
		大	中	小		
		成	果向上余	地		

	<u> </u>											
車数	z 車 柴 夕	中	中央公民館運営事業							本年度担当課	生涯学習課	
事務事業名									前年度担当課中央公民館			
	基本目標	票04	豊か	な心	を育み、学び合う	うまちづくり				新規・継続	継続事業	
政策	政策	02	地域	: ع ع	もに学び育てるま	きちづくり				実施計画・一般	一般事業	
体系	施策	01	生活	を豊フ	かにする生涯学習	図の推進			事	市単独・国県補	市単独事業	
	基本事	業 01	学習'	情報	及び場の提供				業	任意・義務	任意的事業	
予算	会計	款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	直営	
科目	一般	10	04	02	中央公民館運営	事業			分	事業分類	施設維持管理事業	
東世紀								市長公約	該当なし			
事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成7年度 ~									総合戦略	該当なし		
根拠	根拠法令・条例等 佐野市公民館利用条例											

1.	事務事業の現状把握【DO】								
((1)事務事業の手段・目的・結果・各指標								
1)手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度実績(令和4年度に行った主な活動内容)							
	佐野市中央公民館の会計年度任用職員に対する人	·会計年度任用職員14	るにより	り、施	没の貸し	出し業務	、維持管	理業務等	の庶務事
	件費及び夜間、週休日、休日に開館するための会	務を実施した。							
	計年度任用労務職員に対する人件費。	·会計年度任用労務職員							午後10
		時まで)並びに週休日及							
		・新型コロナウイルス原	S. 染症护	広大防.	止に配慮	しながら	施設運営	を実施し	<i>t</i> =。
					D2左座	D/左击	DE左由	DC左由	D7左在
		活動指標		単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)
		開館できる日数		日	305	359	360	359	359
		会計年度任用職員等の費	計用	千円	4, 451	4, 530		5, 302	5, 302
		五川 1 及江川 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	2/13	千円	1, 101	1, 000	0,002	0,002	0, 002
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	か?)							
	中央公民館利用者	対象指標		単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	中央公民館登録サークルの延べ利用回数	刈		中心	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
		中央公民館利用者数		人	14, 989	21, 315		23, 447	23, 447
		登録サークル延べ利用回	到数	□	839	1, 136	1, 250	1, 250	1, 250
目	② 在回 / - の主攻主地に し て 出名 ナドの しこれ								
的	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	状態にしたいのですか?	,)						
	中央公民館を夜間、週休日及び休日に利用しやすい状態にする。	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	いれ窓にする。 	登録サークルが夜間・		目標					
		週休日に利用する割合	%	実績	42. 9	29. 4			
		2511-41-417117 0114		目標	12. 0	20. 1			
				実績					
4	結果 (どのような結果に結びつけますか?)								
	学習の場が整備されている。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			中山	/					
		生涯学習施設の利用者	千人	目標	1, 075	1, 010	1, 010	1, 010	1, 010
		数	' ' '	美領	458	626			
				目標 実績					
			l	天限					

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R 4 年度	(実績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R 7 年度(目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		0		0		0		0		0
		一般財源	千円		4, 451		4, 530		0		0		0
	事	事業費計(A)	千円		4, 451		4, 530		0		0		0
				項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	業					幸日子	1, 927						
入	(算)					給料	1, 617						
量						職員手当等	553						
			千円			共済費	398						
		內訳				旅費	36						
	Ĭ	職員従事工数	人工		0.82		0. 78		0		0		0
	費	人件費計(B)	千円		6, 008		5, 684		0		0		0
	h-/	タルコスト (A) + (B)	千円		10, 459		10, 214		0		0		0

事務事業名	中央公民館運営事業	本年度担当課	生涯学習課
尹衍尹未 石		前年度担当課	中央公民館

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	旧中央公民館の老朽化及び機能低下により、平成7年3月に現在の中央兼佐野地区公民館を 竣工し運営を開始したことに伴い、この事業が開始されたものである。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・	趣味、嗜好、生活環境などが多様化するなかで、社会教育団体の利用が広がっている。具体
県などの法令等、社会情勢など)は	的な施設の利用状況としては、公民館登録サークルの利用が定着する一方、利用者の高齢化
事務事業の開始時期と比べてどのように	や固定化などにより新たな利用者が少なくなっている。そのため、公民館の各種講座を基に
変化していますか?	新たなサークルの設立を図るなど利用者の増加に取り組んでいる。
③この事務事業に対して、当該年度中、	行政の利用より、登録サークルを優先的に利用できるよう配慮して頂きたい。
関係者(市民、議会、事務事業対象者)	
からどのような意見・要望がありますか?	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

_	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	<u></u>
	前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
	現状維持(従来通り実施)	現状維持により対象外
- 1		

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	業務の一部を委ねられる・委ねら れる可能性がある	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はあるが、統合・連 携できない	佐野各地区公民館運営事業	成果向上余地がない	取組むことができなかった
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地
前年度評価結果が「成果向上余地	成果向上余地がない		
⑩A表の成果指標の目標が達成	できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて	必要となる取組内容

個人我の成本情報の目標が建成してに建出、してものうに建出	i I
新型コロナウイルス感染症の影響により外出制限や集団活動を避け	公民館利用者が施設
る傾向にあったが、感染症対策を講じながら活動することにより、	び人員の確保により
夜間や土日祝日に公民館を利用する登録サークルの活動も活発にな	
ってきたため、	

⑪目標達成に向けて必要となる取組内容 公民館利用者が施設を利用しやすいよう、公民館職員の人件費およ び人員の確保により、公民館運営を適切に行うようにする。

	(.	1)事務	事業の評値	西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大	大 C			現状維持(従来通り実施)	
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中					
度	小					
		大	中	小		
		成	果向上余	地		

					7.1	ルナホ 、					
市级	事務事業名								本年度担当課	生涯学習課	
事份	│ 争務争未名 │ │								前年度担当課 生涯学習課		
	基本目標	04	豊かれ	な心な	を育み、学び合う	うまちづくり				新規・継続	継続事業
政策	政策	02	地域。	: ع ع	もに学び育てるま	きちづくり				実施計画・一般	一般事業
体系	施策	01	生活	を豊フ	かにする生涯学習	図の推進			事	市単独・国県補	市単独事業
	基本事業	01	学習作	青報	及び場の提供				業	任意・義務	任意的事業
予算	会計	款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	直営
科目	一般	10	04	02	佐野各地区公民	館運営事業			分	事業分類	施設維持管理事業
車台	李中田	画 単年度繰り返し 事業期間 平成17年度 ~							市長公約	該当なし	
事業計画単年度繰り返し事業期間						争未粉间	十八八千茂 19			総合戦略	該当なし
根拠	法令・条件	列等	佐野	市で	民館条例						

- 1. 事務事業の現状把握【DO】

(1)事務事業の手段・目的・結果・各指標									
1	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)									
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	!)		
	佐野各地区公民館7館の運営及び施設管理に伴う	佐野各地区公民館7館の	運営お	よび放	設管理に	伴う報酬	∜等の支払	いを行っ	た。	
	人件費等。	【令和4年度会計年度任	用職員	数】	(令和5年)	3月31日芽	見在)			
		館長:1名(平日9:00~								
		主事:7名(平日8:30~								
		管理員:18名(平日夜間 	引、土日	日祝日	헰務)					
		R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 R74年度 R74								
		活動指標		単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)	
		開館できる日数		日	305	359	360	359	359	
		会計年度任用職員等の費	囲	千円	33, 094	28, 085	30, 038	30, 038	30, 038	
		>								
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	⁻ か?)			D0	D	D= -	D0	D = -	
	佐野各地区公民館利用者	対象指標		単位	R3年度		R5年度	R6年度	R7年度	
			<u> </u>	人	(実績)	(実績)	<u>(目標)</u> 110,757	(目標)	<u>(目標)</u> 110.757	
		在封石地区公民组列用在			01, 200	100, 000	110, 737	110, 737	110, 737	
目如	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	- :状態にしたいのですか?	')							
的	サークル活動等、公民館利用者が公民館を利用し	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	易い状態にする。	登録サークル延べ利用		目標	4, 000	5. 000	5. 000	5. 000	5, 000	
		住数	件	実績	4, 355	5, 763	3, 000	3, 000	3, 000	
		11 34		目標	1, 000	0, 700				
				実績						
4										
	学習の場が整備されている。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
		生涯学習施設の利用者		目標	1. 075	1. 010	1. 010	1. 010	1, 010	
		数	千人	実績	458	626	-,	.,	.,	
				目標						
				実績						

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R 4 年度	(実績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度(目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		71		73		0		0		0
		一般財源	千円		33, 023		28, 012		0		0		0
	事	事業費計(A)	千円		33, 094		28, 085		0		0		0
		重業費の		項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投						報酬	15, 326						
入						給料	6, 358						
量	-		千円			共済費	3, 138						
						職員手当等	2, 958						
		7457				旅費	305						
	싰	職員従事工数	人工		5. 91		5. 76		0		0		0
	費	人件費計(B)	千円	·	43, 303		41, 973		0		0	·	0
	h-5	タルコスト (A) + (B)	千円		76, 397		70, 058		0		0		0

ſ		佐野各地区公民館運営事業	本年度担当課	生涯学習課
ı	尹衍尹未位		前年度担当課	生涯学習課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	佐野各地区公民館7館は、昭和58年に赤見地区公民館開館以来、昭和の合併前の町村ごとに 整備された。当初から、職員、臨時嘱託員、臨時職員による体制で事業が開始された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・	社会教育関連学習講座開設に関して、民間や商工団体による参入が増加している。また、利
県などの法令等、社会情勢など)は	用する市民の趣味・嗜好も多様化し、多岐にわたるメニューが求められている。こうした中
事務事業の開始時期と比べてどのように	で、公平公正、営利を排除した低廉使用料の公営施設である公民館の存在は、超高齢化社会
変化していますか?	を迎えた今日、地域に無くてはならない存在になっている。
③この事務事業に対して、当該年度中、	特になし。
関係者(市民、議会、事務事業対象者)	
からどのような意見・要望がありますか?	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組				
受益者負担の適正化	「受益者負担の適正化」を今後の方向性に定めていたが、令和5年度においても全庁的な改正がなかったため、取り組むことが出来なかった。				

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地						
結びついている	業務の一部を委ねられる・委ねら れる可能性がある	妥当である	削減の余地はない						
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果						
類似事務事業があり統合・連携で きる・している	中央公民館運営事業	成果向上余地がある程度ある	取組むことができなかった						
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地						
「受益者負担の適正化」を今後のったため、取り組むことが出来な	成果向上余地がない								
⑪ / 主の成果に煙の日煙が達成できた理由 できたかった理由 ⑪ 日煙達成に向けて必要とたる取組内容									

⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由 る傾向にあったが、感染症対策を講じながら活動することにより、 よび人員の確保により、公民館運営を適切に行う。 サークル活動も活発になり、次第に登録サークルの利用件数も増加 してきたため。

⑪目標達成に向けて必要となる取組内容 新型コロナウイルス感染症の影響により外出制限や集団活動を避け 公民館利用者が施設を利用しやすいよう、各地区公民館の人件費お

	(.	1)事務署	事業の評値	西結果	(2)今後の事務事業の方向性	(3) 改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				現状維持(従来通り実施)	
I					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
楞達 成	中			0		
度	小					
		大	中	小		
		成	果向上余	地		

	サ切手木、パングンーン ー										
車数	□ _{東 政 東 类 夕} □ 公民館運営審議会運営事業									本年度担当課	生涯学習課
争狄	事務事業名								前年度担当課	生涯学習課	
	基本目標	04	豊かれ	な心な	を育み、学び合う	うまちづくり				新規・継続	継続事業
政策	政策	02	地域。	: ع ع	もに学び育てるま	まちづくり				実施計画・一般	一般事業
体系	施策	01	生活	を豊フ	かにする生涯学習	習の推進			事	市単独・国県補	市単独事業
	基本事業	01	学習作	青報	及び場の提供				業	任意・義務	任意的事業
予算	会計	款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	直営
科目	一般	10	04	02	公民館運営審議	会運営事業			分	事業分類	審議会等運営事業
車:	ᄴᆉᇑ		単年度繰り返し 事業期間 昭和34年度 ~							市長公約	該当なし
事業計画 単年度繰り返し 事業期間 昭							昭和34年度 ~		総合戦略	該当	
根拠	法令・条	例等	佐里	市で	、民館条例、佐野	市公民館運営規					_

1. 事務事業の現状把握【DO】

	1. 争物争未仍坑价允许【100】									
_	(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標									
(1))手段(事務事業の主な活動内容を記入します。) 								
		事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	う 令和4年度実績(令和4年度に行った主な活動内容)							
		公民館条例に基づく、市公民館24館共有の公民館	館 佐野市公民館運営審議会開催							
		運営審議会の運営事業に伴う経費。	日時: 令和4年5月24日(火) 午前10時~							
			場所:佐野市役所(1階)市民活動スペース							
			出席者:委員14名 事務	8局:8	3名					
			活動指標		単位	R3年度		R5年度	R6年度	R7年度
			12-012 111	,		(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
			公民館運営審議会開催数	Ž	П	1	1	1	1	1
H	+	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	-tv 0)							
	H	<u> </u>	ル・: <i>)</i>			D2左座	D4左座	DE左曲	DC左座	D7左车
		公民館運営審議会委員	対象指標	単位		R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)
					人	15	15	15	15	15
			女良奴			10	10	10	10	10
	} ├	意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)								
B	아	市民が公民館をより一層利用しやすくなるよう意	+ n +	ъ 11	\Box	D0 /= ri=	D4 /= ri=	DC #= #=	DC #= #=	D7 #= r#=
		見や提言をいただくため、多くの運営審議会委員	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		に出席いただく。	運営審議会委員出席数	人	目標	15	15	15	15	15
					実績	11	14			
					目標					
					実績					
④結果(どのような結果に結びつけますか?)										
		学習の場が整備されている。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			生涯学習施設の利用者	千人	目標	1, 075	1, 010	1, 010	1, 010	1, 010
			数	十八	美領	458	626			
					目標					
					実績					

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R 4 年度	(実績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R 7 年度((目標)	
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0	
		県支出金	千円		0		0		0		0		0	
		地方債	千円		0		0		0		0		0	
		その他	千円		0		0		0		0		0	
		一般財源	千円	61			84		0		0		0	
	事	事業費計(A)	千円		61		84		0		0		0	
	業	ž.			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	費					報酬	84							
入	貝													
量														
			千円											
						•••••								
	7	職員従事工数	人工		0.09		0. 15		0		0		0	
	骨費	人件費計(B)	千円		659		1, 093		0		0		0	
	h-5	ルコスト (A) + (B)	千円		720		1, 177		0		0		0	

	事務事業名	公民館運営審議会運営事業	本年度担当課	生涯学習課
ı	争伤争未有		前年度担当課	生涯学習課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	社会教育法による公有公民館が佐野市に設置(昭和34年)されてから開始された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・ 県などの法令等、社会情勢など)は 事務事業の開始時期と比べてどのように 変化していますか?	公民館を利用される地域住民の方の趣味・嗜好の多様化や個性化が進展している。また、利用者の高齢化や女性中心の利用といった傾向が顕著である。
③この事務事業に対して、当該年度中、 関係者(市民、議会、事務事業対象者) からどのような意見・要望がありますか?	特になし。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

_	TO THE CONTRACT OF THE CONTRAC							
	前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組						
	現状維持(従来通り実施)	現状維持により対象外						
- 1								

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地				
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない				
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果				
類似事務事業はない		成果向上余地がない	取組むことができなかった				
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地				
現状維持のため。	成果向上余地がない						

⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて必要となる取組内容
全委員に出席していただくのは難しいが、日程等の調整により出来	運営審議会委員の意見を公民館の運営に多く取り入れられるよう、
る限り多くの委員に出席していただくことができたため。	多くの委員に出席していただけるよう、日程等に配慮する。

	(-	1)事務署	事業の評値	西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				現状維持(従来通り実施)	
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中			0		
度	小					
		大	中	小		
	成果向上余地		地			

	- ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・												
車数	事務事業名 市民大学開設事業									本年度担当課	生涯学習課		
尹仍尹未仁										前年度担当課 生涯学習課			
	基本目標	04	豊かれ	な心な	を育み、学び合う	うまちづくり				新規・継続	継続事業		
政策	政策	02	地域。	: ع ع	もに学び育てるま	まちづくり				実施計画・一般	実計計画事業		
体系	施策	01	生活	を豊フ	かにする生涯学習	図の推進		事	市単独・国県補	市単独事業			
	基本事業	01	学習作	青報	及び場の提供				業	任意・義務	任意的事業		
予算	会計	款	項	田		予算事	業名		区	実施方法	直営		
科目	一般	10	04	02	市民大学開設事	業			分	事業分類	イベント等開催事業		
車:	事業計画 単年度繰り返し 事業期間 昭和47年度 ~								市長公約	該当なし			
事業計画 単年度繰り返し 事業期間 昭和47年度 ~									総合戦略	該当なし			
根拠	根拠法令・条例等 佐野市民大学企画運営スタッフ設置要綱												

1. 事務事業の現状把握【DO】

1		事務事業の現状把握【DO】											
	(1)事務事業の手段・目的・結果・各指標											
	1)=	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
	ſ	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	!)				
		市民の各層に生涯学習の機会を提供するため、市	・令和4年度は、担当係が生涯学習係に統合となったため「生涯学習プログラム										
		民公募の企画運営スタッフによる企画立案を取り	開発実践講座」と併催で事業を実施した。										
		入れた魅力ある講座等を開催する。	・立正大学デリバリーカレッジを活用し、10月8日(土)、11月12日(土)、12月1 ロバトの2回港のよりは、1										
			日(土)の3回講座を実施した。										
			・市民大学を企画するためのスタッフ会議は5回(6月~11月)開催した。										
					*** **	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
			活動指標		単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)			
			講座開催回数			0	3	3	3	3			
			企画運営スタッフ会議		口	3	5	5	5	5			
	+	○ 	(
	-	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	ית (? ית <u>)</u>			DO左曲	DA左曲	DC左曲	DC左曲	D7左由			
		講座参加者	対象指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)				
			参加者数(延べ人数)		人	(天順)	98	100	100	100			
			9 MF 1 3X (X2 7/3X)			•		100	100	- 100			
-	٦L												
自由	лΙ	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	状態にしたいのですか?)									
ľ		学ぶ楽しさを知ってもらい、学習意欲を高め、豊かな教養を見いるはできます。	人 成果指標	単位	/	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
		かな教養を身につけてもらう。	講座1回当たりの平均		目標	50	33	33	33	33			
			参加者数	人	実績	0	33	- 33	- 33	- 33			
			9 MF L 3X		目標	•							
					実績								
(結果(どのような結果に結びつけますか?)											
		学習の場が整備されている。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
			生涯学習施設の利用者	T 1	目標	1, 075	1, 010	1, 010	1, 010	1, 010			
			数	千人	実績	458	626		·	·			
					目標								
					実績								
	(0) 松東業费の堆段・内記											

		財源内訳	単位	R3年度((実績)	R4年度	(実績)	R5年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度	(目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0	0			0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		0	0			0		0		
		一般財源	千円		0		25		0		0		0
	事	事業費計(A)	千円		0		25		0		0		0
	業			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	费	事業費の 内訳				需用費	26						
入	貝												
量													
			千円										
		內訳											
	싰	職員従事工数	人工		0. 13		0. 15		0		0		0
	費	人件費計(B)	千円		953		1, 093		0		0		0
	h-5	タルコスト (A) + (B)	千円		953		1, 118		0		0		0

ſ	車	市民大学開設事業	本年度担当課	生涯学習課
l	争伤争未石		前年度担当課	生涯学習課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	昭和47年から中央公民館において、教養を身につけるための講座を開始する機運の高まりを受けて開始された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・	事業開始当初から比較すると、社会の構造変化に伴い地域住民の趣味や嗜好、芸術・文化等
県などの法令等、社会情勢など)は	に対するニーズが多様化している。
事務事業の開始時期と比べてどのように	
変化していますか?	
③この事務事業に対して、当該年度中、	受講者からは「今後ともこのような講座を開催して欲しい」、「このような場が設けられた
関係者(市民、議会、事務事業対象者)	ら、時間が許す限り参加したい」等の意見・要望があった。
からどのような意見・要望がありますか?	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	「生涯学習プログラム開発実践講座」と併催で実施し、同様の事業を統一するという形で、 事業のやり方改善を行った。

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業があり統合・連携で きる・している	生涯学習プログラム開発実践講座	成果向上余地がある程度ある	向上した
	⑨事務事業の成果向上余地		
「生涯学習プログラム開発実践講 を開催することができたため。	なしで、立正大学の有意義な講座	成果向上余地がない	
⑩A表の成果指標の目標が達成	できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて	必要となる取組内容
新型コロナウイルス感染症に対す	る対策を講じながら、「生涯学習	市民が参加したいと思えるような	講座内容を企画運営スタッフと協
プログラム開発実践講座」との共ったため。	催により講座を開催することがで	議し、企画することにより、多く 講座を開催する。	の方に参加していただけるような

	(.	1)事務	事業の評値	西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				現状維持(従来通り実施)	
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中			0		
度	小					
		大	中	小		
		成	果向上余	地		

					3 71	カザ木へ	<u> </u>		٦,			
車数	公民館親と子の交流活動事業 事務事業名									本年度担当課	生涯学習課	
争伤争未在									前年度担当課	佐野市中央公民館		
	基本目標	04	豊かれ	な心	を育み、学び合う	うまちづくり				新規・継続	継続事業	
政策	政策	02 :	地域。	: ع ع	もに学び育てるま	まちづくり				実施計画・一般	一般事業	
体系	体系 施 策 01 生活を豊かにする生涯学習の推進								事	市単独・国県補	市単独事業	
	基本事業	01	学習	情報	及び場の提供				業	任意・義務	任意的事業	
予算	会計	款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	直営	
科目	一般	10	04	02	公民館親と子の	交流活動事業			分	事業分類	イベント等開催事業	
車:	事業計画 単年度繰り返し 事業期間 昭和51年度 ~								市長公約	該当なし		
事 :	争未計画 甲午及牒り巡し 争耒期间 昭和31年及 ~									総合戦略	該当なし	
根拠	根拠法令・条例等 社会教育法											

		事務事業の現状把握【DO】) 事務事業の手段・目的・結果・各指標											
_		手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
	~ -	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	¥)				
	ı	5歳から8歳までの子供とその親に対し、子の心	・令和元年度から、親と子のふれあい活動を土曜日又は日曜日に、中央公民館										
		身の健全な成長と、親子の心の交流促進を図るう	び田沼中央公民館の2館において開催している。										
		えで、学習グループ活動講座を、土曜日、日曜日	・令和4年度は、予定し										
		の午前に行う。	し花でトリック貯金箱を 楽で元気に!リズムを第										
			未てルメルに:サスムでオ	K C 0	ノ、和	1 (< -1	I JIAIF 9	の古神圧	で天心し	/-·			
			活動指標		単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
			10-010			(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)			
			講座回数		П	8	12	12	12	12			
r	1	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	- か?)										
	ı	参加者(就学前5歳児から小学3年生までの児童	対象指標	単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度				
		とその保護者)				(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)			
			参加者延べ人数		人	332	361	370	370	370			
	카	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	L :状態にしたいのですか?	·)									
F		学ぶ楽しさを知る、自己学習能力の向上、親子の		単位		D2左座	D4左曲	R5年度	R6年度	D7左曲			
		信頼関係の醸成を推進する。	成果指標	単位		R3年度				R7年度			
			講座内容が充実してい	%	目標	93	93	93	93	93			
			たと感じる受講者割合		実績目標	96	95						
					実績								
(4)	結果(どのような結果に結びつけますか?)			70.120								
		学習の場が整備されている。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
				+ 14									
			生涯学習施設の利用者 数	千人	目標実績	1, 075 458	1, 010 626	1, 010	1, 010	1, 010			
			<u> </u>		目標	700	020						
					実績								
	, -	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·											

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R4年度	(実績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度((目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		4		6		0		0		0
		一般財源	千円		1, 896		1, 960		0		0		0
	事	事業費計(A)	千円		1, 900		1, 966		0		0		0
	業			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	費					報酬	1, 315						
入	貝	事業費の 内訳				共済費	270						
量						職員手当等	268						
			千円			報償費	60						
		内訳				需用費	29						
						旅費	23						
	싰	職員従事工数	人工		0. 43		0. 43		0		0		0
	骨費	人件費計(B)	千円		3, 151		3, 133		0		0		0
	トータ	タルコスト(A)+(B)	千円		5, 051		5, 099		0		0		0

事務事業名	公民館親と子の交流活動事業	本年度担当課	生涯学習課
尹衍尹未 石 		前年度担当課	佐野市中央公民館

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	児童の教育において、学校教育と並んで家庭教育の重要性が再認識されてきたため、昭和5 1年より事業が開始され現在に至っている。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・ 県などの法令等、社会情勢など)は 事務事業の開始時期と比べてどのように 変化していますか?	両親が就業している家庭などが増加する中で、家族や家庭の在り方が変化しつつあり、親と子とで触れ合える機会や場所が少なくなってきている。
③この事務事業に対して、当該年度中、 関係者(市民、議会、事務事業対象者) からどのような意見・要望がありますか?	平成24年度の外部評価において、親子の活動は重要であり、公民館活動において回数や機会を増やす、場所も市内各公民館で実施、メディア等で活躍の著名人を講師に、といった提言があった。また、日曜日も受講対象日としていれたらどうかという意見もあった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

_		<u></u>
	前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
	現状維持(従来通り実施)	現状維持により対象外
- 1		

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	業務の一部を委ねられる・委ねら れる可能性がある	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性		⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はない			向上した
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地
利用者アンケートの実施等により	成果向上余地がある程度ある		

個A表の成業相標の目標が達成できた理由、できなかった理由	山日保廷队に向けて必安となる取租内谷
新型コロナウイルス感染症に対する対策を講じながら講座を開催す	参加者に対するアンケート等を実施してニーズを的確に把握するこ
ることができ、また、参加者に対するアンケートを実施したことに	とにより、市民が参加したいと思えるような講座内容を検討・企画
より、参加者に満足いただける講座が開催できたため。	し、多くの方に参加していただけるような講座を開催する。

_	O. HIMMAN CONTROL / KONON PARE THOSE ON T									
	()事務事業の評価結果 (2) 今後の事務事業の方向性				(3) 改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策				
	大				事業のやり方改善(成果向上の見直し)					
E					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。					
	中		0							
月月										
		大成	中 果向上余	小地						

					7 1	ルナ ホヽ	1.77				
車茲	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	中央公民館市民教養講座開催事業							本年度担当課	生涯学習課	
争的	争未有									前年度担当課	中央公民館
	基本目標	04	豊かれ	な心な	を育み、学び合う	うまちづくり				新規·継続	継続事業
政策	政策	02	地域。	: ع ع	もに学び育てるま	きちづくり				実施計画・一般	一般事業
体系	本系 施 策 01 生活を豊かにする生涯学習				かにする生涯学習	学習の推進			事	市単独·国県補	市単独事業
	基本事業	事業 01 学習情報及び場の提供						業	任意・義務	任意的事業	
予算	会計	款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	直営
科目	一般	10	04	02	中央公民館市民	教養講座開催事	事業		分	事業分類	イベント等開催事業
車:	** 計画	単年度繰り返し 事業期間 昭和34年度 ~							市長公約	該当なし	
尹:	事業計画 単年度繰り返し 事業期間 昭和34年度 ~							総合戦略	該当なし		
根拠	退拠法令・条例等 社会教育法、佐野市公民館条例										

1. 事務事業の現状把握【DO】

	事務争耒の現仏把撰【Ⅳ】								
_(1)事務事業の手段・目的・結果・各指標								
1	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	<u>!)</u>	
	地域住民の方に、生涯学習の機会を提供するため	・市民教養講座「ゆうり	りう人生	主応援	塾」おい	て、郷土	・健康・	芸能・人	権・郷土
	、中央公民館市民教養講座を開催する。	史・音楽に関する講座を開催した。							
		・市民教養講座「中央制			おいて、イ	健康・料	理・スマ	ホ体験・	音楽・歴
		史・園芸・折り紙教室を							
		・ゆうゆう人生応援塾』 	E画運営	営スタ	ッフ会議	を開催し	<i>t</i> =。		
		活動指標		単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		/ 百割相保		中山	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
		講座回数(ゆうゆう人生	,	口	5	9	9	9	9
		講座回数(中央趣味講座)	□	5	13	16	16	16
		スタッフ打合せ会議		□	2	2	2	2	2
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	「か?)							
	講座参加者(地域住民)	対象指標		単位	R3年度		R5年度	R6年度	R7年度
		77 全 40 +2 *** / (本 こ 本 こ し	#\		(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
		延参加者数(ゆうゆう人		_ ᄉ	417 84	469 171	470 180	470 180	470 180
		<u>延参加者数(中央趣味講</u>		人	04	171	180	180	180
目	- - ③意図(この事務事業によって、対象をどのような	 	·)						
的	講座に参加し、その内容に満足することで、市民								
	の自己学習能力向上につなげる。	成果指標	単位		R3年度		R5年度	R6年度	R7年度
		講座に参加し満足した	%	目標	98	98	98	98	98
		受講者の割合		実績	98. 4	100			
				目標					
a	 結果(どのような結果に結びつけますか?)			実績					
4	1411 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		I						
	学習の場が整備されている。	上位成果指標	単位		R3年度		R5年度	R6年度	R7年度
		生涯学習施設の利用者	千人	目標	1, 075	1, 010	1, 010	1, 010	1, 010
		数	' ^	美領	458	626			
				目標					
				実績					

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R4年度	(実績)	R5年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度(目標)											
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0											
		県支出金	千円		0		0		0		0		0											
		地方債	千円		0		0		0		0		0											
		その他	千円		0		0		0		0		0											
		一般財源	千円	76			86		0		0		0											
	事	事業費計(A)	千円		76		86		0		0		0											
				項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費											
投	業費	事業費の				報償費	75																	
入	貝					需用費	11																	
量	:																							
			千円																					
		内訳																						
	7	職員従事工数	人工		0. 42		0. 43		0		0		0											
	件	人件費計(B)	千円		3, 077		3, 133		0		0		0											
	h-/	タルコスト (A) + (B)	千円		3, 153		3, 219		0		0		0											

事務事業名	中央公民館市民教養講座開催事業	本年度担当課	生涯学習課
尹衍尹未有		前年度担当課	中央公民館

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	昭和34年より旧佐野市各館において、地域の方々に生涯学習を身近なものにしていただく ため教養講座を開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・ 県などの法令等、社会情勢など)は 事務事業の開始時期と比べてどのように	少子高齢化社会の進展、まちなか空洞化などの地域における課題が多様化するとともに、趣味・文化などの個性化、多様化が進展している。
変化していますか?	
③この事務事業に対して、当該年度中、	講座参加者からは、明日への活力が湧いた、自己の生き方や老後を考えるヒントになった等
関係者(市民、議会、事務事業対象者)	の肯定的な意見が多い。
からどのような意見・要望がありますか?	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持(従来通り実施)	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

E. PINTROPKINE CONCORT			
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はあるが、統合・連 携できない	佐野各地区公民館市民教養講座開 催事業	成果向上余地がある程度ある	向上した
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地
利用者へのアンケートを実施し、	成果向上余地がある程度ある		

⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由 新型コロナウイルス感染症に対する対策を講じながら講座を開催す 参加者に対するアンケート等を実施してニーズを的確に把握するこ ることができ、企画運営スタッフ等の協力により、より良い内容の とにより、市民が参加したいと思えるような講座内容を検討・企画 講座を実施することができたため。 し、多くの方に参加していただけるような講座を開催する。

また、参加者に対するアンケートを実施したことにより、参加者に 満足いただける講座が開催できたため。

⑪目標達成に向けて必要となる取組内容

_	, <u> </u>		ノ小心 7口 С -	プログリンフリー	IT TWO CLOUD	
	(1)事務署	事業の評価	価結果	(2)今後の事務事業の方向性	(3) 改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				事業のやり方改善(成果向上の見直し)	
E	▮				*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標	達 中		0			
J.	小					
		大	中	小		
		成	果向上余	地		

					77-1	DTAL	7777					
古丞	<u>事務事業名</u>										生涯学習課	
事份	事 伤争未有										生涯学習課	
	基本目標	04 5	豊かれ	な心	を育み、学び合う		新規・継続	継続事業				
政策	政策	02 J	地域。	: ع ع	もに学び育てるま	きちづくり				実施計画・一般	一般事業	
体系	施策	01 4	生活る	を豊々	かにする生涯学習	図の推進			事	市単独・国県補具	市単独事業	
	基本事業	01 =	学習作	青報	及び場の提供				業	任意・義務	任意的事業	
予算	会計	款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	直営	
科目	一般	10	04	02	佐野各地区公民	館市民教養講座	座開催事業		分	事業分類	イベント等開催事業	
車.	事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成17年度 ~									市長公約	該当なし	
争未計 半十反禄り巡し 争未朔 十八十尺 ~										総合戦略	該当	
根拠	根拠法令・条例等 社会教育法											

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段:目的: 結果: 各指標 (1)手段(事務事業の主な活動内容を記入します。) 事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方) 地域住民が直面する様々な課題を解決するための学習機会と併せ、余暇を利用して楽しみながら学習機会と提供することにより、毎日の生活に割いを与え、生きがいを感じられるような知識・趣味的内容の学習機会を提供することを目的とする市民教養講座の開催。	1	1. 事務事業の現状把握【DO】										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標										
地域住民が直面する様々な課題を解決するための 学習機会と併せ、余暇を利用して楽しみながら学習することにより、毎日の生活に潤いを与え、生きがいを感じられるような知識・趣味的内容の学習機会を提供することを目的とする市民教養講座の開催。		①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
学習機会と併せ、余暇を利用して楽しみながら学習することにより、毎日の生活に潤いを与え、生きがいを感じられるような知識・趣味的内容の学習機会を提供することを目的とする市民教養講座の開催に伴う経費。 活動指標		事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方										
活動指標 単位 (実績) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標		学習機会と併せ、余暇を利用して楽しみながら学習することにより、毎日の生活に潤いを与え、生きがいを感じられるような知識・趣味的内容の学習機会を提供することを目的とする市民教養講座	養講座の開催。									
講座開催回数 回 67 118 110 11			活動指標		単位							
講座参加者 単位 R3年度 R4年度 R5年度 (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標)			講座開催回数									
講座参加者 単位												
講座参加者 単位												
日本語画			<u>すか?)</u>					D= -	D0	5		
日 ③意図 (この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?) 講座に参加し、その内容に満足することで、市民 の自己学習能力向上につなげる。		講座参加者	対象指標		単位							
図念図 (この事務事業によって、対象をとのような状態にしたいのですが?) 講座に参加し、その内容に満足することで、市民 の自己学習能力向上につなげる。			参加者数(延べ人数)		人	1, 127	1, 948	1, 900	1, 900	1, 900		
図念図 (この事務事業によって、対象をとのような状態にしたいのですが?) 講座に参加し、その内容に満足することで、市民 の自己学習能力向上につなげる。												
講座に参加し、その内容に満足することで、市民 の自己学習能力向上につなげる。))								
の自己学習能力向上につなげる。	台	KIL-										
受講者の割合 96 実績 96.6 96.1 目標 実績 目標 実績 ②結果(どのような結果に結びつけますか?) 学習の場が整備されている。 上位成果指標 生涯学習施設の利用者 数 単位 日標 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 生涯学習施設の利用者 数 千人 目標 1,075 1,010 1,010 1,010 1,010			以朱捾悰 ————————————————————————————————————	単位								
単位 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 生涯学習施設の利用者数 千人 目標 1,075 1,010 1,				%				93	93	93		
実績 実績 ④結果(どのような結果に結びつけますか?) 学習の場が整備されている。 上位成果指標 単位 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 生涯学習施設の利用者数 千人 目標 1,075 1,010 1,010 1,010 1,010 目標 458 626 626 626			受講者の割合		<u> </u>	96. 6	96. 1					
少習の場が整備されている。 上位成果指標 単位 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 生涯学習施設の利用者数 千人 目標 1,075 1,010 1,010 1,010 1,010 財債 1,075 1,010 1,010 1,010 1,010												
学習の場が整備されている。 上位成果指標 単位 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 生涯学習施設の利用者数 千人 目標 1,075 1,010 1,010 1,010 1,010 1,010 目標 日標 1,075 1,010 1,010 1,010 1,010	(
数			上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
数				エリ		1, 075	1, 010	1, 010	1, 010	1, 010		
			数	十人	美領	458	626					
					目標							
					実績							

		やナススマル	- 17	10/1									
		財源内訳	単位	R3年度(実	[績)	R4年度(実績)	R5年度(目標)	R6年度	(目標)	R7年度	(目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0	0	
		地方債	千円		0		0		0	0			
		その他	千円		0	0			0		0		0
		一般財源	千円		257		350		0		0		0
	事	事業費計(A)	千円		257		350		0		0		0
		事業費の 内訳		項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	業					報償費	325						
ᄉ	早					需用費	25						
量	:		千円										
		אמניו											
	ᇫ	職員従事工数	人工		1. 65		2. 09		0		0		0
	費	人件費計(B)	千円		12, 090		15, 230		0		0		0
	トータルコスト (A) + (B)		千円		12, 347		15, 580		0		0		0

事務事業名	佐野各地区公民館市民教養講座開催事業	本年度担当課	生涯学習課
尹衍尹未有		前年度担当課	生涯学習課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	昭和34年より、旧佐野市各館において教養講座を開催し、地域の方々に生涯学習を身近なものにしていただくため開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・ 県などの法令等、社会情勢など)は 事務事業の開始時期と比べてどのように 変化していますか?	少子高齢化等による架台の多様化や技術の進歩により、趣味・文化などについても多様化が 進んでいる。
③この事務事業に対して、当該年度中、 関係者(市民、議会、事務事業対象者) からどのような意見・要望がありますか?	講座の参加者のアンケートから、講座内容等が「良かった」との好意的な意見が多かった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
	各館の講座担当者会議において、今年度実施した講座についての意見・情報交換会を行い、 質の高い講座については、来年度の講座につなげる等、成果向上を目指す。

2. 事務事業の事後評価【Check】

E. PINTROPKINE CONCORT										
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地							
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない							
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果							
類似事務事業があり統合・連携で きる・している	中央公民館市民教養講座開催事業 等	成果向上余地がある程度ある	向上した							
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地							
講座後にアンケートを実施し、参加者のニーズを把握することに努めたため。 また、講座担当者の意見・情報交換会を行うことにより、講座の質を高めることができたため。 成果向上余地がある程度ある										
■										

⑪目標達成に向けて必要となる取組内容

ることができ、参加者に対するアンケートを実施したことにより、 参加者に満足いただける講座が開催できたため。

また、講座担当者同士の意見・情報交換会により、より良い内容の 講座を実施することができたため。

新型コロナウイルス感染症に対する対策を講じながら講座を開催す 参加者に対するアンケート等を実施してニーズを的確に把握するこ とにより、市民が参加したいと思えるような講座内容を検討・企画 し、多くの方に参加していただけるような講座を開催する。

	(-	1)事務事	事業の評値	西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				現状維持(従来通り実施)	
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中			0		
度	小					
		大	中	小		
		成	果向上余	地		

					 1	ルナヘヽ	1.77				
車数	事業名	栃	木県2	と民飢	館連絡協議会参画事業					本年度担当課	生涯学習課
争仍	争未有									前年度担当課	生涯学習課
基本目標04 豊かな心を育み、学び合うまちづくり										新規·継続	継続事業
政策	政策	02	地域。	노 논 :	もに学び育てるま	まちづくり				実施計画・一般	一般事業
体系	施策	01	生活	を豊フ	かにする生涯学習	習の推進			事	市単独·国県補	助 市単独事業
	基本事業	01	学習作	青報	及び場の提供				業	任意・義務	任意的事業
予算	会計	款	項	田		予算事	業名		区	実施方法	直営
科目	一般	10	04	02	栃木県公民館連	絡協議会参画事	業		分	事業分類	参画事業
事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成17年度 ~										市長公約	該当なし
事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成17年度 ~										総合戦略	該当なし
根拠法令・条例等											

- 1. 事務事業の現状把握【DO】

(1)事務事業の手段・目的・結果・各指標											
1	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	<u>})</u>				
	栃木県公民館連絡協議会の負担金。	協議会の負担金の支出、総会、役員会、館長部会、主事部会への参加。										
					R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
		活動指標		単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)			
		総会開催回数		回	1	1	1	1	1			
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	<u> </u>										
	栃木県公民館連絡協議会に加盟する市・町	対象指標	単位	R3年度		R5年度	R6年度	R7年度				
		加盟自治体数(県を除く	団体	<u>(実績)</u> 25	(実績) 25	<u>(目標)</u> 25	<u>(目標)</u> 25	<u>(目標)</u> 25				
		加血日石仲奴(朱で际)	, ,	四件	23	23	23		23			
目	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	状態にしたいのですか?	')									
的	各部会、部会内研修会に参加することによって、	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
	県内の他市町公民館運営方法、講座内容の情報を		中世		いい十段	144段	NO平反	10年及				
	得ることにより、本市公民館活動に活かす。	主事部会(調査・研究		目標	1	1	1	1	1			
)による情報提供		実績目標	I	I						
				実績								
<u>(4</u>	に 結果(どのような結果に結びつけますか?)			人似								
	学習施設が整備されている。		224 1.1		D0 == ==	D4 ====	DE #= #	D0 == ==	D7 4= rt-			
		上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
		生涯学習施設の利用者	千人	目標	1, 075	1, 010	1, 010	1, 010	1, 010			
		数	17	美領	458	626						
				目標								
				実績								

		財源内訳	単位	R3年度((実績)	R 4 年度	(実績)	R5年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度(目標)	
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0	
		県支出金	千円		0		0		0		0	0		
		地方債	千円		0		0		0		0		0	
		その他	千円		0	•••••	0		0		0		0	
		一般財源	千円		129	129			0		0		0	
	事	事業費計(A)	千円		129		129		0		0		0	
	業	事業費の 内訳		項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	
投	費					負担金、補助	及び 129							
入	貝													
量														
			千円											
		7664												
	슸	職員従事工数	人工		0. 05		0. 07		0		0		0	
	費	人件費計(B)	千円		366		510		0		0		0	
	トーち	タルコスト (A) + (B)	千円		495		639		0		0		0	

	栃木県公民館連絡協議会参画事業	本年度担当課	生涯学習課
争份争未有		前年度担当課	生涯学習課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	昭和34年、旧佐野市佐野市中央公民館が開館してから加盟した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・ 県などの法令等、社会情勢など)は 事務事業の開始時期と比べてどのように 変化していますか?	民間、NPO法人、経済団体による社会教育・生涯学習関連講座が多く見受けられるようになり、地域住民の間でも趣味・嗜好の多様化・個性化が進展してきている。
③この事務事業に対して、当該年度中、 関係者(市民、議会、事務事業対象者) からどのような意見・要望がありますか?	特になし。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

_		<u></u>
	前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
	現状維持(従来通り実施)	現状維持により対象外
- 1		

2. 事務事業の事後評価【Check】

2. 于初于未07于区时间【0110011】			
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はない		成果向上余地がある程度ある	取組むことができなかった
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地
現状維持のため。			成果向上余地がない

⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて必要となる取組内容
毎年、主事部会において調査・研究を実施しており、佐野市におい	公民館連絡協議会の主事部会において、各地区公民館の取組等を情
ても協力しているため。	報提供し、他市町とも情報を共有する。

	(1)事務事業の評価結果			西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				現状維持(従来通り実施)	
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中			0		
度	小					
		大	中	小		
		成	果向上余	地		

					77-7	カチホヽ	1777				
市弘	本来力	田沼中央公民館蓄電池・整流器設備改修事業							本年度担当課	生涯学習課	
事物	事務事業名							前年度担当課	田沼中央公民館		
	基本目標	04 5	豊かフ	な心	を育み、学び合う	うまちづくり				新規·継続	新規事業
政策	政策	02 J	地域。	: ع ع	もに学び育てるま	まちづくり				実施計画・一般	一般事業
体系	体系 施 策 01 生活を豊かにする生涯学習の					習の推進	の推進				市単独事業
	基本事業	01 =	学習作	青報	及び場の提供				業	任意・義務	任意的事業
予算	会計	款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	直営
科目	一般	10	04	02	田沼中央公民館	蓄電池・整流器	景設備改修事業		分	事業分類	施設維持管理事業
車:	東紫江西						市長公約	該当なし			
事:	事業計画 単年度のみ 事業期間 令和4年度 ~ 令和4年度							総合戦略	該当なし		
根拠	根拠法令・条例等 社会教育法										

1. 事務事業の現状把握【DO】

- 1	. 事務事業の現状把握【№】								
_((1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標								
(①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方) 令和4年度実績(令和4年度に行った主な活動内容)								
	田沼中央公民館の電気設備の操作・制御・照明等	田沼中央公民館蓄電池及	ひ整装		備改修工	事			
	の非常時用蓄電池及び整流器設備が、経年劣化に	契約日:令和4年6月9日							
	より不具合を生じているため改修工事を実施した	工期:令和4年6月30日~		14年12月	26日				
	0	竣工日:令和4年12月26							
		請負業者:大東電機(株							
		請負金額:10,538,000F	7		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		活動指標		単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
		改修工事に要した事業費	*	千円		10. 538	— (<u>11)</u>	— (<u>п</u>),,	— — —
			_			,			
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	<u> </u>							
	田沼中央公民館利用者数	対象指標	単位	R3年度		R5年度	R6年度	R7年度	
					(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
		利用者延べ人数		人		19, 463	21, 410	21, 410	21, 410
E		<u> </u> な状能にしたいのですか?	<u> </u>						
的	り								
	用できる施設となる。	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	施設の安全性と利便性の向上が図られる。	不備のない蓄電池及び	0.4	目標	_	100	100	100	100
		整流器設備の割合	%	実績	-	100			
				目標					
				実績					
(④結果 (どのような結果に結びつけますか?)			,					
	学習の場が整備されている。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		生涯学習施設の利用者		目標	1, 075	1, 010	1, 010	1, 010	1. 010
		数	千人	実績	458	626	1, 5.0	1,010	1, 0.0
				目標					
				実績					
	/o) with the								

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R4年度	(実績)	R5年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度((目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円	0			0		0		0		0
		地方債	千円	0			0		0		0	0	
		その他	千円		0		0		0		0		0
		一般財源	千円		0		10, 538		0		0		0
	事	事業費計(A)	千円		0		10, 538		0		0		0
	業			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	[]典					工事請負費	10, 538						
入													
量													
			千円										
	슸	職員従事工数	人工		0		1		0		0		0
	費	人件費計(B)	千円		0		7, 287		0		0		0
	トータ	ルコスト (A) + (B)	千円		0		17, 825		0		0		0

事務事業名	田沼中央公民館蓄電池	整流器設備改修事業	本年度担当課	生涯学習課
尹衍尹未 石			前年度担当課	田沼中央公民館

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	令和3年5月、自家用電気工作物の定期点検の際、蓄電池及び整流器設備に異常が検知された。整流器設備の経年劣化による作動不良と蓄電池の交換時期も重なり、早急の改修工事となった。
	近年、台風や豪雨、東日本大震災の災害の経験から、市が管理する施設の安全性が重要視されている。田沼中央公民館も災害避難所になっているため、未然に事故を防ぐためにも施設
	10 といる。 田冶中大公氏師も灰香避無別になっているため、木然に事成を切てためにも旭設 設備の整備は必要不可欠になっている。
変化していますか?	
③この事務事業に対して、当該年度中、	特になし。
関係者(市民、議会、事務事業対象者)	
からどのような意見・要望がありますか?	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

(17 的十人の計画相外に対する数十 次日の水框					
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組				
	新規事務事業により対象外				

2. 事務事業の事後評価【Check】

2. 予防予末の予及計画【OIICON】			
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はない			向上した
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地
	成果向上余地がない		

	(-	1)事務署	事業の評値	西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				事業終了	
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中		0			
度	小					
		大	中	小		
		成	果向上余	地		

車数	§事業名	田沼	中央	1公月	館維持管理事業				本年度担当課	生涯学習課				
争的	1 争未有								前年度担当課	田沼中央公民館				
	基本目標	04 5	04 豊かな心を育み、学び合うまちづくり						新規·継続	継続事業				
政策	政策	02 J	也域。	노 논 =	もに学び育てるま	きちづくり	らづくり			一般事業				
体系	施策	01 4	生活る	を豊た	かにする生涯学習	図の推進		事	市単独・国県補	市単独事業				
	基本事業	01 =	学習作	青報	及び場の提供			業	任意・義務	任意的事業				
予算	会計	款	項	目		予算事	業名	区	実施方法	直営				
科目	一般	10	04	02	田沼中央公民館	維持管理事業		分	事業分類	施設維持管理事業				
事業計画単年度繰り返し					编几点	事業期間	事業期間 07.50 <i>C</i> 1左左			該当なし				
尹:	未可凹		#	十戊	深り返し	事業期間 昭和61年度 ~			総合戦略	該当なし				
根拠	法令・条例	列等	佐野	市公	民館条例 佐野	市公民館利用组	条例 佐野市公民館利用条例旅	も行 かんしょう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう しゅうしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう しゅうしゅう しゅうしゃ しゃ し	規則					

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1)事務事業の手段・目的・結果・各指標											
1	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	₹)				
	田沼中央公民館の維持管理を図るための消耗品、	・田沼中央公民館の全体	★的な領	管理運営及び地域住民との交流								
	光熱水費、修繕料、業務委託料等の経費	・田沼中央公民館の修繕	善、環境	竟整備	及び管理	保守等	の業務委	託契約等	の事務			
		・サークル活動の事務局	3									
		・公民館利用の際の準備	帯や片作	寸け等の	の補佐							
					D0 	D4 == ==		D0 == ==	D7 /- /-			
		活動指標		単位	R3年度		R5年度	R6年度	R7年度			
		 施設の維持管理事業費		千円	(実績) 20,953	(実績)	(目標) 29,991	<u>(目標)</u> 29,991	<u>(目標)</u> 29,991			
		心故の権行旨理事未負		ТП.	20, 900	23, 320	29, 991	23, 331	29, 991			
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	か?)	<u> </u>									
	田沼中央公民館利用者		# <i> </i> _	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度				
	田沼中央公民館の修繕件数	対象指標		単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)			
		公民館利用者数		人	14, 076	19, 463	21, 410	21, 410	21, 410			
		修繕件数		件数	8	9	0	0	0			
目												
的	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	*状態にしたいのですか?	')									
	安全で快適な状態で公民館を利用して頂くことで 、利用者数を増やす。	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
	、利用有数を増℃す。 	田沼中央公民館利用者		目標	110	110	110	100	100			
		数前年度比	%	実績	137. 1	138. 3	110	100	100			
				目標	107.1	100.0						
				実績								
4	結果(どのような結果に結びつけますか?)											
	学習の場が整備されている。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
		生涯学習施設の利用者	目標	1, 075	1, 010	1, 010	1, 010	1, 010				
		数	千人	美領	458	626						
				目標								
				実績								

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R4年度(実績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R 7 年度(目標)	
		国庫支出金	千円		0		0	0			0		0	
		県支出金	千円		0		0		0		0		0	
		地方債	千円		0		0		0		0		0	
		その他	千円		2, 896		3, 482		0		0		0	
		一般財源			18, 057		19, 840		0		0		0	
	事	事業費計(A)	千円		20, 953		23, 322		0		0		0	
	業	重業費の		項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	
招	費						需用費	11, 592						
J	ا					委託料	11, 298							
튤						使用料及び賃借料	의 250							
			千円			役務費	183							
		內訳												
	řΥ	職員従事工数	人工		0		3		0		0		0	
	費	人件費計(B)	千円		0	21, 861		0		0		0		
	h-/	タルコスト (A) + (B)	千円		20, 953		45, 183		0		0		0	

	事務事業名	田沼中央公民館維持管理事業	本年度担当課	生涯学習課
ı	争伤争未有		前年度担当課	田沼中央公民館

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	昭和61年に田沼町文化福祉センターとして開館し事業を開始した。開館当時は老人福祉セン ターと教育委員会事務室が入っていた。合併後、教育委員会が移動し、保健センターと社会 福祉協議会田沼支所が入り、施設全体の維持管理を田沼中央公民館が行っている。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・ 県などの法令等、社会情勢など)は	平成27年に大規模改修工事を行ったが、建築後30年以上を経過している施設なので老朽化が 進んでいる。次々と修繕を必要とする箇所が発生しており、定期的な改修が必要となってく
事務事業の開始時期と比べてどのように	正のでいる。 次々と 修譜を必安と する 面別が光土してあり、 足別的な 政修が必安となって、 る。
変化していますか? ③この事務事業に対して、当該年度中、	 利用者から設備の老朽化を指摘されることがある。
関係者(市民、議会、事務事業対象者) からどのような意見・要望がありますか?	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

1 7 100 1 100 1 101 101 111 111 111 111	
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持(従来通り実施)	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

きるかぎり迅速に行っている。

2. 予切予末の予及計画【の1000/】							
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地				
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない				
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果				
類似事務事業はない		成果向上余地がない					
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地				
	成果向上余地がない						

	(.	1)事務	事業の評値	西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3) 改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				現状維持(従来通り実施)	
E	\rightarrow				*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標 達 成	中		0			
度	小					
		大	中	小		
		成	果向上余	抽		

車数	事業名	田沼	3各地	包区な	民館維持管理事	業			本年度担当課	生涯学習課		
事 %	争未有								前年度担当課	田沼中央公民館		
	基本目標	04 !	豊かれ	な心な	を育み、学び合う	うまちづくり			新規・継続	継続事業		
政策	政策	02	地域。	노 논 =	もに学び育てるま				実施計画・一般	一般事業		
体系	施策	01	生活る	を豊た	かにする生涯学習				市単独・国県補	市単独事業		
	基本事業	01 :	学習作	青報	及び場の提供			業	任意・義務	任意的事業		
予算	会計	款	項	皿		予算事	業名	区	実施方法	直営		
科目	一般	10	04	02	田沼各地区公民	館維持管理事業	Ė	分	事業分類	施設維持管理事業		
事業計画単年度繰り返し					: 444 U 1/15 I	事業期間	 平成8年度 ~		市長公約	該当なし		
一 尹 :	未前凹		#	十戊	深り返し	争未朔间 十成0平及 ~			総合戦略	該当なし		
根拠	法令・条例	列等	佐野	市公	民館条例 佐野	市公民館利用第	R例 佐野市公民館利用条例旅	近行	規則			

1. 事務事業の現状把握【DO】

		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・												
)事務事業の手段・目的・結果・各指標												
(手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)												
		事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	医実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	!)					
		田沼地区公民館、田沼南部地区公民館の維持管理	・田沼地区公民館、田沼	四南部均	部地区公民館の施設の維持管理。									
		を図るための消耗品、光熱水費、修繕料、業務委	・田沼地区公民館、田沼	四南部均	也区公	民館の修	繕、環境	整備、業	務委託契	約等事務				
		託料等の経費	・週1回施設の巡回をし				認をし、	建物の修	経神 はいい りょう りょう かいしゅう いんしょう いんしょう いんしょう いんしょう いんしょう いんしょう はんしょ しんしょう はんしょう しんしょう はんしょう はんしょ はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょ はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ	等職員				
			が対応可能なものについ	いては	迅速に	行った。								
						D0 /	D4 / /	DC 4- c+	D0 	D7 /				
			活動指標		単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度				
			佐乳の幼は英田市業典		7 M	(実績)	(実績)	(目標) 3.978	<u>(目標)</u> 3,978	(目標)				
			施設の維持管理事業費		千円	2, 469	2, 790	3, 978	3, 978	3, 978				
	+	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	. かる)											
	- 1	田沼地区・田沼南部地区公民館の利用者数				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度				
		田沼地区・田沼南部地区公民館の将用省数田沼地区・田沼南部地区公民館の修繕件数	対象指標	単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)					
			施設の利用者数	人	7. 072	8, 049	8. 854	8. 854	8, 854					
			修繕件数	件数	3	5	0	0	0					
١,	_													
	割的	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	:状態にしたいのですか?	')										
	וניו	安全で快適な状態で公民館を利用して頂くことで		単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度				
		、利用者を増やす。	八木 旧 宗	丰山		113千茂	八十八文	八八十尺	10千皮					
			田沼各地区公民館利用	%	目標	110	110	110	100	100				
			者数前年度比	/0	実績	121	113. 8							
					目標									
		 			実績									
(_	結果(どのような結果に結びつけますか?) ************************************												
		学習の場が整備されている。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度				
			生涯学習施設の利用者		目標	1, 075	1, 010	1, 010	1, 010	1. 010				
			上近子百旭設の利用名 数	千人	実績	458	626	1,010	1, 010	1,010				
			双		目標	400	020							
					実績									
					人们									

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R 4 年度(実績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R 7 年度((目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		70		162		0		0		0
		一般財源	千円		2, 399		2, 623		0		0		0
	<u>+</u>	事業費計(A)	千円		2, 469		2, 785		0		0		0
	事			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	業費	事業費の				需用費	1, 502						
入	「頁					役務費	721						
量						委託料	522						
			千円			使用料及び賃借	料 38						
		内訳											
	7	職員従事工数	人工		1		2		0		0		0
	件費	人件費計(B)	千円		7, 327		14, 574		0		0		0
	h-5	タルコスト (A) + (B)	千円		9, 796		17, 359		0		0		0

事務事業名	田沼各地区公民館維持管理事業	本年度担当課	生涯学習課
尹衍尹未 石 		前年度担当課	田沼中央公民館

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	平成8年に田沼地区公民館、昭和62年に田沼南部地区公民館が建設され、その年よりこの事業が開始となった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・	社会教育活動に対して住民の趣味等も多様化している。
県などの法令等、社会情勢など)は	利用者の高齢化も進んでいる。
事務事業の開始時期と比べてどのように	
変化していますか?	
③この事務事業に対して、当該年度中、	特になし。
関係者(市民、議会、事務事業対象者)	
からどのような意見・要望がありますか?	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組						
現状維持(従来通り実施)	現状維持により対象外						

2. 事務事業の事後評価【Check】

2. 事物事業の事後計画【いばい】						
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地			
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない			
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果			
類似事務事業はない		向上した				
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地			
成果向上余地がない						
O						

		成果向上余地がない
⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由	①目標達成に向けて	必要となる取組内容
職員が常駐していないため隅々まで注意が行き届かない面があるか	職員が常駐していないので、地区	公民館長や利用者と連携を取りな
、可能な限り迅速に対応した。	がら協力しあっていくことが必要	である。

	(.	1)事務	事業の評値	西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				現状維持(従来通り実施)	
I					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
楞達 成	中		0			
度	小					
		大	中	小		
		成	果向上余	地		

車数	z 車 柴 夕	田河	召中央	1公5	民館運営事業				本年度担当課	生涯学習課	
争的	事務事業名									田沼中央公民館	
	基本目標	04	豊かれ	な心な	を育み、学び合う	うまちづくり		新規・継続	継続事業		
政策	政 策	02	地域。	: ع ع	もに学び育てるま	きちづくり			実施計画・一般	一般事業	
体系	施策	01	生活る	を豊フ	かにする生涯学習	図の推進		事	市単独・国県補	市単独事業	
	基本事業	01	学習作	青報	及び場の提供			業	任意・義務	任意的事業	
予算	会計	款	項	田		予算事	業名	区	実施方法	直営	
科目	一般	10	04	02	田沼中央公民館	運営事業		分	事業分類	施設維持管理事業	
車:	東米弘帝 光左连绵八字 東米如明 亚代17左连								市長公約	該当なし	
事業計画単年度繰り返し事業期間							平成17年度 ~ 		総合戦略	該当なし	
根拠	法令・条件	列等	佐野	市で	民館条例 佐野	市公民館利用第	条例 佐野市公民館利用条例加	<u></u> 包行	 規則		

- 1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標								
(1	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度実績(令和4年度に行った主な活動内容)							
	田沼中央公民館の会計年度任用職員に対する人件	・公民館利用に関する受付・許可及び利用者への対応							
	費	・管理する施設の簡易な	ょ修繕ス	及び環境	滰整備				
					R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		活動指標		単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
		開館できる日数		日	305	359	360	359	359
		会計年度任用職員の人件	‡費	千円	4, 988	4, 876	5, 365	5, 365	5, 365
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	⁻ か?)			D0	D1 = +	DF 4	D0	D7 4- 4-
	公民館利用者	対象指標		単位	R3年度	R4年度 (実績)	R5年度	R6年度	R7年度
		利用者数		人	<u>(実績)</u> 14.076	19, 463	<u>(目標)</u> 21,410	<u>(目標)</u> 21,410	<u>(目標)</u> 21, 410
		初用有数			14, 070	10, 400	21, 410	21, 410	21, 410
L									
的		状態にしたいのですか?	')						
P	田沼中央公民館登録サークルの延べ利用件数	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		登録サークル延べ利用	tot alat	目標	360	398	467	467	467
		件数	件数	実績	361	424			
				目標					
L				実績					
(4	結果 (どのような結果に結びつけますか?)								
	学習の場が整備されている。 	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		生涯学習施設の利用者	千人	目標	1, 075	1, 010	1, 010	1, 010	1, 010
		数		実績	458	626			
				目標					
				実績					

		財源内訳	単位	R3年度((実績)	R 4 年度	(実績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度((目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0	•••••	0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		13		17		0		0		0
		一般財源	千円		4, 974		4, 859		0		0		0
	車	事業費計(A)	千円		4, 987		4, 876		0		0		0
	事。			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	業費	事業費の 内訳				報酬	3, 461						
入	頁					共済費	699						
量			千円			職員手当等	584						
						旅費	132						
		内訳											
	싰	人 職員従事工数 人工		1		2		0		0		0	
	件	人件費計(B)	千円		7, 327		14, 574		0		0		0
	トータ	タルコスト (A) + (B)	千円	_	12, 314		19, 450		0		0		0

ſ	事務事業名	田沼中央公民館運営事業	本年度担当課	生涯学習課
ı	争伤争未有		前年度担当課	田沼中央公民館

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	昭和61年に田沼中央公民館が開館し、公民館事業が開始になり職員も配置された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・ 県などの法令等、社会情勢など)は 事務事業の開始時期と比べてどのように 変化していますか?	令和2年度に「臨時職員・臨時嘱託員」が「会計年度任用職員」となった。
③この事務事業に対して、当該年度中、 関係者(市民、議会、事務事業対象者) からどのような意見・要望がありますか?	特になし。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

(1) 前十及の計画相系に対する数十一次	
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持(従来通り実施)	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地					
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない					
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果					
類似事務事業はない		成果向上余地がない	向上した					
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地					
	◎収祉和未が建田							

⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて必要となる取組内容
会計年度任用職員を配置することで、公民館運営がスムーズに運び	会計年度任用職員を配置することで、スムーズな公民館運営と安全
、利用者が安全・安心・快適に利用することができたため。	・安心・快適な利用環境を提供する。

	(-	1)事務署	事業の評値	西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				現状維持(従来通り実施)	
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中		0			
度	小					
		大	中	小		
	成果向上余地			地		

						カチ木ヽ	117777			
車型	マロ サク	田沼各地区公民館運営事業							本年度担当課	生涯学習課
事務事業名							前年度担当課	田沼中央公民館		
	基本目標	04	豊かれ	な心な	を育み、学び合う	うまちづくり			新規・継続	継続事業
政策	対策 政 策 02 地域とともに学び育てるまちづくり						実施計画・一般	一般事業		
体系	体系 施 策 01 生活を豊かにする生涯学習の持					の推進			市単独・国県補具	市単独事業
	基本事業	¥01 学習情報及び場の提供					業	任意・義務	任意的事業	
予算	会計	款	項	田		予算事	業名	区	実施方法	直営
科目	一般	10	04	02	田沼各地区公民	館運営事業		分	事業分類	施設維持管理事業
車	**	计画				声类如即 四和06年中			市長公約	該当なし
尹 :	事業計画 単年度繰り返し 事業期間 昭和26年度 ~							総合戦略	該当なし	
根拠	法令・条件	列等	佐里	市で	民館条例 佐野	市公民館利用组	条例 佐野市公民館利用条例旅	也行	規則	

- 1. 事務事業の現状把握【DO】 (1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

_(1)事務事業の手段・目的・結果・各指標									
(1	①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)									
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度実績(令和4年度に行った主な活動内容)								
	田沼各地区公民館(11館)の館長及び主事に対す	田沼11地区の公民館長・公民館主事の勤務状況を確認し、その勤務に対する								
	る人件費	等の支払い。								
		4								
					D0	D1	25	D0	D7 6 4	
		活動指標		単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
			ė.		(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)	
		公民館長・主事の人件費	Œ	円	1, 699	1, 696	1, 742	1, 742	1, 742	
	②対象 (この事務事業は誰・何を対象としています									
	田沼各地区公民館利用者数		П	*** **	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
		対象指標		単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)	
		田沼各地区公民館利用者数		人	7, 072	8, 049	8, 854	8, 854	8, 854	
E										
的	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	:状態にしたいのですか?)							
-	田沼各地区公民館登録サークルの延べ利用件数	成果指標	単位	/	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	

		登録サークル延べ利用	件	目標	120	140	181	181	181	
				実績 目標	127	164				
				実績						
(2)結果 (どのような結果に結びつけますか?)									
	学習の場が整備されている。									
		上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
		生涯学習施設の利用者	T 1	目標	1, 075	1, 010	1, 010	1, 010	1, 010	
		数	千人	実績	458	626				
				目標						
				実績						

		財源内訳	単位	R3年度((実績)	R 4 年度	(実績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度((目標)						
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0						
		県支出金	千円		0		0		0		0		0						
		地方債	千円		0		0		0		0		0						
		その他	千円		0		0		0		0		0						
		一般財源	千円		1, 699		1, 696		0		0		0						
	車	事業費計(A)	千円		1, 699		1, 696		0		0		0						
	事。			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費						
投	業費	事業費の				報酬	1, 634												
入	頁					旅費	57												
量						共済費	5												
			千円																
		内訳																	
	人	職員従事工数	人工		1		2		0		0		0						
	件 費	人件費計(B)	千円		7, 327		14, 574		0		0		0						
	├ -5	タルコスト (A) + (B)	千円		9, 026		16, 270		0		0		0						

事務事業名	田沼各地区公民館運営事業	本年度担当課	生涯学習課
争伤争未 有		前年度担当課	田沼中央公民館

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	昭和26年に旧田沼町で開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・ 県などの法令等、社会情勢など)は 事務事業の開始時期と比べてどのように 変化していますか?	令和2年度より館長・主事が「臨時嘱託員」から「会計年度任用職員」になった。
③この事務事業に対して、当該年度中、 関係者(市民、議会、事務事業対象者) からどのような意見・要望がありますか?	館長及び主事のなり手がなく、同じ人が何年も就いている地区もあり、どこの地区も毎年選出に苦慮している。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

(1) 前十及の計画相系に対する数十一次	
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持(従来通り実施)	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

2. 于初于宋07于区时间【0110011】								
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地					
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない					
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果					
類似事務事業はない		成果向上余地がない	向上した					
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地					
	◎――――――――――――――――――――――――――――――――――――							

① A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由 ① 目標達成に向けて必要となる取組内容 各地区公民館に館長・主事を配置することで、各地区の公民館活動 各地区の公民館活動を実施するために、各地区公民館に館長・主事が活発に滞りなく実施できた。 を配置する。

_	, <u> </u>									
	(1)事務	事業の評価	価結果	(2)今後の事務事業の方向性	(3) 改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策				
	大	<u> </u>			現状維持(従来通り実施)					
F	⋾ ∟				*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。					
ì	票 中		0							
J.	生 小									
		大	中	小						
		成果向上余地								

					77-1	カチホヽ				
車数	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	田沼	中央	公区	民館市民教養講座				本年度担当課	生涯学習課
す が	争未有								前年度担当課	田沼中央公民館
	基本目標	04 5	豊かれ	な心な	を育み、学び合う		新規・継続	継続事業		
政策	政策	02 J	也域。	: ع ع	もに学び育てるま	まちづくり			実施計画・一般	一般事業
体系	施策	01 4	生活る	を豊々	かにする生涯学習	習の推進		事	市単独・国県補助	市単独事業
	基本事業	01 =	学習作	青報	及び場の提供			業	任意・義務	任意的事業
予算	会計	款	項	田		予算事	業名	区	実施方法	直営
科目	一般	10	04	02	田沼中央公民館	市民教養講座開	開催事業	分	事業分類	イベント等開催事業
車:	業計画		畄	午由	繰り返し	事業期間	 昭和61年度 ~		市長公約	該当なし
事 :	未引四		#	十戌	一味り返し	尹未州间	昭和01年度 ~		総合戦略	該当なし
根拠	法令・条件	列等	佐野	市な	、民館条例 佐野	市公民館利用组	条例 佐野市公民館利用条例旅	也行		

1. 事務事業の現状把握【DO】

	・事物事業の現代に注【100】													
_	1)事務事業の手段・目的・結果・各指標													
(手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)													
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	?)						
	住民が抱える様々な課題を解決するための学習機	「ふるさと創生セミナ		の開催	(6回)									
	会と、余暇を利用して楽しみながら学習できる趣	・「趣味の講座」の開催												
	味的内容の学習機会を提供する。	今年度は、新型コロナウ												
		座を2回中止した。開催			ついては	募集人数	を制限し	、検温や	消毒等感					
		染防止対策を徹底しなか	いら行っ	った。										
	-													
					15	<u>(天祖)</u> 17	18	18	18					
					10	17	10	10	10					
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	か?)												
	講座参加者			単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度					
		対象指標	甲世	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)						
		参加者数(延べ人数)	人	546	836	840	840	840						
				人										
E		1545												
的	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	状態にしたいのですか?)											
	講座に参加し、その内容に満足することで、市民	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度					
		講座に参加し満足した	%	目標	93	93	93	93	93					
		受講者の割合	90	実績	97. 8	98. 3								
				目標										
L				実績										
(4	結果 (どのような結果に結びつけますか?)													
	学習の場が整備されている。	上位成果指標	単位	\vee	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度					
		生涯学習施設の利用者	千人	目標	1, 075	1, 010	1, 010	1, 010	1, 010					
		数	17	美領	458	626								
				目標										
				実績										

		財源内訳	単位	R3年度(実績)	R4年度	(実績)	R5年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度((目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		0		0		0		0		0
		一般財源	千円		71		73		0		0		0
	事	事業費計(A)	千円		71		73 0		0		0		
	業	事業費の 内訳		項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	費					報償費	65						
入	貝					需用費	8						
量													
			千円										
		內訳											
	슸	職員従事工数	人工		1		3		0	0		0	
	費	人件費計(B)	千円	·	7, 327		21, 861	0		0		0	
	トーち	タルコスト (A) + (B)	千円	<u> </u>	7, 398		21, 934		0		0	0	

事務事業名	田沼中央公民館市民教養講座開催事業	本年度担当課	生涯学習課
尹伤尹未 石		前年度担当課	田沼中央公民館

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	昭和26年の公民館活動で開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・ 県などの法令等、社会情勢など)は 事務事業の開始時期と比べてどのように 変化していますか?	・少子化・高齢化・産業構造の変化に伴い、市民の価値観の多様性が進んできている。 ・受講者が高齢化している。
③この事務事業に対して、当該年度中、 関係者(市民、議会、事務事業対象者) からどのような意見・要望がありますか?	・受講者から「とても楽しかった」「勉強になった」等の意見があった。 ・地域住民より「市民が求める講座にするなら講師謝礼を増やしたほうが良い」との意見も あった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

_		<u></u>
	前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
	現状維持(従来通り実施)	現状維持により対象外
- 1		

2. 事務事業の事後評価【Check】

· 争协争来の争複計画 Loncox											
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地								
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない								
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果								
類似事務事業はない		成果向上余地がない	向上した								
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地								
	成果向上余地がない										
⑩A表の成果指標の目標が達成	できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて必要となる取組内容									

⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて必要となる取組内容
受講者が満足するような内容の講座を企画したため。	受講者が満足するような内容の講座を企画する。

	(-	1)事務	事業の評値	西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				現状維持(従来通り実施)	
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中		0			
度						
		大	中	小		
		成	果向上余	地		

						カチホヽ	11/1/1/1				
車数	車業タ	田	沼各地	也区グ	、民館活動事業	事業				本年度担当課	生涯学習課
事務事業名										前年度担当課	田沼中央公民館
	基本目標04 豊かな心を育み、学び合うまちづくり									新規・継続	継続事業
政策	政策	02	地域。	: ع ع	もに学び育てるま	きちづくり	iくり			実施計画・一般	一般事業
体系	施策	01	生活	を豊々	かにする生涯学習	習の推進			事	市単独・国県補	市単独事業
	基本事業	≹ 01	学習(情報	及び場の提供				業	任意・義務	任意的事業
予算	会計	款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	直営
科目	一般	10	04	02	田沼各地区公民	館活動事業			分	事業分類	支援事業
事業計画単年度繰り返し						事業期間	昭和26年度 ~			市長公約	該当なし
一 尹 :	未引四		+	十段	、深り返し			総合戦略	該当なし		
根拠浏	法令・条	例等	社会	₹教育	<u></u> [法						_

- 1. 事務事業の現状把握【DO】

(1)事務事業の手段・目的・結果・各指標											
1	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	₹)				
	田沼各地区公民館(11館)において実施する公民	田沼各地区公民館(11館	官)にな)に公民館活動(講座・館外活動等)に係る消耗品を打								
	館活動等にかかる消耗品の経費	供した。										
					R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
		活動指標		単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)			
		講座等開催回数			13	32	32	32	32			
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	か?)										
	田沼各地区公民館利用者	対象指標	単位	R3年度		R5年度	R6年度	R7年度				
		佐部の利田老粉	· .—	<u>(実績)</u> 7.072	(実績) 8.049	(目標) 8.854	(目標) 8.854	(目標)				
		施設の利用者数	人	1,012	8, 049	8, 834	8, 804	8, 854				
目	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	・ 状態にしたいのですか?	')									
的	田沼各地区公民館が、地域密着の各種講座、講演				DO左曲	DA左曲	DC左曲	DC左曲	D7左曲			
	会等を開催することができ、市民に生涯学習の学	成果指標 	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
	びの機会を提供することができる。	講座等参加者数	人	目標	350	700	700	700	700			
				実績	379	765						
				目標実績								
a	 結果(どのような結果に結びつけますか?)			大限								
-	学習の場が整備されている。											
		上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
		生涯学習施設の利用者	千人	目標	1, 075	1, 010	1, 010	1, 010	1, 010			
		数	十八	美領	458	626						
				目標								
				実績								

		財源内訳	単位	R3年度((実績)	R4年度	(実績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度((目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0	(
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		0		0		0		0		0
		一般財源	千円		16		16		0		0		0
	事	事業費計(A)	千円		16		16		0		0		0
	業	事業費の 内訳		項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	者費					需用費	16						
入	貝												
量													
			千円										
		79.67											
	슸	職員従事工数	人工		1		2		0	0		0	
	費	人件費計(B)	千円		7, 327		14, 574		0	0		0	
	トーち	タルコスト(A)+(B)	千円		7, 343		14, 590		0		0		0

	事務事業名	田沼各地区公民館活動事業	本年度担当課	生涯学習課
ı	争伤争未有		前年度担当課	田沼中央公民館

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	昭和26年より事業を開始し、平成20年度より、田沼各地区公民館活動事業と田沼各地区公民館活動支援事業の2事業に分離した。
	少子化・高齢化・産業構造の変化に伴い、市民の価値観の多様化が進んでいる。
県などの法令等、社会情勢など) は	
事務事業の開始時期と比べてどのように	
変化していますか?	
③この事務事業に対して、当該年度中、	特になし
関係者(市民、議会、事務事業対象者)	
からどのような意見・要望がありますか?	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

_		<u></u>
	前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
	現状維持(従来通り実施)	現状維持により対象外
- 1		

2. 事務事業の事後評価【Check】

2. 事務事業の事後計画【011506】			
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はない		成果向上余地がない	向上した
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地
			成果向上余地がない

① A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由 ① 目標達成に向けて必要となる取組内容 公民館活動に必要な消耗品を提供することで、滞りなく公民館活動 円滑な公民館活動を行うために、公民館活動に必要な消耗品を提供ができたため。 する。

	(1)事務事業の評価結果				(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				現状維持(従来通り実施)	
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中		0			
度	小					
		大	T	小		
	成果向上余地		地			

					7 7	<i> </i>		•		
車数	マ 車 学 夕	田沼	各地	区グ	民館活動支援事	業			本年度担当課	生涯学習課
争的	事務事業名						前年度担当課	田沼中央公民館		
	基本目標	04 5	豊かれ	な心な	を育み、学び合う	うまちづくり			新規・継続	継続事業
政策	政策	02 ±	也域。	노 논 =	もに学び育てるま	まちづくり			実施計画・一般	一般事業
体系	施策	01 4	主活る	を豊か	かにする生涯学習	習の推進		事	市単独・国県補	市単独事業
	基本事業	01 🖹	学習作	青報	及び場の提供			業	任意・義務	任意的事業
予算	会計	款	項	皿		予算事	業名	区	実施方法	直営
科目	一般	10	04	02	田沼各地区公民	館活動支援事業	Ę	分	事業分類	支援事業
事業計画 ※左连帰川下」 東業期間 □75006左连						事業期間	四和26年度 。		市長公約	該当なし
事業計画 単年度繰り返し 事業期間 昭和26年度 ~							総合戦略	該当なし		
根拠	法令・条例	列等	佐野	市公	民館条例 佐野	市公民館利用组	条例 佐野市公民館利用条例旅	色行	規則	

- 1. 事務事業の現状把握【DO】

1手段 (事務事業の主な活動内容を記入します。)		(1)事務事業の手段・目的・結果・各指標								
田沼各地区公民館 (11館) のイベントや各種講座 等、様々な公民館活動に対しての交付金 (市の活動) 田沼各地区公民館 (11館) に運営交付金を交付した。 (田沼各地区公民館 (11館) に運営交付金を交付した。 (田沼各地区公民館 (11館) に運営交付金を交付した。 (田沼各地区公民館 (11館) と (日標) (日標) (日標) (日標) (日標) (日標) (日標) (日標)		1)=	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
田沼各地区公民館 (11館) のイベントや各種講座 等、様々な公民館活動に対しての交付金 (市の活動) 田沼各地区公民館 (11館) に運営交付金を交付した。 (田沼各地区公民館 (11館) に運営交付金を交付した。 (田沼各地区公民館 (11館) に運営交付金を交付した。 (田沼各地区公民館 (11館) と (日標) (日標) (日標) (日標) (日標) (日標) (日標) (日標)		ſ	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度実績(令和4年度に行った主な活動内容)							
等、様々な公民館活動に対しての交付金		ľ	田沼各地区公民館(11館)のイベントや各種講座								
各種講座、講演会、季節の行事等、地域に密着した活動を実施した。 活動指標				田沼各地区公民館(1	1館) (こ運営:	交付金を	交付した。	0		
活動指標 単位 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標)				(田沼各地区公民館の活	5動)						
注検				各種講座、講演会、季	≦節の彳	う事等.	、地域に	密着した	活動を実	施した。	
注検											
注検											
講座等の回数				活動指標		単位					
②対象 (この事務事業は誰・何を対象としていますか?) 田沼各地区の住民 (支援対象団体) 田沼各地区公民館 (11館) ③意図 (この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?) 各地区公民館が交付金を有効に活用することで、各種講座、講演会等を開催することができ、地域に密着した生涯学習の学びの機会を提供することができる。 4 結果 (どのような結果に結びつけますか?) 「学習の場が整備されている。 上位成果指標 生涯学習施設の利用者 数 「根4年度 (実績) (実績) (実績) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標											
田沼各地区の住民 (支援対象団体) 田沼各地区公民館(11館) 1				講座寺の凹剱		凹	13	32	32	32	32
田沼各地区の住民 (支援対象団体) 田沼各地区公民館(11館) 1											
田沼各地区の住民 (支援対象団体) 田沼各地区公民館(11館) 1	H	\dashv	②対象 (この事務事業は誰・何を対象としています	「か?)							
大型		- 1-					R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
(支援対象団体)				対象指標		単位					
田沼各地区公民館 (11館) ③意図 (この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?) 各地区公民館が交付金を有効に活用することで、各種講座、講演会等を開催することができ、地域に密着した生涯学習の学びの機会を提供することができる。 ④結果 (どのような結果に結びつけますか?) 学習の場が整備されている。 上位成果指標 単位 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度			(支援対象団体)	市民(田沼地区)	人						
的 ③息図 (この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですが?) 各地区公民館が交付金を有効に活用することで、各種講座、講演会等を開催することができ、地域に密着した生涯学習の学びの機会を提供することができる。 成果指標 単位 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 4結果(どのような結果に結びつけますか?) 世位成果指標 単位 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 学習の場が整備されている。 上位成果指標 単位 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 生涯学習施設の利用者数 千人 目標 1,075 1,010 1,010 1,010 1,010 1,010 実績458 626 日標 日標 458 626 日標 1,010 1,010 1,010 1,010							,	,	,	,	,
的 ③息図 (この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですが?) 各地区公民館が交付金を有効に活用することで、各種講座、講演会等を開催することができ、地域に密着した生涯学習の学びの機会を提供することができる。 成果指標 単位 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 4結果(どのような結果に結びつけますか?) 世位成果指標 単位 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 学習の場が整備されている。 上位成果指標 単位 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 生涯学習施設の利用者数 千人 目標 1,075 1,010 1,010 1,010 1,010 1,010 実績458 626 日標 日標 458 626 日標 1,010 1,010 1,010 1,010		ᇽᡶ									
各地区公民館が交付金を有効に活用することで、 各種講座、講演会等を開催することができ、地域 に密着した生涯学習の学びの機会を提供すること ができる。		ьL		状態にしたいのですか?)						
各種講座、講演会等を開催することができ、地域に密着した生涯学習の学びの機会を提供することができる。 講座等参加者数 日標 350 700 700 700 700 700 700 700 700 月	ľ			成里指煙	畄位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
ができる。					+12	\vee					
④結果(どのような結果に結びつけますか?) 学習の場が整備されている。 上位成果指標 単位 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 生涯学習施設の利用者数 千人数 目標 1,075 1,010 1,010 1,010 1,010 目標 1,075 1,010 1,010 1,010 1,010				講座等参加者数	人				/00	/00	/00
実績 実績 4結果(どのような結果に結びつけますか?) 学習の場が整備されている。 上位成果指標 単位 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 生涯学習施設の利用者 数 千人 目標 1,075 1,010 1,010 1,010 1,010 目標 458 626 日標			かできる。				3/9	/65			
少習の場が整備されている。 上位成果指標 単位 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 生涯学習施設の利用者数 千人 目標 1,075 1,010 1,010 1,010 1,010 1,010											
学習の場が整備されている。 上位成果指標 単位 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 生涯学習施設の利用者 数 千人 目標 1,075 1,010 1,010 1,010 1,010 目標 458 626 626 目標 1,075 1,010 1,010 1,010		 ∕∩\$	は里 (どのような結里に結びつけますか?)			大限					
上位成果指標 単位 R3年度 R6年度 R6年度 R7年度 生涯学習施設の利用者 大 目標 1,075 1,010 1,010 1,010 1,010 数 目標 458 626 目標	1	~:	And the transfer of the transf								
数			プロングル 正開でからいの。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
数				生涯学習施設の利用者	T 1	目標	1, 075	1, 010	1, 010	1, 010	1, 010
目標					十人			626	,	,	,
						目標					

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R4年度	(実績)	R5年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度((目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		0		0		0		0		0
		一般財源	千円		1, 144		1, 144		0		0		0
	事	事業費計(A)	千円		1, 144		1, 144		0		0		0
	業			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	費					負担金、補助	及び 1,144						
入	艮	事業費の											
量													
			千円										
		內訳											
	싰	職員従事工数	人工		0		1		0		0		0
	費	人件費計(B)	千円		0		7, 287		0		0		0
	h-5	タルコスト(A)+(B)	千円		1, 144		8, 431		0		0		0

	事務事業名	田沼各地区公民館活動支援事業	本年度担当課	生涯学習課
ı	尹衍尹未位		前年度担当課	田沼中央公民館

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	平成20年度より田沼各地区公民館活動事業から分離した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・ 県などの法令等、社会情勢など)は 事務事業の開始時期と比べてどのように 変化していますか?	少子化・高齢化・産業構造の変化に伴い、市民の価値観の多様化が進んできている。
③この事務事業に対して、当該年度中、 関係者(市民、議会、事務事業対象者) からどのような意見・要望がありますか?	特になし。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

_		<u></u>
	前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
	現状維持(従来通り実施)	現状維持により対象外
- 1		

2. 事務事業の事後評価【Check】

2. 予防予末の予及計画【이にい】			
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はない		成果向上余地がない	向上した
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地
	成果向上余地がない		

① A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由 ① 目標達成に向けて必要となる取組内容 田沼各地区公民館(11館)に交付金を交付することで、活発な公 活発な公民館活動を行うために交付金を交付する。 民館活動を行うことができたため。

	(-	1)事務署	事業の評値	西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				現状維持(従来通り実施)	
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中		0			
度	小					
		大	中	小		
		成	果向上余	地		

車務車業マネジメントシート

市弘	本来力	葛生	E地区	☑公月	民館維持管理事業					本年度担当課	生涯学習課			
事物	事業名								Ī	前年度担当課	葛生地区公民館			
	基本目標04 豊かな心を育み、学び合うまちづくり									新規·継続	継続事業			
政策	政策	02 J	地域。	: ع ع	もに学び育てるま	きちづくり			実施計画・一般	一般事業				
体系	体系 施 策 01 生活を豊かにする生涯学習の推進									市単独·国県補助	市単独事業			
	基本事業	01 =	学習作	青報	及び場の提供				業	任意・義務	任意的事業			
予算	会計	款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	直営			
科目	一般	10	04	02	葛生地区公民館	維持管理事業		:	分	事業分類	施設維持管理事業			
車:	業計画	単年度繰り返し 事業期間 昭和54年度 ~							市長公約	該当なし				
事:	未引四						哈和04千及 ~	和54千及		総合戦略	該当なし			
根拠	法令・条件	列等												

- 1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標											
1	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	実績	(令和4年度に行った主な活動内容)								
	葛生地区公民館の利用者が、安全で快適に施設を	葛生地区公民館施設の通	園正な約	維持管理								
	利用できるよう、施設の適正な維持管理を行う。											
					R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
		活動指標		単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)			
		施設の維持管理事業費	千円	911	979	2, 118	2, 118	2, 118				
									·			
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	か?)			R3年度							
	葛生地区公民館の利用者	対象指標	対象指標				R5年度	R6年度	R7年度			
		公民統制田老粉		(実績)	(実績)	(目標)	(目標) 5.202	(目標)				
		公民館利用者数	人	3, 335	4, 954	5, 202	5, 202	5, 202				
目	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	・ 状態にしたいのですか?	')									
的	葛生地区公民館の施設を適正に維持管理すること			DO左曲	DA左曲	DC左曲	DC左曲	D7.4= d=				
	により、利用者が快適に施設を利用できるように	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
	する。	公民館利用者数前年度	%	目標	110	110	110	110	110			
		比		実績	100	149						
				目標実績								
a	l 結果(どのような結果に結びつけますか?)			天限								
4	一字習の場が提供されている。											
	I DOMESTICATION OF THE PROPERTY OF THE PROPERT	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
		生涯学習施設の利用者			1, 075	1, 010	1, 010	1, 010	1, 010			
		数	エヘ	美領	458	626						
				目標								
				実績								

		財源内訳	単位	R3年度((実績)	R4年度(実績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度(目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		0		0		0		0		0
		一般財源	千円		911		979		0		0	0	
	+	事業費計(A)	千円		911		979		0		0		0
	事	事業費の		項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	業費					委託料	735						
入	早 					役務費	121						
量						需用費	98						
			千円			使用料及び賃借	料 18						
		内訳				負担金、補助及	び 7						
	싰	職員従事工数	人工		3		3		0		0		0
	件	人件費計(B)	千円		21, 981		21, 861		0	0		0	
	h-/	タルコスト (A) + (B)	千円		22, 892		22, 840		0		0		0

	事務事業名	葛生地区公民館維持管理事業	本年度担当課	生涯学習課
ı	争伤争未有		前年度担当課	葛生地区公民館

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	葛生地区公民館は、葛生文化センター内の施設として、昭和54年に生活文化の振興及び社会福祉の増進に寄与することを目的として建設された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・ 県などの法令等、社会情勢など)は 事務事業の開始時期と比べてどのように 変化していますか?	施設の老朽化が進み、施設の修繕にかかる費用が増えている。
③この事務事業に対して、当該年度中、 関係者(市民、議会、事務事業対象者) からどのような意見・要望がありますか?	公民館は2階にあるが、エレベーターがないため、利用者は階段を使用している。そのため、利用者からエレベーターの設置を求める声が多い。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

	1 7 10 1 10 1 10 1 10 1 10 1 10 1 10 1	<u></u>
	前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
	現状維持(従来通り実施)	現状維持により対象外。
- 1		

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はない		成果向上余地がない	取組むことができなかった
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地
猛暑及び価格高騰により、需用費	成果向上余地がない		
	N		

⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて必要となる取組内容
新型コロナウイルス感染症の影響により外出制限や集団活動を避け	利用者が、安心・安全に公民館を利よできるように、施設の老朽化
る傾向にあったが、感染症対策を講じながら活動することにより、	や電気料の高騰を踏まえ、的確な施設の維持管理に努める必要があ
次第に利用者が増加してきたため。	る。

	(-	1)事務署	事業の評値	西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				現状維持(従来通り実施)	
目	a l				*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中		0			
度	-					
		大	中	小		
		成	果向上余	地		

車務車業マネジメントシート

					771		•				
車型	8事業名	葛生	E(常	含盤•	氷室) 公民館維	持管理事業				本年度担当課	生涯学習課
争作	争未有									前年度担当課	葛生地区公民館
	基本目標04 豊かな心を育み、学び合うまちづくり									新規・継続	継続事業
政策	政策	02	地域。	: ع ع	もに学び育てるま	まちづくり				実施計画・一般	一般事業
体系	施策	01	生活:	を豊た	かにする生涯学習	図の推進		事	事	市単独・国県補具	市単独事業
	基本事業	01 :	学習化	青報.	及び場の提供			当	業	任意・義務	任意的事業
予算	会計	款	項	目		予算事	業名	[2	≖	実施方法	直営
科目	一般	10	04	02	葛生(常盤・氷	室)公民館維持	室)公民館維持管理事業			事業分類	施設維持管理事業
車	業計画		 単年度繰り返し			事業期間	 昭和46年度 ~			市長公約	該当なし
尹 :	未引四		+	十岁	一味り返し	尹未州间	加州中华人			総合戦略	該当なし
根拠	法令・条件	列等								_	

- 1. 事務事業の現状把握【DO】

((1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標											
(①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	!)				
	公民館の利用者が安全で快適に施設を利用できる	常盤地区公民館及び氷室	≦地区2	公民館:	施設の適	正な維持	管理。					
	ように、施設の適切な維持管理を行う。	·										
		活動指標		単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)			
		施設の維持管理事業費		千円	2.714		6. 284	6. 284	6. 284			
		NOUX CONTENT OF THE PARK			_, , , , ,		0, 20 .	0, 20 .	5, 25 .			
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	⁻ か?)										
	常盤地区公民館及び氷室地区公民館の利用者数		対象指標		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
				単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)			
		常盤公民館利用者数		<u>人</u>	3, 159		4, 115	4, 115	4, 115			
		氷室公民館利用者数		人	1, 098	1, 238	1, 300	1, 300	1, 300			
E))									
台	句	TV B C C C V C A C T T T T T T T T T	,									
	に維持管理することにより、利用者が快適に施設	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
	を利用できるようにする。	常盤地区公民館利用者		目標	110	110	110	110	110			
		数前年度比	%	実績	122	124						
		氷室地区公民館利用者	%	目標	110	110	110	110				
		数前年度比	70	実績	132	113						
(④結果(どのような結果に結びつけますか?)			,								
	学習の場が整備されている。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
		生涯学習施設の利用者	千人	目標	1, 075	1, 010	1, 010	1, 010	1, 010			
		数	エヘ	実績	458	626						
				目標								
				実績								

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R4年度((実績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度((目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		0		0		0		0		0
		一般財源	千円		2, 714		2, 928		0		0		0
	事	事業費計(A)	千円		2, 714		2, 928		0		0		0
	業	古		項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	費					需用費	1, 750						
入	貝					委託料	618						
量			千円			役務費	387						
		事業費の 内訳				使用料及び賃借	料 174						
		内訳											
	싰	職員従事工数	人工		1		1		0		0		0
	骨費	人件費計(B)	千円		7, 327		7, 287		0		0		0
	h-5	タルコスト(A)+(B)	千円		10, 041		10, 215		0		0		0

事務事業名	葛生(常盤・氷室)公民館維持管理事業	本年度担当課	生涯学習課
尹份尹未位		前年度担当課	葛生地区公民館

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	常盤地区公民館は昭和46年3月、氷室地区公民館は昭和48年3月に、生活文化の振興及び社会福祉の増進に寄与することを目的として建設された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・ 県などの法令等、社会情勢など)は 事務事業の開始時期と比べてどのように 変化していますか?	施設の老朽化が進み、施設の修繕にかかる費用が増えてきている。
③この事務事業に対して、当該年度中、 関係者(市民、議会、事務事業対象者) からどのような意見・要望がありますか?	特になし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持(従来通り実施)	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	④事業費・人件費の削減余地					
結びついている	市でなければできない	削減の余地はない					
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果				
類似事務事業はない		取組むことができなかった					
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地				
猛暑及び価格高騰により、需用費等(電気料等)の節減が出来なかったため 成果向上余地がない							

⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて必要となる取組内容
新型コロナウイルス感染症の影響により外出制限や集団活動を避け	利用者が、安心・安全に公民館を利用できるように、施設の老朽化
る傾向にあったが、感染症対策を講じながら活動することにより、	や電気料の高騰を踏まえ、的確な施設の維持管理に努める必要があ
次第に利用者が増加してきたため。	る。

	(1)事務事業の評価結果				(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				現状維持(従来通り実施)	
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中		0			
度	小					
		大	中	小		
	成果向上余地			地		

車茲	で車条々	葛生	E文化	にセン	/ター維持管理事	業				本年度担当課	生涯学習課	
事務事業名									前年度担当課 葛生地区公民館			
	基本目標	04 !	豊かれ	な心な	を育み、学び合う	うまちづくり				新規・継続	継続事業	
政策	政策	02	地域。	: ع ع	もに学び育てるま	きちづくり				実施計画・一般	一般事業	
体系	施策	01	生活る	を豊々	かにする生涯学習	図の推進			事	市単独・国県補	市単独事業	
	基本事業	01 :	学習作	青報	及び場の提供				業	任意・義務	任意的事業	
予算	会計	款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	直営	
科目	一般	10	04	02	葛生文化センタ	一維持管理事業	Ě		分	事業分類	施設維持管理事業	
東番手面 光左连续以后 東番加田 四和54左连										市長公約	該当なし	
事業計画 単年度繰り返し 事業期間 昭和54年度 ~ 総合戦略 該当なし								該当なし				
根拠	根拠法令・条例等											

1. 事務事業の現状把握【DO】

	・ 事物事業の気状に渡 て 500 1)事務事業の手段・目的・結果・各指標								
_	The state of the s								
	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度実績(令和4年度に行った主な活動内容)							
		葛生文化センター(葛生	Ĕ地区岔	公民館	と葛生化	石館の複 [·]	合施設)	の適正な	維持管理
	施設を利用できるよう、施設の適正な維持管理を	0							
	行う。								
		活動指標		単位	R3年度	R4年度		R6年度	R7年度
					(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
		維持管理に要した費用		千円	8, 127	8, 501	11, 495	11, 495	114, 954
		<i>l</i> . 0\							
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています)	か?)			D0	D1 = =	DF 4- #	D0 4 +	D7 4- 4-
	葛生文化センターの利用者	対象指標		単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	(葛生地区公民館、葛生化石館)	节生地区八日约利田老 类	_		(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
	■	葛生地区公民館利用者数	<u> </u>		3, 335	4, 954		5, 202	5, 202
	-	葛生化石館利用者数		人	11, 787	16, 606	17, 436	17, 436	17, 436
E	 ③意図(この事務事業によって、対象をどのような [;]	止むにしょ いのスナかの	1						
的		认態にしたいのですか?)						
	葛生文化センターの施設を適正に維持管理するこ	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	とにより、利用者が快適に利用できるようにする	节上地区八尺约到田 老			110	110	110	110	110
		葛生地区公民館利用者 数前年度比	%	<u>目標</u> 実績	100	110 149	110	110	110
		<u> </u>		目標	110	110	110	110	100
		每至100 品利用	%	実績	130	136	110	110	100
0	」 D結果(どのような結果に結びつけますか?)	TIX ル		大帜	100	100			
	学習の場が整備されている。								
	子自の物が歪曲で作りいる。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		生涯学習施設の利用者	T 1	目標	1, 075	1, 010	1, 010	1, 010	1, 010
		数	千人	実績	458	626	,	,	
				目標					
				実績					

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R 4 年度(実績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R 7 年度(目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		0		0		0		0		0
		一般財源	千円		8, 127		8, 501		0		0		0
	事	事業費計(A)	千円		8, 127		8, 501		0		0		0
	業			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	費					委託料	4, 951						
入	早					需用費	3, 392						
量			千円			役務費	144						
		事業費の 内訳				使用料及び賃借	母 14						
		内机											
	싰	職員従事工数	人工		1		1		0		0		0
	費	人件費計(B)	千円		7, 327		7, 287		0		0		0
	h-5	タルコスト (A) + (B)	千円		15, 454		15, 788		0		0		0

事務事業名	葛生文化センター維持管理事業	本年度担当課	生涯学習課
尹衍尹未 石 		前年度担当課	葛生地区公民館

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	昭和54年3月に葛生町立図書館(郷土資料館)、同葛生公民館、同教育委員会事務局の複合施設として、町民の教育及び文化の発展、生活の振興及び社会福祉の増進等に寄与することを目的として建設された。
	周辺に葛生化石館、吉澤記念美術館及び葛生伝承館が建設されたことに伴い、また、平成17 年2月の合併により利用者が一時的に増加したが、近年は、全国的な傾向として、公民館数
	及び公民館利用者数は年々減ってきている。
変化していますか?	
③この事務事業に対して、当該年度中、	公民館は2階にあるが、エレベーターがないため、利用者は階段を使用している。そのため
関係者(市民、議会、事務事業対象者)	、利用者からエレベーターの設置を求める声が多い。
からどのような意見・要望がありますか?	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

1 7 100 1 100 1 101 101 111 111 111 111	
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持(従来通り実施)	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

C. 子切子木の子区川画 [onlook]										
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地							
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない							
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果							
類似事務事業はない		成果向上余地がない	向上した							
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地							
成果向										
⑩A表の成果指標の目標が達成	できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて必要となる取組内容								

	(-	1)事務	事業の評値	西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3) 改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				現状維持(従来通り実施)	
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中		0			
度	小					
		大	中	小		
	成果向上余地					

車務車業マネジメントシート

					771	DTAL	ハンハンド	<i>-</i>	-		
車数	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	葛生地区公民館運営事業								本年度担当課	生涯学習課
争的	争未有									前年度担当課	葛生地区公民館
	基本目標	04 !	豊かれ	な心	を育み、学び合う	うまちづくり				新規・継続	継続事業
政策	政策	02	地域。	: ع ع	もに学び育てるま	まちづくり				実施計画・一般	一般事業
体系	施策	01 3	生活:	を豊た	かにする生涯学習	図の推進			事	市単独・国県補具	市単独事業
	基本事業	01 :	学習化	青報.	及び場の提供				業	任意・義務	任意的事業
予算	会計	款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	直営
科目	一般	10	04	02	葛生地区公民館	運営事業			分	事業分類	施設維持管理事業
車:	業計画	光左连绵儿怎儿 東米如即 亚代17左连						市長公約	該当なし		
尹:	未引四		単年度繰り返し 事業期間 平成17年度 ~					総合戦略	該当なし		
根拠	法令・条件	列等				•					_

- 1. 事務事業の現状把握【DO】

((1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標									
)手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)									
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度実績(令和4年度に行った主な活動内容)								
	葛生地区公民館を運営するための会計年度任用職	葛生地区公民館を運営す	るたと	か、会	計年度任	用職員2名	を配置し	て運営業	美務を遂	
	員の人件費。	行した。								
					R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
		活動指標		単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)	
		開館できる日数		日	305	359	360	359	359	
		会計年度任用職員等の費	用	千円	4, 892	4, 855	5, 365	5, 365	5, 365	
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています)	か?)								
	公民館利用者	対象指標		単位	R3年度		R5年度	R6年度	R7年度	
					(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)	
	-	公民館利用者数		人	3, 335	4, 954	5, 202	5, 202	5, 202	
	-									
E		・ 状態にしたいのですか?)								
台	サークル活動等、公民館利用者が公民館を利用し				D0 4= rit	D4 #= #=	DC 4= c=	DC 4= rts	D7 /= rit	
	やすい状態にする。	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
		登録サークル延べ利用	件	目標	250	300	300	300	300	
	-	件数	- 11	実績	204	262				
				目標 実績						
				天視						
16	学習の場が整備されている。									
	子自の物が歪曲されている。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
		生涯学習施設の利用者	千人	目標	1, 075	1, 010	1, 010	1, 010	1, 010	
		数	十人	実績	458	626				
				目標						
				実績						

		財源内訳	単位	R3年度(実績)	R 4 年度	(実績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度((目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		0		0		0		0		0
		一般財源	千円		4, 892		4, 855		0		0		0
	車	事業費計(A)	千円		4, 892		4, 855		0		0		0
	事。	事業費の		項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	業費					報酬	3, 466						
入						共済費	700						
量			千円			職員手当等	689						
		内訳											
	人	職員従事工数	人工		1		1		0		0		0
	件 費	人件費計(B)	千円		7, 327		7, 287		0		0		0
	├ -5	タルコスト (A) + (B)	千円		12, 219		12, 142		0		0		0

事務事業名	葛生地区公民館運営事業	本年度担当課	生涯学習課
尹衍尹未 石 		前年度担当課	葛生地区公民館

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	葛生地区公民館は、葛生文化センター内の施設として、昭和54年に生活文化の振興及び社会 福祉の増進に寄与することを目的として開館し、事業を開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・	社会教育関連学習講座開設に関して、民間や商工団体による参入が増加している。また、利
県などの法令等、社会情勢など)は	用する市民の趣味・嗜好も多様化し、多岐にわたるメニューが求められている。こうした中
事務事業の開始時期と比べてどのように	で、公平公正、営利を排除した低廉使用料の公営施設である公民館の存在は、超高齢化社会
変化していますか?	を迎えた今日、地域に無くてはならない存在になっている。
③この事務事業に対して、当該年度中、	特になし
関係者(市民、議会、事務事業対象者)	
からどのような意見・要望がありますか?	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

1 7 100 1 100 1 101 101 111 111 111 111	
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持(従来通り実施)	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

2. 尹仂尹未の尹及計画【いにい】							
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地				
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない				
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果				
類似事務事業はない		成果向上余地がない	向上した				
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地				
			成果向上余地がない				
⑩A表の成果指標の目標が達成	できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて必要となる取組内容					
		公民館利用者が施設を利用しやす員の確保により、公民館運営を適	いよう、公民館の人件費および人 切の行う。				

	(-	1)事務	事業の評値	西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3) 改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				現状維持(従来通り実施)	
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中	0		0		
度	小					
		大	中	小		
		成	果向上余	地		

車務車業マネジメントシート

					771	DTAL	ハンハントン		-		
車型	8事業名	葛生	E(常	常盤・	氷室)公民館運	営事業				本年度担当課	生涯学習課
争作	争未有									前年度担当課	葛生地区公民館
	基本目標	04 !	豊かれ	な心	を育み、学び合う	うまちづくり				新規・継続	継続事業
政策	政策	02	地域。	: ع ع	もに学び育てるま	まちづくり				実施計画・一般	一般事業
体系	施策	01	生活:	を豊た	かにする生涯学習	図の推進		3	事	市単独・国県補具	市単独事業
	基本事業	01 :	学習化	情報	及び場の提供			3	業	任意・義務	任意的事業
予算	会計	款	項	目		予算事	業名	1	区	実施方法	直営
科目	一般	10	04	02	葛生(常盤・氷	室) 公民館運営	営事業	1	分	事業分類	施設維持管理事業
車	業計画		労生産の 3:			事業期間	昭和46年度 ~			市長公約	該当なし
尹 :	未引四	単年度のみ 事業期間 昭和46年度 ~						総合戦略	該当なし		
根拠	法令・条件	列等									

- 1. 事務事業の現状把握【DO】

	(1) 事務事業の手段・目的・結果・名	各指標									
(①手段(事務事業の主な活動内容を記	入します。)									
	事業概要(具体的な事務事業の活動	内容・進め方)	令和4年度実績(令和4年度に行った主な活動内容)								
	常盤・氷室地区公民館を運営するた	めの、会計年	常盤地区公民館及び氷室地区公民館を運営するため、会計年度任用職員を配置し								
	度任用職員の人件費。		て運営業務を遂行した。								
						D2左庄	D/左庄	R5年度	DC左由	D7年年	
			活動指標		単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	(目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)	
			開館できる開館日数		日	305	305	305	305	305	
			会計年度任用職員等の費	開	<u>- </u>	7, 934	5, 544				
						,	,				
	②対象(この事務事業は誰・何を対	象としています	か?)								
	公民館利用者		対象指標		単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
						(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)	
		l l	常盤地区公民館利用者数		<u> </u>	3, 159	3, 919		4, 115	4, 115	
			氷室地区公民館利用者数	Σ	人	1, 098	1, 238	1, 300	1, 300	1, 300	
	目 ③意図(この事務事業によって、対	会 た じ の ト う た									
É			1人思にしたいのですが:								
	やすい状態にする。	以品を利用し	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	() () () () () () () () () ()		常盤地区公民館登録サ	111	目標	150	200	200	200	200	
			一クル延べ利用件数	件	実績	135	194				
			氷室地区公民館登録サ	件	目標	50	100	100	100	100	
			一クル延べ利用件数	П	実績	48	65				
(④結果 (どのような結果に結びつけま	すか?)									
	学習の場が整備されている。 		上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
			生涯学習施設の利用者	人	目標	1, 075	1, 010	1, 010	1, 010	1, 010	
			数		実績	458	626				
					目標						
					実績						

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R4年度	(実績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度	(目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		0		0		0		0		0
		一般財源	千円		7, 934		5, 545		0		0		0
	車	事業費計(A)	千円		7, 934		5, 545		0		0		0
	事業	事業費の 内訳		項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	貧					報酬	3, 851						
入						共済費	801						
量			千円			職員手当等	766						
						旅費	128						
		内訳											
	싰	職員従事工数	人工	1		1			0	0		0	
	件	人件費計(B)	千円		7, 327		7, 287		0		0		0
	トーク	タルコスト (A) + (B)	千円		15, 261		12, 832		0		0		0

事務事業名	葛生 (常盤・	氷室)	公民館運営事業	本年度担当課	生涯学習課
尹衍尹未有				前年度担当課	葛生地区公民館

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	常盤地区公民館は昭和46年度、氷室地区公民館は昭和49年度に、生活文化の振興及び社会福祉の増進に寄与することを目的として開館し、事業を開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・	社会教育関連学習講座開設に関して、民間や商工団体による参入が増加している。また、利
県などの法令等、社会情勢など)は	用する市民の趣味・嗜好も多様化し、多岐にわたるメニューが求められている。こうした中
事務事業の開始時期と比べてどのように	で、公平公正、営利を排除した低廉使用料の公営施設である公民館の存在は、超高齢化社会
変化していますか?	を迎えた今日、地域に無くてはならない存在になっている。
③この事務事業に対して、当該年度中、	特になし
関係者(市民、議会、事務事業対象者)	
からどのような意見・要望がありますか?	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

(1) 前十人の計画相外に対する以上、以目の水相									
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組								
現状維持(従来通り実施)	現状維持により対象外								

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地			
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない			
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果			
類似事務事業はない		成果向上余地がない	向上した			
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地			
			成果向上余地がない			
⑩A表の成果指標の目標が達成	できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて必要となる取組内容				
		公民館利用者が施設を利用しやす の確保により、公民館運営を適切	いよう、公民館の人件費及び人員 Iに行う。			

	(-	1)事務署	事業の評値	西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				現状維持(従来通り実施)	
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中			0		
度	小					
		大	中	小		
	成果向上余地					

					· ·	<i> </i>							
市级	事業名	葛生	E地区	₹公₺	民館市民教養講座	開催事業				本年度担当課	生涯学習課		
丁 奶	争未有									前年度担当課 葛生地区公民館			
	基本目標	04 -	豊かフ	な心	を育み、学び合う	うまちづくり				新規・継続	継続事業		
政策	政策	02	地域。	: ع ع	もに学び育てるま	まちづくり				実施計画・一般	一般事業		
体系	施策	01	生活	を豊々	かにする生涯学習	こする生涯学習の推進 事 市単独・国県補助 市							
	基本事業	01	学習作	青報	及び場の提供				業	任意・義務	任意的事業		
予算	会計	款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	直営		
科目	一般	10	04	02	葛生地区公民館	市民教養講座開	昇催事業		分	事業分類	イベント等開催事業		
事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成17年度 ~								市長公約	該当なし				
事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成17年度 ~									総合戦略	該当なし			
根拠	根拠法令・条例等												

1. 事務事業の現状把握【DO】

	事切事未び死(人)に注 【100】										
_	1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標										
$ \mathbb{1}$	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	医実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	!)			
	市民が抱える様々な課題を解決するための学習機	葛生・常盤・氷室地区な	くく くくりょく くく くく くく くく くく くんしょく しょく くんしょ しょく くんしょ しょく しょく しょく しょく しょく しょく しょく しょく しょく し	こおい	おいて市民教養講座を開催した。						
	会と、余暇を利用して楽しみながら学習できる趣										
	味的内容の学習機会を提供する。		崔期間	回数 参加者数							
		• 葛生地区 5月~ 1	l 月	18回 381人							
		· 常盤地区 6月~ 1	12月		16回	169.	人				
		・ 氷室地区 5月~ ¹	12月		15回	227					
		活動指標		単位	R3年度		R5年度	R6年度	R7年度		
					(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)		
		葛生地区公民館講座開催		□	13	18	19	20	20		
		常盤地区公民館講座開催		□	11	16	17	18	18		
		氷室地区公民館講座開作	重数]	□	4	15	16	17	17		
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	か?)									
	講座参加者(延べ人数)	対象指標		単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
			,		(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)		
		葛生地区公講座参加者数		<u>人</u>	209	381	400	400	400		
		常盤地区公講座参加者数		<u>人</u>	144	169	177	177	177		
目		氷室地区公講座参加者数		人	84	227	238	238	238		
的	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	状態にしたいのですか?	')								
"	講座に参加し、その内容に満足することで、市民	成果指標	単位	/	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
	の自己学習能力向上につなげる。			<u> </u>							
		講座に参加し満足した	%	目標	93	93	93	93	93		
		受講者の割合		実績	97. 8	68. 3					
				目標							
	 			実績							
4	結果(どのような結果に結びつけますか?)										
	学習の場が整備されている。 	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
		生涯学習施設の利用者	千人	目標	1, 075	1, 010	1, 010	1, 010	1, 010		
		数	工人	実績	458	626					
				目標							
				実績							

		財源内訳	単位	R3年度(実績)	R4年度	(実績)	R5年度	(目標)	R6年度	(目標)	R 7 年度(目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0	0			0		0	0	
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円	0			0		0		0		0
		一般財源	千円	149			206		0		0		0
	事	事業費計(A)	千円		149		206		0		0		0
		事業費の 内訳		項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	業費					報償費	165						
入						需用費	41						
量													
			千円										
		거하											
	싰	職員従事工数 人工 0 0		0		0		0					
	費	人件費計(B)	千円		0	0		0		0		0	
	 -5	タルコスト (A) + (B)	千円		149		206		0		0	·	0

事務事業名	葛生地区公民館市民教養講座開催事業	本年度担当課	生涯学習課
尹衍尹未 石		前年度担当課	葛生地区公民館

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	地域の方々に、より一層教養を深めてもらうこと及び生涯学習を身近なものとしていただく ことを目的として事業を開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・ 県などの法令等、社会情勢など)は	超高齢社会の到来や余暇の増大を背景に、多様な学習活動へのニーズが高まっている。また 、社会が成熟化し、価値観が多様化する中で、幅広い年代層に学ぶことへの意欲が広がって
事務事業の開始時期と比べてどのように	いる。一方で、60歳以下の年齢層は時間的な余裕がなく、受講者の高齢化、男性の受講者の
変化していますか? ③この事務事業に対して、当該年度中、	減少が目立つ。特になし。
関係者(市民、議会、事務事業対象者) からどのような意見・要望がありますか?	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

(1) 的一及20日間和木厂为 7 8 4 8						
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組					
現状維持(従来通り実施)	現状維持により対象外。					

2. 事務事業の事後評価【Check】

2. 予切予末の予及計画【の1000/】						
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地			
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない			
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果			
類似事務事業はない		成果向上余地がある程度ある	向上した			
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地			
		成果向上余地がない				
⑩A表の成果指標の目標が達成	できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて必要となる取組内容				

_	, <u> </u>					
	(1)事務	事業の評価	価結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3) 改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				現状維持(従来通り実施)	
E	∄L				*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
j F	票 中		0			
5	小					
		大	中	小		
		成	果向上余	地		

					77-1	DTA \	11/2/1/2	I /			
車数	z 車 柴 夕	図	書館等	指定	管理事業					本年度担当課	生涯学習課
争的	事務事業名								前年度担当課	生涯学習課	
	基本目標	04	豊かれ	な心	を育み、学び合う	うまちづくり				新規・継続	継続事業
政策	政策	02	地域。	: ع ع	もに学び育てるま	きちづくり				実施計画・一般	一般事業
体系	施策	01	生活	を豊々	いにする生涯学習の推進					市単独・国県補	市単独事業
	基本事業01 学習情報及び場の提供							業	任意・義務	任意的事業	
予算	会計	款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	指定管理者
科目	一般	10	04	03	図書館等指定管	理事業			分	事業分類	施設維持管理事業
車:	** 計画	■ 単年度繰り返し 事業期間 平成25年度 ~							市長公約	該当なし	
事業計画 単年度繰り返し 事業							平成25年度 ~			総合戦略	該当なし
根拠	法令・条	例等	図書	館法	、佐野市図書館	·条例					

1. 事務事業の現状把握【DO】

	サ份サネの坑仏に佐【100】								
_(1)事務事業の手段・目的・結果・各指標								
1	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	医実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	!)	
	公の施設の設置者として、また、サービス提供の	①図書館資料の発注、隙	徐籍、著	寄贈受.	入の承認				
	最終責任者として、業務の監視、実地調査や報告	②各種行事開催の承認							
	書の内容確認など、図書館の維持管理について、	③施設の管理―必要な修	を 善工 事	事の実	施				
	指定管理者に対し適正な指導や助言を行い、図書	④図書館運営状況の確認			の報告会				
	│館及び視聴覚ライブラリーの利用や活用の促進を │図る。	を ⑤図書館運営についての相談・協議							
		活動指標		単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		1220121			(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
		月例報告会開催数		□	9	12	12	12	12
		修繕件数		件	5	3	4	4	4
		>							
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	「か?)							
	市民、図書館、指定管理者	対象指標	対象指標		R3年度	R4年度			R7年度
				単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
		人口				113, 710			
		貸出点数			_	551, 000	_		
目	 ②辛回(この東致東業によって、社会もじのようか。	蔵書数(図書) 点 479, 643 484, 941 500, 000 500, 000 500, 000							
的	③意図(この事務事業によって、対象をどのような 指定管理者に適正な指導や助言をすることにより	ト状態にしたいのですか? 	·)						
	、市民により良い図書館サービスを提供すること	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度		R7年度
	ができるようにする。	入館者数	人				343, 000	343, 000	343, 000
		All lands				218, 317	E 10 000	5 40.000	5 40.000
		貸出点数	点				519, 000	519, 000	519, 000
	(tm (1) = 1 = 1 = 1 (tm			美績	368, 729	425, 178			
4	結果(どのような結果に結びつけますか?)	ı							
	①学習情報が提供されている。 ②学習の場が整備されている。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		生涯学習のホームペー	件	目標	81, 000	69, 000	73, 000	77, 000	81, 000
		ジへのアクセス数	IT	実績	34, 659	32, 677			
		生涯学習施設の利用者	千人	目標	1, 075	1, 010	1, 010	1, 010	1, 010
		数	' ^	実績	458	626			
,	0 \ %束类弗の推移,由記								

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R 4 年度(写	実績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度(目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		1		2		0		0		0
		一般財源	千円		153, 294		154, 135		0		0		0
	事	事業費計(A)	千円		153, 295	1	154, 137		0		0		0
	垩	重業費の		項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	費					委託料	144, 487						
入	ا					使用料及び賃借料	7, 063						
量			千円			負担金、補助及び	1, 441						
						需用費	1, 024						
		内訳				備品購入費	75						
						役務費	48						
	싰	職員従事工数	人工		0. 51		0. 45		0		0		0
	件 費	人件費計(B)	千円	•	3, 737		3, 279		0		0		0
	h-5	タルコスト (A) + (B)	千円		157, 032	1	157, 416		0		0		0

事務事業名	図書館等指定管理事業	本年度担当課	生涯学習課
争伤争未 有		前年度担当課	生涯学習課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	平成24年12月の市議会定例会にて、行政責任の確保と市民の安全性・サービスの向上に 留意しながら、事業コストの削減を目指して図書館及び視聴覚ライブラリーの民間への委託 が議決され、平成25年4月より指定管理者の導入が開始された。
県などの法令等、社会情勢など) は	現在、栃木県内はもとより、全国的にも図書館における指定管理者制度の導入が進められている。
事務事業の開始時期と比べてどのように変化していますか?	カロの社内についてお成立になりにしば、マキマがは、利田ネマンと、 してもむみがかき日
③この事務事業に対して、当該年度中、 関係者(市民、議会、事務事業対象者) からどのような意見・要望がありますか?	窓口の対応について好感度が徐々に上がってきており、利用者アンケートでも好意的な意見 を多くいただいたく反面、対応の不備による苦情も見られる。その他トイレの洋式化への要 望が多数あった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
	学校と円滑に連携するため、生涯学習課が連絡調整を協力した。また、指定管理者との連絡
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	調整を即時対応できるよう、統括館長だけでなく各館責任者とも同時に共有した。

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地	
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない	
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果	
類似事務事業はない		成果向上余地がある程度ある	向上した	
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地	
館により休館日が異なるため、各の対応が迅速に行うことができた	成果向上余地がある程度ある			
0 . + - PEIBE	a to the most than the most		N 1	

⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由

⑪目標達成に向けて必要となる取組内容

新型コロナウイルス感染症の影響による外出を避ける傾向や、施設 感染症法上の位置づけが5類に移行したため、利用制限を解除した 側の感染症対策ための利用制限により、利用者が減となった。しか。

し、外出制限の緩和や感染症対策を講じた事業実施により、徐々にまた、図書館行事等の充実及び広報活動の強化により、利用者数の コロナ前に近づきつつある。

増を図る。

	(-	1)事務署	事業の評値	西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	丫				事業のやり方改善(成果向上の見直し)	指定管理者との連携を密にし、課題・問題に対し 、統一的な見解で対応する。
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標	標			①行事等の充実及び広報活動の強化		
達	達中			②指定管理者との連携強化		
成	;					
度						
	小					
	大 中 小		小			
	成果向上余地					

					V	ルナホ 、					
市级	市安力	図	퇔館 協	協議会	達堂事業					本年度担当課	生涯学習課
争伤	事務事業名								前年度担当課	生涯学習課	
	基本目標	04	豊かれ	かな心を育み、学び合うまちづくり						新規・継続	継続事業
政策	政策	02	地域。	: ع ع	もに学び育てるま	きちづくり				実施計画・一般	一般事業
体系	施策	01	生活	を豊々	いにする生涯学習の推進					市単独・国県補	市単独事業
	基本事業	01	01 学習情報及び場の提供						業	任意・義務	任意的事業
予算	会計	款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	直営
科目	一般	10	04	03	図書館協議会運	営事業			分	事業分類	審議会等運営事業
車き	業計画	計画 単年度繰り返し 事業期間 明治26年度 ~						市長公約	該当なし		
77	未可凹	甲干及繰り返し			派の返し	学 未粉间	尹未朔间 奶加20年度			総合戦略	該当なし
根拠	法令・条件	列等	図書	館法	、佐野市図書館 須	条 例					

- 1. 事務事業の現状把握【DO】

((1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標										
(①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度実績(令和4年度に行った主な活動内容)									
	図書館協議会の運営	6月1日 協議会開催	方針、事	事業計画、資料購入計画							
		10月28日 協議会開	開催 ⁴	令和3:	年度図書館	館利用状	況、図書:	館等指定	管理事業		
		評価について									
		2月28日 図書館見学会の実施									
		3月 図書館協議会委員	3月 図書館協議会委員による図書館運営の評価の実施								
					DO左曲	DA左击	DC左击	DC左击	D7左由		
		活動指標		単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)		
		図書館協議会開催数			(美棋)	(美棋)	(日标)	(日信)	2		
		四百品加俄五用证处		П							
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
	図書館協議会委員			単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
				. —	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)		
		委員数		人	16	16	16	16	16		
E											
台	日本										
	議会委員より意見や助言をいただく。	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
		意見・助言数	111	目標	15	15	15	15	15		
			件	実績	15	15					
				目標							
				実績							
(新果(どのような結果に結びつけますか?)										
	①学習情報が提供されている。 ②学習の場が整備されている。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
	公丁日の物が定開でならいる。	生涯学習のホームペー		目標	81, 000	69, 000	73, 000	77. 000	81, 000		
		ジへのアクセス数	件	実績	34, 659	,	70,000	77,000	51, 000		
		生涯学習施設の利用者	T 1	目標	1, 075	1, 010	1, 010	1, 010	1, 010		
		数	千人	実績	458	626					

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R 4 年度	(実績)	R5年度	(目標)	R6年度	(目標)	R 7 年度(目標)							
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0							
		県支出金	千円		0		0		0		0		0							
		地方債	千円		0		0		0		0		0							
		その他	千円		0		0		0		0		0							
		一般財源	千円	160			175		0		0		0							
	事	事業費計(A)	千円		160		175		0		0		0							
			費		項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費						
投	^ズ 費										報酬	175								
入		早																		
量		事業費の 内訳																		
			千円																	
			り前に																	
	싰	職員従事工数	人工		0. 12	0.04			0		0		0							
	骨費	人件費計(B)	千円		879		291		0		0		0							
	h-5	タルコスト (A) + (B)	千円		1, 039		466		0		0		0							

事務事業名	図書館協議会運営事業	本年度担当課	生涯学習課
争伤争未 有		前年度担当課	生涯学習課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	図書館の運営に関し、意見、助言を受け業務に反映するため、昭和26年10月に図書館協議会を設置した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・ 県などの法令等、社会情勢など)は	少子高齢化、デジタル化等の社会情勢の変化により、時代・年代等により協議会委員より様々な意見、助言をいただくようになった。
事務事業の開始時期と比べてどのように	V 3/12/20 V 3/12 W 3/12 W
変化していますか?	
③この事務事業に対して、当該年度中、	協議会委員による指定管理者の事業評価について、「図書館はどうあるべきか」と一歩踏み
関係者(市民、議会、事務事業対象者)	込んだ課題に向き合う場合は、少し視点を変えた調査・取組が必要と考えるとの意見があっ
からどのような意見・要望がありますか?	た。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

_	TO THE CONTRACT OF THE CONTRAC							
	前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組						
	事業のやり方改善(成果向上の見直し)	指定管理者の事業評価について、社会情勢(コロナ禍)に応じた内容に改めた。						

2. 事務事業の事後評価【Check】

三. 子奶子水砂子医们區 [chicon]			
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はない		成果向上余地がある程度ある	向上した
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地
社会情勢に応じた指定管理者の事	業評価を行った。		成果向上余地がある程度ある
⑩ A 表の成果指標の目標が達成	できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて	必要となる取組内容

	(1)事務事業の評価結果			西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大		0		事業のやり方改善(成果向上の見直し)	協議会委員に図書館の現状や課題、今後の在り方 を把握・検討していただくため、現地視察や指定
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	管理者との情報共有が必要である。
標達	中				指定管理者の事業評価について、より分かりやす く、また効果的な内容を検討する。	
成					、、 よに効木的な内台を挟むする。	
度	小					
		大	中	小		
	成果向上余地			地		